福岡大学 大学院

〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL092-871-6631 内線2913～2915
福岡大学大学院事務課（福岡大学 中央図書館6階）
https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp/

福岡大学大学院ガイド

Fukuoka University Graduate Schools Guide 2026

人文科学研究科 / Humanities
法学研究科 / Law
経済学研究科 / Economics
商学研究科 / Commerce
理学研究科 / Science
工学研究科 / Engineering
医学研究科 / Medical Sciences
薬学研究科 / Pharmaceutical Sciences
スポーツ健康科学研究科 / Sports and Health Science
法曹実務研究科（法科大学院） / Institute for Legal Practice (Law School)

福岡大学 大学院

ごあいさつ

福岡大学 学長
永田 潔文
NAGATA Kiyofumi

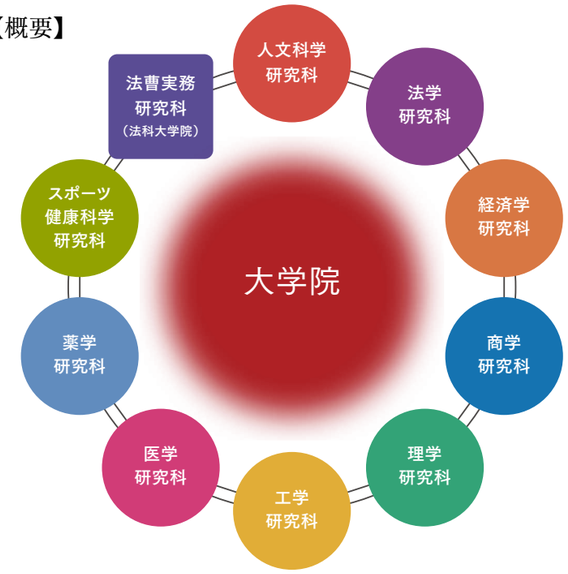
本学は、昭和9年に創立され、その中で、大学院は、昭和40年に設置され、10研究科34専攻を持つ50年を超える歴史と伝統を有します。

大学院は、個々の学生が自ら課題を発見し、自ら仮説を構築し、あらゆる方面から観察し研究する場であります。また、創造性豊かな研究者、高度専門職業人、教育・研究能力を兼ね備えた大学教員、高度で知的な素養のある人材などの養成を担っております。

本学大学院で、真摯に学びの道を究めようと挑戦する学生のみなさんは、文系・理系10研究科の多種多様な専攻において、新たな研究の未来を開拓し、急速に変化する社会に大きく貢献してください。

福岡大学大学院は、学問と研究を更に高めようと考えるみなさんをお待ちしています。

大学院【概要】



社会の高度化・多様化に伴い、さまざまな領域で専門性が求められる近年、大学院においても真理の探究とともに実践的な専門性の向上が期待されるようになっています。福岡大学大学院は、1965年の開設以来、社会文化の発展に寄与すべく研究・教育の充実を図ってきました。現在では10研究科と34の専攻を擁し、専攻により修士課程、博士課程前期・後期、博士課程、専門職学位課程を設置しています。

本学大学院の特色は、10研究科の境界を超えた学際的かつ統合的な研究活動が活発に行われていることです。また、時代の変革に即応したカリキュラムの開発や新たな研究指導法の導入等により、より高度で専門的な研究者、職業人の育成が行われ、一部の専攻においては、社会人のリカレント教育を目的とした夜間大学院も設置しており、それらの成果は実践的な教育研究に反映され高い評価を得ています。

なお、修学支援として、学部学生の教育補助業務を行うティーチング・アシスタント(TA)に採用する制度のほか、本学大学院独自の給費奨学金や外国人留学生対象の奨学金制度もあります。また、国内外で開催される国際学会での研究発表のための費用支援制度もあります。

目 次

人文科学研究科 …… 02
法学研究科 …… 08
経済学研究科 …… 11
商学研究科 …… 13
理学研究科 …… 15
工学研究科 …… 20
医学研究科 …… 28
薬学研究科 …… 37
スポーツ健康科学研究科 …… 40
法曹実務研究科（法科大学院） …… 42
VOICE …… 44
外国人留学生 …… 46
進路状況 …… 48
Q&A …… 49
施設 …… 50

人文科学研究科

人文科学研究科は、人文学部と直結した研究科であり、史学、日本語日本文学、英語学英米文学、独語学独文学、仏語学仏文学、社会・文化論、教育・臨床心理の計7専攻を設置しています。これらすべてに前期（修士）課程があり、また社会・文化論専攻以外すべての専攻に後期（博士）課程があります。

本研究科では、人間及び人間社会を対象とする人文諸科学の理論と方法論を極めることにより、自由で独創的な発想と広い視野をもつ人間性、そして今日の国際社会、多様性の社会に貢献できる人材の養成につながる教育を行っています。修士課程・博士課程前期では、社会の要望に応え十分な実力を発揮できる高度専門職業人を養成することに力点を置き、博士課程後期では、専門領域において独創的かつ社会的に有用な研究を実現できる研究者や高度専門職業人を養成することを目的とします。

人文科学研究科個別サイト https://www.hum.grad.fukuoka-u.ac.jp/ を開設しています。人文科学研究科の詳細については、個別サイトをご覧ください。

研究科長メッセージ

人文科学研究科長
村上 久美子 教授

人文科学研究科は、1982年に開設された英語学英米文学専攻と仏語学仏文学専攻から始まります。その後、史学専攻、日本語日本文学専攻、独語学独文学専攻、社会・文化論専攻、教育・臨床心理専攻と増設し、現在の7専攻に至ります。

研究科の教員は極めて高度な研究力を有し、丁寧な個別指導で学生の様々な可能性をひきだす教育を行っています。学生アンケートでは、研究科の魅力として教員の研究力と教育力そして希望する分野があることがあげられています。

また、院生は自らの関心をもとに解明したい課題を探し、研究テーマを定め、新たな価値を創出する研究を進めるべく、日々努力を積み重ねています。令和6年度には、史学専攻、英語学英米文学専攻、仏語学仏文学専攻、教育・臨床心理専攻から博士の学位が授与されました（課程博士5名）。

研究科の個別サイトには各専攻の様々な取り組みや教員の研究活動（「私の最近の研究について」）が掲載されています。在学生・修了生から見た研究科の魅力を紹介する公式動画も掲載しておりますので、どうぞご覧ください。

研究科個別サイト

人文科学研究科個別サイトでは、論文発表会や学外実習など、大学院生の研究活動の様子や教員の研究内容の紹介を行っています。

研究科紹介動画

人文科学研究科の魅力を、在学生と修了生それぞれの目線からお話しいただきました。

専攻紹介

史学専攻【博士課程 前期・後期】

本専攻は、日本史・東洋史・西洋史・考古学の4専修に分かれ、それぞれに演習・特講・史料講読（前期）、特研・特論（後期）が開講されています。専任教員は、日本史では「政治・経済・文化各面からみた中世史・近世史」や「幕末維新期の政治・経済史」、「昭和戦中・戦後期の社会」、東洋史では「唐宋時代史」や「明清社会経済史」、西洋史では「アメリカ史」や「中近世ヨーロッパ史」、考古学では「新石器時代～中近世」や「東アジア考古学」、「貨幣史」などについて研究しています。そのほか、各専修共に古代から現代に至るまでの各分野について、非常勤の専門家による授業も開講しています。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
梶原 良則 教授	日本史	幕末の対外的危機と西南地域諸藩の藩政改革
西谷 正浩 教授	日本史	日本中世史
福嶋 寛之 教授	日本史	1920～60年代、近現代日本における教育を素材とした政治史・思想史
山田 貴司 教授	日本史	日本の中世後期から近世初期にかけての政治史・文化史
則松 彰文 教授	東洋史	中国近世の社会と経済
山根 直生 教授	東洋史	中国唐宋時代史、徽州地域史・家族史
古澤 義久 教授	考古学	東北アジアの先史文化・中国貨幣史
桃﨑 祐輔 教授	考古学	ユーラシア騎馬文化・東アジア仏教考古学・歴史考古学
森　丈夫 教授	西洋史	初期アメリカにおける軍事―社会関係／アメリカ合衆国における市民社会の形成
渡邉 裕一 准教授	西洋史	中近世ヨーロッパ史、南ドイツ都市史、環境・災害史

日本語日本文学専攻【博士課程 前期・後期】

日本語学では古代語、近代語、現代語の演習・特講が開講されています。日本文学は古典文学と近代文学に大別されます。古典文学では中古・中世・近世と、平安から江戸までの時代ごとに演習・特講が開講されており、近代文学では3人の教員が明治から現代文学まで、散文と詩歌の両ジャンルにわたって演習と特講を担当しています。また、近代文学では比較文学の特講も行われています。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
江口　正 教授	日本語学	言語学的手法による現代日本語の研究（方言や言語間対照を含む）
衣畑 智秀 教授	日本語学	日本語文法史、琉球語学、日琉比較・対照言語学
大坪 亮介 准教授	日本文学（古典）	『太平記』を中心とする中世軍記物語の研究
須藤　圭 准教授	日本文学（古典）	源氏物語、狭衣物語を中心にした作り物語の生成と享受の研究
永井 太郎 教授	日本文学（近代）	日本近代の、幻想文学のテーマやイメージについての実証的研究
中野 和典 教授	日本文学（近代）	日本近代文学。特に昭和期以降の散文が主な研究対象
林　信蔵 教授	日本文学（近代）	日本近代文学における外国語文学の影響／文学と諸芸術との相関関係
畑中 佳恵 准教授	日本文学（近代）	近現代の日本文学と土地イメージの関わり。特に長崎イメージをめぐる調査と考察。

英語学英米文学専攻【博士課程 前期・後期】

統語論、音韻論、意味論、歴史言語学、英米演劇、英米詩、英米小説、英語科教育法の各分野での講義や演習、特別研究が開講されています。授業担当者は英米人を含む専門研究者であり、研究活動も盛んです。院生は前期・後期ともに指導教授によるきめ細かい指導を受け、専門領域の知識を深めるとともに、学位論文の作成を目標に日々精進しています。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
久保 善宏 教授	英語学	言語の進化という観点から見た英語の普遍性と個別性の解明
竹安　大 教授	英語学	実験的手法に基づく音声学・音韻論
ハウ, スティーブン マーク 教授	英語学	Research of basic universals of human language by comparing English, African and Australian Aboriginal languages／Examination of "yes" and "no" in human communication
毛利 史生 教授	英語学	統語論と意味論のインターフェイス研究
奥田 裕司 教授	英語教育学	日本における英語科教育法の実践的研究
福田 慎司 教授	英語教育学	Improving English language education in Japan
園田 暁子 教授	英文学	イギリス・ロマン派を中心とする18世紀から19世紀の文学／著作権、出版史
鶴田　学 教授	英文学	シェイクスピアを中心とする近代初期英国演劇文化
渡部 智也 教授	英文学	チャールズ・ディケンズを中心とする19世紀イギリス小説
秋好 礼子 教授	米文学	19世紀アメリカ文学／Disability Studies、大衆文化
大島 由起子 教授	米文学	ハーマン・メルヴィル文学における北米先住民表象
ピーターズ, J. M. 教授	米文学	American science fiction, fantasy, and children's literature, especially concerning gender, race, and genre.

独語学独文学専攻【博士課程 前期・後期】

本専攻は独語学・独文学の様々な領域の研究に携わるスタッフを擁し、多彩な講義・研究指導を展開しています。独語学の分野では統語論を扱う基礎的な領域に加え、歴史社会言語学の研究指導も行っています。独文学の分野では16世紀以降の「ファウスト」文学、18・19世紀のゲーテ、グリム、世紀末のK.クラウス、20世紀ユダヤ系ドイツ文学、というように時代・ジャンルとも多様です。また、芸術、住居といった観点からの日独文化比較の研究も可能です。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
森澤 万里子 教授	独語学	16世紀ニュルンベルクの都市言語研究―歴史社会言語学的観点から
片岡 宜行 准教授	独語学	ドイツ語の文構造、特に自由与格と分離動詞に関する問題
金山 正道 教授	独文学	16世紀から現代に至るファウスト文学に関する研究／ドイツ文学におけるモチーフの源泉としての聖書
ゴツィック, マーレン 教授	独文学	日本とドイツにおける美術・住居と高齢社会／比較文化・社会学
堺　雅志 教授	独文学	ドイツ・オーストリア文学／19、20世紀オーストリアの文芸批評と芸術批評
冨重 純子 教授	独文学	近現代のユダヤ系ドイツ語文学、およびその詩学の研究
永田 善久 教授	独文学	グリム兄弟における「自然史的愛言学」の研究
平松 智久 准教授	独文学	(1)近現代ドイツ文学（特にゲーテ研究）(2)ドイツ語教授法
ライヒャルト, アンドレ 准教授	独文学	世紀末独文学／文学理論・記号学／文学と真理の関係

仏語学仏文学専攻【博士課程 前期・後期】

本専攻はフランス文化の持つ普遍性を院生諸君に身に付けてもらうべく、仏語学系は現代フランス語を主に、仏文学系は16世紀、18世紀、19世紀、20世紀を専門領域とする専任教員によって構成されており、院生の希望に沿った的確かつきめ細かな研究指導・教育が行われています。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
鈴木 隆美 教授	仏文学	プルースト、アルトーを中心とする19、20世紀フランス文学と哲学、恋愛表象と日仏比較文化論、舞踏論
井関 麻帆 准教授	仏文学	18世紀フランス文学における父親像の変容
小池 美穂 准教授	仏文学	16世紀フランス文学における教育・学問の問題
村石 麻子 准教授	仏文学	現代フランス文学（主に小説）における作家作品研究
川島 浩一郎 教授	仏語学	フランス語とくに名詞限定や時制における中和と有標無標型弁別
山本 大地 教授	仏語学	現代フランス語の書き言葉、話し言葉を対象とした意味論・語用論

社会・文化論専攻【修士課程】

「人間社会」分野では社会システム論（社会学）に関する演習と特講が、「人間文化」分野では文化構造論（文化人類学・民俗学）、思想文化論（哲学・宗教学）、表象文化論（芸術学）に関する演習と特講が中核になります。各専修に共通する社会・文化に関する基礎論は必修とされています。国内および国外の社会調査やフィールドワークに秀でた専門家、現場に通暁する博物館学芸員やジャーナリストを養成します。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
平田　暢 教授	社会システム論	合理的選択理論を用いた数理社会学的研究／産業化や地域移動の効果、コミュニティ形成等の地域社会研究
本多 康生 准教授	社会システム論	ハンセン病問題の社会学的研究／災害支援研究
髙岡 弘幸 教授	文化構造論	近世日本における怪異表象変容、日本の都市の形成・発展・衰退史／怪異の民俗学・文化人類学的研究
中村　亮 教授	文化構造論	文化人類学、特にインド洋西海域および日本の漁民文化の比較研究
宮岡 真央子 教授	文化構造論	東アジアのエスニシティ、特に台湾先住民に関する文化人類学研究／日本の文化人類学史の研究
岸根 敏幸 教授	思想文化論	神話と宗教を中心とする思想文化研究
関口 浩喜 教授	思想文化論	言語哲学研究
林　誓雄 教授	思想文化論	西洋近現代倫理学、応用倫理学
植野 健造 教授	表象文化論	日本近代美術史／芸術の諸相
落合 桃子 准教授	表象文化論	ドイツを中心とする近現代美術史／日欧文化交流史
小笠原 史樹 准教授	言語文化論	宗教哲学研究
大上　渉 教授	人間性心理学	犯罪心理学（特に捜査心理学研究）と認知心理学（応用的記憶研究）

教育・臨床心理専攻【博士課程 前期・後期】

高度専門職業人の養成と社会人のリカレント教育を主目的とした、仕事と両立しながら学べる夜間大学院です。前期は「教育分野」と「臨床心理分野」に分かれ、教育や臨床心理の現場に即した研究と実践のための能力を養成します。後期は教育学、臨床心理学の2つの部分から構成されています。前期では、教育職員専修免許状（中学社会・高校公民）が取得可能です。特に現職教員の場合、現在取得している幼・小・中・高の一種免許状は専修免許状へ移行できます（上進による）。臨床心理分野（前期）は、公認心理師の受験資格が得られます。なお、本専攻の研究・実習施設として臨床心理センターが設置されています。

担当教員	専修科目	研究または講義のテーマ
伊藤 亜希子 教授	教育学	ドイツ・ヨーロッパにおける異文化間教育／外国人児童生徒教育
植上 一希 教授	教育学	教育学・青年期教育論／専門学校における教育とキャリア形成
勝山 吉章 教授	教育学	西洋教育史研究及び現代日本の教育改革の動向と課題
髙妻 紳二郎 教授	教育学	イギリスの教育行政・学校経営・組織マネジメント
佐藤　仁 教授	教育学	アメリカの教師教育・教員政策
添田 祥史 教授	教育学	社会教育、成人基礎教育、「地域づくりと教育」
藤田 由美子 教授	教育学	子どもをめぐる教育言説におけるジェンダーの教育社会学的分析
山岸 賢一郎 教授	教育学	教育の理念と営為についての哲学／道徳授業と教材についての哲学
坂本 憲治 教授	臨床心理学	青年期・成人期の心理臨床、多職種協働、キャリアカウンセリング
田村 隆一 教授	臨床心理学	フォーカシング及び体験過程理論／臨床心理学研究法
徳永　豊 教授	臨床心理学	臨床発達心理、特別支援、コミュニケーション、注意・情動発達
長江 信和 教授	臨床心理学	インターネットを介した遠隔心理支援システムの開発
松永 邦裕 教授	臨床心理学	子どもの心理臨床（不登校、発達障害、いじめ、虐待など）
村上 久美子 教授	臨床心理学	メンタルヘルスリテラシーに関する研究
本山 智敬 教授	臨床心理学	エンカウンター・グループの教育分野への適用、パーソンセンタード・アプローチ
満身 史織 講師	臨床心理学	コミュニティ支援、乳幼児期子育て支援

在学生からのメッセージ

※その他専攻の「在学生からのメッセージ」は研究科個別サイトに掲載しています。

英語学英米文学専攻 博士課程後期3年生　大宅 由加利さん

大学院進学の動機は、「ネイティブ・アメリカンの文学を研究したい」、そこからつかみ取ったことが生きていく上での「糧」となればと考えたためです。博士課程前期では、専門分野の先生から直接ご指導頂き、日々多くの新しい視点を得て、修士論文を完成することができました。研究を進める過程で気づいた課題を、引き続き探求したいという思いから、博士後期課程進学を決心しました。大学院では、英語学、英語教育学、英文学、米文学という専門分野の先生方から、多面的に学べる機会があることも大きな魅力です。

独語学独文学専攻 博士課程後期2年生　田平 廉太朗さん

「釣り」の研究って？！私は修士論文において、ドイツにおける娯楽としての「釣り」と動物保護の関係を論じました。「釣り」は動物保護、環境問題など現代の複雑な問題を内包した興味深い研究テーマです。研究過程でドイツには魚をめぐる動物観に歴史的差異ばかりでなく，地域差もある可能性を見出だし、博士課程後期において文化史的・法制史的側面からこのテーマにアプローチをかけています。本学では、文学や文化研究の手法をもとに幅広い指導が受けられ、多方面からの指導により考えが広がり、研究に厚みが出てきたのを実感しています。研究成果を博士論文としてまとめ、世に問うことを目指し鋭意奮闘中です。

人文科学研究科 学位取得者の主な論文題名

【博士】

史学専攻
- ○ 室町幕府九州支配の研究

英語学英米文学専攻
- ○ The Production and Perception of Voiced Geminates in Tokyo Japanese, Yanagawa Japanese and Italian: Voicing Effect, Cue Weighting, and Individual Differences.
  （東京方言・柳川方言・イタリア語における有声重子音の音声産出と知覚：Voicing Effect・Cue Weighting・個人差の観点から）
- ○ The Role of Speech Production and Perception in Sound Change: A Case Study of Kagoshima Japanese
  （言語変化における音声産出と知覚の役割：鹿児島方言に関する事例研究）

仏語学仏文学専攻
- ○ 現代フランス語における tu vois/ tu sais/ tu sais quoi?の談話機能に関する考察
  発話位置と発話周辺の現象を手掛かりに

教育・臨床心理専攻
- ○ 専門学校における社会人の学び直しに関する研究
  －政策動向の分析と医療系専門学校で学び直した社会人の実態調査を通して－

【修士】

史学専攻
- ○ 筑後川流域における渡来人・渡来文化の受容過程
- ○ 戦国期大友氏の当主権力確立と周辺勢力
- ○ 昭和期軍神の変容－軍神から見る死生観の変化－
- ○ 九州における縄文時代早期石鏃の動態
- ○ 近世・近代移行期における南九州の鉱山
- ○ 中近世移行期における龍造寺権力の形成・拡大と鍋島家への政権移行
- ○ 7－10世紀のタングートと国際関係
- ○ 墨書陶磁器の研究
- ○ 北部九州における群集墳の発生と初期群集墳の展開

日本語日本文学専攻
- ○ コト名詞句が原因を表す表現について－原因主語他動文、後置詞「により」、格助詞「で」を比較して－
- ○ 『春雨物語』について－「死首の咲顔」を中心に－
- ○ 『伽婢子』論－「真紅撃帯」と「竜宮の上棟」に見る『剪灯新話』からの翻案－
- ○ 遠藤周作『深い河』論－語りと回想の時間構造からの考察－

英語学英米文学専攻
- ○ The Mental Deterioration of the Children in Henry James' *The Turn of the Screw*
- ○ Meaningful Deviations from Patterns of Rhyme and their Effects in the Poetry of Emily Dickinson
- ○ A Comparative Study of English Education in China and Other Countries

独語学独文学専攻
- ○ ムージル『寄宿生テルレスの混乱』における愛の不在

教育・臨床心理専攻
- ○ 「不登校アカウント」のエスノグラフィー－SNS「X」上の投稿に着目して－
- ○ 小児がん患者に対する意思決定支援－意思形成と意思表明－
- ○ 育児リアリティギャップが精神的健康に与える影響－育児制約に焦点を当てて－
- ○ 子どもアドボカシーの展開可能性に関する研究　独立アドボケイトの実践から
- ○ 社会的処方による高齢者の「居場所感」の獲得についての検討－入居型高齢者施設でのエンカウンター・グループの実施を通して－
- ○ 匿名Q&Aサイトに投稿された保育士の主訴：退職理由のテキストマイニング

法学研究科

法学研究科は、法学や政治学に関する高度な専門知識と能力を備えた人材の養成を目的とし、一般入学試験、社会人入学試験、外国人留学生入学試験などにより多様な志願者を受け入れています。

法学研究科は、公法専攻と民刑事法専攻により構成されており、それぞれの専攻に応じたカリキュラムを提供しています。少人数による対話形式で講義と演習が行われており、受講者のニーズに応じた教育と研究により、研究者、公務員、司法書士、税理士、社労士などの資格取得者として社会に貢献できる人材を送り出しています。

博士課程前期の社会人に対しては、夜間でも講義を受講できるように対応しています。

研究科長メッセージ

法学研究科長
廣澤 孝之 教授

〔大学院での学び〕

膨大な「情報」が瞬時に世界をかけめぐる現代においては、それらの真偽を確かめ、的確に価値判断を行う知的能力がますます求められています。現代社会において道徳的に生きていくためには、無垢な心を持つだけではなくある程度知的なものを備えることが不可欠です。定められたカリキュラムを修了して一定の知識・技能を習得する学部教育とは異なり、大学院での学びは、自らの持つ「疑問」に対して「解答」を出すための学問的アプローチを学ぶことになります。問題が本質的であればあるほど容易には答えは導き出せませんが、それらにチャレンジすることは私たちを知的にそして人間的にもより成長させる糧となるでしょう。

〔法学研究科の特徴〕

本学の法学研究科は、公法専攻と民刑事法専攻の二つを有し、各分野の専門家が多様な学生のニーズに合った教育活動を展開しています。修士号取得後に博士課程後期に進み、研究者の道に進む学生もいますが、それだけでなく修了生の進路は多様です。法学研究科の修了生は、国家・地方の公務員や税務・会計の実務家、企業法務の専門家として活躍するだけでなく、地方議会議員や政策担当秘書として、また自分で会社を経営したり、NPO法人の運営に携わったりしています。学部卒の時点での就職活動とは少し異なり、より広い視点になって、自分の能力・適性や社会のニーズを的確に判断して進路を選択することができます。また一度職業生活を経験した学生や海外からの留学生もいて、幅広い世代との交流のなかで多くの刺激を受けることも多様な進路の開拓につながっています。

公法専攻【博士課程 前期・後期】

憲法、行政法、国際法、税法、経済法、法社会学、政治学、法理学などの講義・研究が、公法専攻の博士課程前期の主要科目であり、そのほかに特修科目があり、主要科目についてはすべて専任教員が担当しています。主要科目の1科目を専修科目として選択し、専修科目担当の教員を指導教員として学位論文の作成など研究一般について指導しています。博士課程後期では、憲法、法社会学、政治学の特別研究・特別講義演習を開講しています。

担当教員

氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等（前期）　③ 担当科目等（後期）

大橋 敏道 教授
① 日本の経済政策全体の中における、競争政策の特質
② 経済法研究、経済法講義II

櫛田 久代 教授
① アメリカ連邦制の変容
② 政治学研究、政治学講義 I
③ 政治学特別研究

小佐井 良太 教授
① 法社会学（死別の悲しみと法、紛争解決のあり方）
② 法社会学研究、法社会学講義
③ 法社会学特別研究

菅原 和行 教授
① 行政国家における官僚制の諸問題
② 政治学研究、政治学講義Ⅳ
③ 政治学特別研究

春名 麻季 教授
① ドイツ基本権を比較対象とした家族法上の憲法問題と個人の尊厳
② 憲法研究、憲法講義Ⅳ
③ 憲法特別研究

東原 正明 教授
① 極右政党、脱原子力政策等を中心に現代オーストリア政治の研究
② 政治学研究、政治学講義Ⅲ、政治史講義
③ 政治学特別研究

廣澤 孝之 教授
① 福祉国家の形成に関する比較研究
② 政治学研究、政治学講義 II
③ 政治学特別研究

村林 聖子 教授
① John Stuart Millの法思想と法哲学
② 法理学研究、法理学講義

城野 一憲 准教授
① 表現の自由理論、憲法訴訟、アメリカ憲法
② 憲法研究、憲法講義 I

田中 孝和 准教授
① オンブズマン制度
② 行政法研究、行政法講義 I

芳賀 真一 准教授
① 租税法、国際租税法
② 税法研究、税法講義 II

萩原 一樹 准教授
① 条約法 持続可能な開発
② 国際法研究、国際法講義III

公法専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ リベンジポルノ規制と不同意ポルノ規制に関する憲法問題－表現の自由と「親密なプライバシー」に関する一考察－

【修士】
○ 相続税法における取引相場のない株式の評価をめぐる諸問題－配当還元法を中心として－
○ 完全支配関係のある企業グループの繰越欠損金引継ぎに関する研究
○ 法人税法22条4項公正処理基準における一考察
○ 難民問題の日欧比較－21世紀初頭の状況
○ 移転価格税制における推定課税についての一考察－法解釈の観点から中規模納税者における問題点について－

民刑事法専攻【博士課程 前期・後期】

民法、商法、民事訴訟法、刑事法、労働法、社会保障法、国際私法、知的財産法などの講義・研究が博士課程前期の主要科目であり、そのほかに特修科目があり、主要科目についてはすべて専任教員が担当しています。主要科目の1科目を専修科目として選択し、専修科目担当の教員を指導教員として学位論文の作成など研究一般について指導しています。博士課程後期では、民法、商法、民事訴訟法、刑事法、労働法、社会保障法、国際私法の特別研究・特別講義演習を開講しています。

担当教員

氏名(職位)　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等(前期)　③ 担当科目等(後期)

生田 敏康 教授
① 民法改正 ／契約責任論
② 民法研究、民法講義Ⅲ

岡田 昌浩 教授
① コーポレート・ガバナンス、事業承継、キャッシュ・アウト
② 商法研究、商法講義Ⅱ

小野寺 一浩 教授
① 連帯思想と刑法理論、とりわけ一般的救助義務について
② 刑事法研究、刑事法講義Ⅱ
③ 刑事法特別研究

北坂 尚洋 教授
① 国際私法、国際民事手続法、国際取引法(特に、国際家族法)
② 国際私法研究、国際私法講義Ⅱ
③ 国際私法特別研究

下田 大介 教授
① 不法行為法、損害賠償、慰謝料、アメリカ不法行為法
② 民法研究、民法講義Ⅶ
③ 民法特別研究

所 浩代 教授
① 労働法(雇用平等・労働安全衛生・集団的労使関係法)
② 労働法研究、労働法講義Ⅰ
③ 労働法特別研究

畑中 久彌 教授
① 不法行為法の基礎理論的検討、フィンランド私法
② 民法研究、民法講義Ⅵ
③ 民法特別研究

前越 俊之 教授
① 証券市場から見た会社法制度の研究
② 商法研究、商法講義Ⅳ
③ 商法特別研究

牧 真理子 教授
① 組織再編、債権者保護、ドイツ組織再編法
② 商法研究、商法講義Ⅰ
③ 商法特別研究

道山 治延 教授
① 相続人資格証明制度について
② 民法研究、民法講義Ⅰ

蓑輪 靖博 教授
① 民法・環境法・アジア法(モンゴルを中心に)
② 民法研究、民法講義Ⅱ、英米法講義
③ 民法特別研究

安井 英俊 教授
① 現代型訴訟における証明困難の軽減
② 民事訴訟法研究、民事訴訟法講義Ⅰ
③ 民事訴訟法特別研究

山下 慎一 教授
① 社会保障受給権の法的権利性、社会保障の法体系論
② 社会保障法研究、社会保障法講義Ⅱ
③ 社会保障法特別研究

芥川 正洋 准教授
① 財産に対する犯罪
② 刑事法研究、刑事法講義Ⅰ

石川 友佳子 准教授
① 医学研究や先端医療技術に関する刑事規制
② 刑事法研究、刑事法講義Ⅲ

平澤 卓人 准教授
① 知的財産法(特に商標法と表現の自由、商標法の権利範囲)
② 知的財産法研究、知的財産法講義

柳 景子 准教授
① 契約の内容規制法理(アメリカの非良心性法理)
② 民法研究、民法講義Ⅳ

民刑事法専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 外国裁判の承認および執行における相互保証について
○ 医療過誤訴訟における証明困難の軽減－「一応の推定」の検討を中心に－
○ 環境法における文化財保護について

経済学研究科

経済学研究科では、経済学の専門知識の修得とその研究能力の養成によって、経済問題に限らず、実社会の諸問題の合理的な解決や学術的な貢献のできる人材を育成することを目的に、大学院生を国内外から広く受け入れています。

研究科長メッセージ

経済学研究科長
藤本 浩明 教授

幸せな社会作りには、高度に発展した経済環境基盤が不可欠だと言われています。その基盤を実現するためには、経済システムやメカニズムを究明して、それらが効率よく機能するための政策提言などが行わなければなりません。

しかし、それは、簡単な話ではありません。そのために、経済学という科学的な学問が存在していると思われますので、本研究科の博士課程では、経済学に関する基礎的・先進的な研究を進展させる場として、より専門的な教育と研究を行います。

当該博士課程は、前期と後期の二つの課程からなります。

まず、前期課程では、科学的な経済学についての専門知識と基礎的な研究能力の修得を目標として、一人前の研究者として成長していくための準備を整えます。つまり、厳密な論理的思考力のもと、さまざまな実社会の問題を、実証的にも、最適的な改善・解決ができる人材の育成を目指します。

次に、後期課程では、幅広い研究課題の中から独立的に、自ら興味関心のある研究課題に挑み、最先端の研究成果をあげることが可能なように、専門分野での勉学に専念します。つまり、高度な専門知識と科学的なノウハウを有する経済分野の専門家や教育者の育成を目指します。

なお、本研究科では、前期課程・後期課程ともに、外国人留学生を積極的に受け入れる体制を構築しており、国際的に活躍できるリーダーの養成にも力を入れています。

経済学専攻【博士課程 前期・後期】

博士課程前期では、科学的な経済学に関する専門知識と基礎的な研究能力の修得を目標とし、コースワークとリサーチワークのバランスの取れた授業を行います。専門分野としては、経済史学、理論経済学、応用経済学・経済政策学、計量経済学・統計学、行動経済学・地域科学の5つありますので、大学院生は、自分の研究課題に即して科目を選び、専門的な学修に備えます。

博士課程後期では、独立した研究者に必要不可欠であろう高度な研究ノウハウの修得と、それを後世に伝授可能な教育者にもなることを目標とし、演繹的な理論ワークに限らず、帰納的な実証ワークなど、バランスの取れた研究授業を行なっています。大学院生は、これまでの学術的な進捗状況を踏まえながら、自らの研究課題を定め、学術誌への論文掲載を目指して研究を行います。

本研究科では、国際的な研究業績を残されている教員が少なくありませんので、その指導の下、科学的な経済学の本格的研究方法を学ぶことが可能です。

担当教員

氏名(職位)　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等

有岡 律子 教授
① 金融論(地域金融、金融規制、企業の会計行動など)
② 証券経済論

五十嵐 寧史 教授
① 都市自治体の情報化、電子商取引における制度的課題、暗号通貨
② 都市情報論

井手 豊也 教授
① 非貿易財をモデルに組み込む事によっての貿易理論への影響
② 国際貿易理論

栫井 昌邦 教授
① 地域科学、地域計量分析
② 都市システム解析

姜 文源 教授
① 市場と社会
② 社会経済学

小島 直樹 教授
① Finance, Contract Theory, I.O.
② 確率過程ファイナンス

近郷 匠 教授
① 協力ゲーム理論の解の特徴付け、2部マッチング理論のルール設計
② 協力ゲーム理論

佐藤 伸 教授
① 望ましい社会的選択規則の設計可能性
② 社会的選択理論

瀬戸林 政孝 教授
① 近代中国の品質マネジメントシステムと制度設計
② 経済史Ⅰ（アジア）

辰己 佳寿子 教授
① アジアの農村開発・発展のあり方に関する調査研究
② アジア経済文化相関論

玉田 桂子 教授
① ミクロデータを用いた教育・労働政策の評価
② 公共経済学

中村 由依 教授
① 発展途上国の貧困削減政策の理論分析
② 所得再分配論

西原 宏 教授
① 社会的ジレンマの解消について
② ゲーム理論

藤本 浩明 教授
① 最適課税の経済分析ならびに最適価格形成のリスク分析
② 経済数学

万 軍民 教授
① バブル、金融危機、土地制度、投資、R&D、イノベーション
② 米中日経済分析

山﨑 好裕 教授
① 現代経済学までの歴史を数理的・計量的な側面から研究している
② 経済学史

李 明哲 教授
① 社会・都市問題へのORによるモデル分析
② 都市モデル解析

渡邉 淳一 教授
① ミクロ経済学、産業組織論
② 理論経済学

赤羽根 靖雅 准教授
① 応用ミクロ経済学、契約理論、企業金融の理論、産業組織論
② ミクロ経済学

江口 昌伍 准教授
① 環境・エネルギー効率性分析、企業の脱炭素経営に関する研究
② 環境経済学

岡 祐輔 准教授
① 地域の産業と経済の維持発展要因の分析と政策モデル構築
② 地域経営論

恩田 正行 准教授
① 個票記録を用いた政策や施策の評価
② 労働経済学

武井 敬亮 准教授
① 初期近代英国における世俗化のプロセスと啓蒙思想の展開について
② 社会思想史

田中 昌宏 准教授
① 高次元データのためのベイズ的手法の開発と応用
② 計量経済学

西田 圭吾 准教授
① 経済成長理論、開発経済学
② 経済動学

野澤 亘 准教授
① 貨幣経済学・金融経済学・環境経済学
② 金融論

村松 怜 准教授
① 日本財政史、日本税制史
② 経済史Ⅲ（日本）

森田 薫夫 准教授
① 社会的に望ましい租税・公共財供給に関する理論研究
② 公共政策論

山下 耕治 准教授
① 国と地方の財政関係に関する実証分析
② 財政学

柳 永珍 准教授
① 社会調査を用いた社会経済現象分析、地域の人口分析、文化経済学
② 経済統計論

秋本 清香 講師
① 動学マクロ経済学
② マクロ経済学

熊谷 惇也 講師
① 交通や環境の改善に伴う人々の福利への影響分析
② データサイエンス

西村 道也 講師
① 前近代東地中海世界（特にビザンツ帝国）の経済と貨幣の歴史
② 経済史Ⅱ（西洋）

経済学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 中国における高等教育市場－地域格差の問題と政策分析
○ 中国のグローバル化と地域格差－西部地域の成長戦略
○ Investments of Wholesale and Retail Industries in China during 2005-2020
○「二人っ子政策」が女性の就労選択に与える影響について

商学研究科

商学研究科は現代社会をリードし、新社会を創造する高い学識と卓越した能力を持つ人材の育成を目的に、積極的で多様な動機を持つ学生を受け入れ、ニーズに応じたカリキュラムを提供しています。

研究科長メッセージ

商学研究科長
田坂 公 教授

商学研究科は、商学（経営学を含む）を深く研究したい多様な学生のニーズに応えるため、カリキュラムの充実や入試制度の多様化を図っています。商学分野に問題意識を持ち、自己のテーマを追求する意欲のある人の入学を期待します。商学研究科では次のような学生のニーズに応えていきます。

1. 公認会計士や税理士などの専門職を目指す学生：単に資格取得だけでなく、学問的にも深い素養を持った人材の育成を目指します。
2. 留学生：外国人留学生入学試験を実施します。助けあい、支えていきます。
3. 社会人学生：生涯学習を志す方、リカレント教育を求める現役の勤労者や経営者、商業の教諭などの社会人のために、昼間のみならず夜間にも開講します。
4. 研究職を目指して進学する学生：学部の専門科目と連動した科目群の配置と専任教員による指導が受けられます。推薦制度(学部の優秀な学生を受け入れ) もあります。

商学専攻【博士課程 前期・後期】

前期には商学研究コースと経営学研究コースがあり、修了者には商学または経営学の修士号が授与されます。研究者や教育者のみならず、税理士や公認会計士など、実社会で活躍するスペシャリストの養成にも注力しており、社会人のための夜間開講も行っています。後期も含めて、院生はおおむねマンツーマンのきめ細かな研究指導と豊富な図書や設備の下で、自らの研究を深めることができます。目的が明確かつ向学心旺盛な学生、留学生、社会人の志に応えます。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等

アケミク・キュチュク・アリ 教授
① 開発政策の実証分析
② アジア経済論

池田 健一 教授
① 国際財務報告基準（IFRS）とそれがわが国の会計に及ぼす影響について
② 国際会計論

伊豆 久 教授
① 金融危機と金融政策の国際比較
② 国際金融論

植村 信保 教授
① 保険会社等のリスク管理および健全性規制に関する研究
② リスクマネジメント論

永星 浩一 教授
① インターネットにおける市場情報の伝播とレーティング
② 市場分析論

掛下 達郎 教授
① 米英日における大手銀行のビジネスモデルはなぜ異なるのか？
② アメリカ経済論／比較金融システム論

合力 知工 教授
① 企業と社会の双方に持続的成長をもたらす経営戦略に関する研究
② 経営戦略論

木幡 伸二 教授
① 開発経済学の視点から見た中国経済の現状と課題
② 開発経済論

篠原 巨司馬 教授
① 管理会計およびマネジメント・コントロール実践の調査研究
② 管理会計論

杉本 宏幸 教授
① 中間流通のマーケティングのモデル分析
② マーケティング・モデル／流通論

鈴木 裕介 教授
① ミクロ経済学をもとにした交通政策に関する分析を行う
② 交通経済論

髙橋 秀至 教授
① 租税法律主義および租税回避に関する研究
② 法人税法

太宰 潮 教授
① 消費者行動、マーケティングリサーチ、価格戦略、販売促進
② 消費者行動

田坂 公 教授
① コストマネジメント／管理会計におけるインタンジブルズ研究
② 原価計算論

陶 怡敏 教授
① グローバル・サプライチェーン・マネジメントと情報共有の効果
② 国際交通論

長束 航 教授
① 負債および無形資産に関する会計・報告・監査
② 会計学

弘津 真澄 教授
① 情報そして情報技術という側面からの流通・経営に関する研究
② 情報産業論

藤野 真 教授
① 中小企業のホワイトカラーの管理について
② 経営管理論

村上 剛人 教授
① マーケティング理論の再構築～関係性からサービスドミナントロジックへ～
② マーケティング論

森田 泰暢 教授
① 市民による知的生産活動の研究
② 経営組織論、シチズンサイエンス

豊 嘉哲 教授
① EUの共通農業政策について
② 国際経済論

渡辺 剛 教授
① セグメント会計および知的財産会計を中心とした財務会計
② 財務会計論

飯塚 雄基 准教授
① 財務諸表の意義、特徴および限界について考察および議論する
② 財務諸表論

伊藤 豪 准教授
① 現代社会における危険と保険
② 保険論

飛田 努 准教授
① 企業価値評価の理論を用いて実践的学修（財務諸表分析）を行う
② 経営分析

林 裕 准教授
① アフガニスタンに焦点を当てた紛争影響国の地域社会と平和構築、開発研究
② 国際開発論

本村 希代 准教授
① 近世・近代における商家経営
② 日本商業史

商学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ 企業の人材育成における自律的学習の理論と実践
(On the Theory and Practice of Autonomous Learning in the Corporate Human Resource Development and its Background)

【修士】
○ 日本語版シリアスレジャー測定尺度の検討
○ 税法における「給与」の意義
○ IFRSがわが国『原価計算基準』の改訂にもたらすインパクト－標準原価計算に基づいて－
○ 変革型リーダーシップと情緒的コミットメント－心理的エンパワーメントの媒介作用－
○ 公益法人課税における収益事業の範囲
○ 違法行為に関連する支出の損金性
○ 中小企業における税効果会計の有用性について
○ わが国製造業における原価企画の現代的意義－本質的要素をめぐる研究－
○ 租税回避否認の可否

理学研究科

理学研究科は、自然科学に関する研究を通して、自然と調和した社会の健全な発展に貢献するとともに、総合的で深い学識と高度な研究能力を持つ人材および専門的職業人の育成を目的としています。博士課程前期では、専門分野に関する学識を養いそれを応用する能力、博士課程後期では、自立して研究活動を遂行できる能力の育成を図っています。

研究科長メッセージ

理学研究科長
香野 淳 教授

理学は、自然や事物に関する真理を探求し、その背後に潜む普遍的な法則や原理を解き明かそうとする学問で、一般には基礎科学とされています。その言葉の響きから、現実社会や科学技術との繋がりが薄いと感じるかもしれません。しかし、スマートフォン、医療機器、治療薬など、生活や生存に欠かすことのできない製品や技術は、自然法則や数学の体系的な理解なくして実現できなかったものばかりです。また現在、私たちは大規模な自然災害、感染症などの深刻な問題に直面しています。理学はそのような問題に直接の解決策を与える学問ではありませんが、自然現象の解明を通じて問題の本質的理解に迫り、解決へと導く重要な役割があります。

理学研究科は応用数学専攻、応用物理学専攻、化学専攻、地球圏科学専攻の４専攻で構成され、それぞれに博士課程前期および後期の課程を有しています。各専攻ではそれぞれの学問分野固有の観点から自然や事物を捉え、体系的に学び、研究にチャレンジすることができます。そして、その過程で培われる洞察力、思考力、コミュニケーション力などの能力は、社会で活躍するための礎となり、生涯の財産となります。

学生の皆さんには、それぞれの知的好奇心、「なぜ?」と疑問に思う感性を大切にして欲しいと思います。なぜなら、それが理学の学びと研究の出発点だからです。理学研究科でそれぞれの「なぜ?」をみつけ、探求してみませんか。

応用数学専攻【博士課程 前期・後期】

代数学、位相幾何学、微分幾何学、関数解析学、微分方程式論、計画数学、関数論、確率解析、情報科学を専門領域とする専任教員によって構成され、それぞれ独自の分野を開拓し、国内外の注目を集めています。そのような教員の指導により、情報化社会に対応し得る高度な数学的知識と応用力を身に付けた人材の育成を図っています。また、中学・高等学校の専修免許を持つ教員の養成も行っています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目とテーマ（前期）　③ 担当科目とテーマ（後期）

石黒 賢士 教授
① 分類空間の位相構造に関する研究
② 位相数学特論Ⅰ（コホモロジー環、ファイバーバンドル）
③ 位相数学特修講義（Lie 群、分類空間のホモトピー論）

桑江 一洋 教授
① 対称マルコフ過程の確率解析、最適輸送理論に基づく測度距離空間上の解析学と幾何学
② 統計数理特論Ⅰ（ブラウン運動、伊藤積分）
③ 応用数理特別研究Ⅰ～Ⅵ（マルコフ過程、測度距離空間の幾何解析）

佐藤 拓 教授
① トーリック多様体の双有理幾何学的な研究
② 代数学特論Ⅰ（可換環論、代数幾何学）
③ 代数学特修講義（トーリック幾何学、ファノ多様体）

佐野 友二 教授
① ケーラー多様体上の標準計量の性質や存在問題を主なテーマとする研究
② 幾何学特別講義Ⅰ（可微分多様体、リーマン幾何学）
③ 幾何学特修講義（複素多様体、ケーラー幾何学）

島倉 裕樹 教授
① 頂点作用素代数の自己同型群を用いた有限群の研究
② 代数構造特論Ⅰ（有限群論、代数的組合せ論）
③ 代数学特修講義（頂点作用素代数、散在型有限単純群）

白石 修二 教授
① グラフにおけるマッチングに関する研究／パスカルデジタルアーカイブに関する研究
② 情報システム特論Ⅰ（マシンラーニング、モバイルシステム）

竹田 寛志 教授
① 消散項を含む発展方程式の解の定性的性質に関する研究
② 関数解析学特論Ⅰ（バナッハ空間、ヒルベルト空間）
③ 関数解析学特別研究Ⅰ～Ⅵ（漸近展開、正則性評価式）

田中 尚人 教授
① Navier-Stokes 方程式に対する自由表面問題の数学解析
② 応用解析学講究Ⅰ・Ⅱ（非線形偏微分方程式、境界値問題）
③ 応用解析学特修講義（Navier-Stokes 方程式、自由表面問題）

藤木 淳 教授
① パターン認識における数理的手法の情報理論的解釈及びその幾何学
② 情報数理特別講義Ⅰ（情報理論）
③ 情報数理特別研究Ⅰ～Ⅵ（情報幾何学）

松浦 望 教授
① 離散可積分系と幾何学的形状生成
② 情報数理講究Ⅰ（形状最適化）
③ 情報数理特別研究Ⅰ～Ⅵ（データ関数）

天羽 隆史 准教授
① 確率解析学の中でも特に「伊藤の確率解析学」と通称される分野を礎とした研究
② 統計数理特論Ⅱ（Gauss過程、確率積分）
③ 応用数理特修講義（Malliavin解析、確率空間の非線形連続分解）

一木 輝久 准教授
① 非平衡統計力学およびその情報処理、機械学習への応用
② 情報数理特論Ⅱ（情報統計力学）
③ 数理情報特修講義（情報熱力学）

三石 史人 准教授
① リーマン幾何と距離空間の幾何
② 幾何学特論Ⅰ（リーマン幾何学）
③ 幾何学特論Ⅱ（距離幾何学）

宮内 敏行 准教授
① 非安定ホモトピー論、Lie群の位相に関する研究
② 現代位相数学入門（ホモトピー論、一般コホモロジー論）
③ 位相数学特修講義（ホモトピー群、ホモトピー不変量）

石井 裕太 講師
① 反応拡散系におけるパターン形成問題の数学解析
② 非線形解析特論Ⅰ（微分方程式における安定性理論と分岐理論）

応用数学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 大規模言語モデルにおける感情分析を用いた文章校正とデータの品質検証
○ ニューラルネットワークを持ったエージェントの進化について
○ いくつかのトレンドフォロー型戦略について
○ トラッキングデータを用いた2選手の関係性評価
○ 葉層空間上の確率微分方程式の解に関するFeller性
○ 仮説検定を用いた不確実性を含むクラス分類の手法

応用物理学専攻【博士課程 前期・後期】

爆発的天体現象の研究などの宇宙物理や、磁性など物質の物性の理論的な研究に加えて、物理教育に関する実践的な研究を含む基礎物理学部門、高い機能を持つ薄膜、誘電体や、合金等の物性を研究する物性物理学部門、ナノスケールの構造を基本に半導体や微細電子材料等の物性や生物物理を研究するナノ物理学部門、レーザー分光、重力波宇宙物理学、光格子時計といった、レーザー光を利用した物理計測や情報処理を研究する物理情報計測部門などの4つの専修部門があり、高度な専門知識と広範な応用力を身に付けた人材の育成を図っています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目とテーマ（前期）　③ 担当科目とテーマ（後期）

香野 淳 教授
① ナノ薄膜・ナノ粒子系の構造と物性に関する研究及びナノ機能材料・機能素子の研究開発
② 結晶物理学特論（物質の性質と対称性、結晶構造）
③ ナノ物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（薄膜・ナノ構造、ナノ物性）

固武 慶 教授
① Ωにおける中心エンジンの理論的解明
② 宇宙物理学特論（初期宇宙、宇宙の構造・進化）
③ 基礎物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（超新星爆発、輻射流体力学）

武末 尚久 教授
① 無機固体のエネルギー関連の機能の探索と開発
② X線結晶学特論（量子ビーム回折、電子顕微鏡）
③ 物性物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（無機固体、エネルギー）

林 壮一 教授
① 学校における科学教育、物理教育全般（教材開発やその実践的研究やICTなど）
② 科学教育研究特論（科学教育、物理教育）

端山 和大 教授
① 重力波観測を基礎に置いて、宇宙の生い立ちや天体現象を実証的に解明していくこと
② 物理情報計測講究Ⅰ（重力波観測、重力波の物理）
③ 物理情報計測特別研究（重力波観測、重力波の物理）

眞砂 卓史 教授
① 磁性体のスピンダイナミクスに関する研究
② 磁性物理学特論（磁場、強磁性体）
③ ナノ物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（磁気物理、半導体物理）

御園 雅俊 教授
① レーザー分光学
② 物理情報計測講究Ⅰ・Ⅱ（光）
③ 物理情報計測特別研究Ⅰ～Ⅵ（光）

宮原 慎 教授
① 物性理論
② 統計力学特論（カノニカル分布、ボーズ・フェルミ統計）
③ 基礎物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（量子スピン系、マルチフェロイックス）

山本 大輔 教授
① 生体分子の動的ナノ構造解析
② 生物物理学特論（生体分子、分子間力）
③ ナノ物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（生物物理、ナノ構造動態）

大田 晃生 准教授
① 表面・界面の化学構造・電子状態の高感度計測及び極薄結晶の形成に関する研究
② 物性物理学講究Ⅰ・Ⅱ（半導体、薄膜）

大前 宣昭 准教授
① 光格子時計による次世代周波数標準とその測地応用等に関する研究
② 物理情報計測講究Ⅰ・Ⅱ（光格子時計、量子計測）

政田 洋平 准教授
① 非線形現象、特に宇宙における自発的秩序形成の物理の計算科学的・データ科学的研究
② 計測情報処理特論（計算物理・機械学習）

応用物理学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 機械学習を用いた重力波観測における突発性雑音の分類
○ 有機金属分解法で作製したイットリウム鉄ガーネット薄膜のスピン波測定
○ ペロブスカイト固溶体(NaxBa1-x)Ti(O1-x/3Clx/3)3のナノ粒子の結晶成長と物性測定
○ 機械学習手法による銀河系中心の恒星軌道予測とその宇宙論への応用
○ アルカリハライドを溶質としたチタン酸バリウム固溶体のナノ粒子合成と結晶成長
○ 温度変化に伴う音速の測定～高校物理の授業内で、実験可能な教材の開発～
○ 光時計基準RF信号の周波数測定における低位相雑音化の研究
○ マグノニック結晶のバンドギャップの障壁高さ依存性
○ 光周波数コムを基準とした高分解能分子分光
○ キタエフ模型における励起状態
○ キャビティリングダウン測定による超低損失ミラーの評価
○ 光周波数コムの光電変換出力の周波数分解能の評価
○ 高等学校における終端速度の学習をわかりやすくする実験の提案
○ 重力崩壊型超新星からの非等方ニュートリノ放射
○ スピン波の伝播、反射および屈折のシミュレーション

化学専攻【博士課程 前期・後期】

機能を持った物質の創成と機能を研究する物質機能化学、物理化学的諸現象を研究する構造物理化学、有機化合物の合成とその生物化学的機能を研究する有機生物化学、タンパク質や細胞、DNA等の生体分子の機能を研究する機能生物化学、ナノスケールの物質の創成と機能を研究するナノ化学、化学教育における新しい実験教材を開発・研究する化学教育学、典型元素を含む物質の合成と機能を研究する元素化学の7つの専修部門からなり、これらの専修における化学の探究を通して、化学に関するより深い知識と研究能力を身に付けた研究者や職業人の育成を図っています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目とテーマ（前期）　③ 担当科目とテーマ（後期）

勝本 之晶 教授
① 両親媒性高分子の構造-溶液物性相関／多相系における局所安定状態と相挙動の解析
② 構造物理化学特論Ⅱ（熱統計力学、高分子物理）
③ 構造物理化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（高分子物理化学・分子分光学）

倉岡 功 教授
① 化学物質により生じるDNA損傷およびヒト突然変異抑制機構の解析
② 機能生物化学特論Ⅰ（損傷、変異）
③ 機能生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（損傷、変異）

塩路 幸生 教授
① 有機化学反応を利用した細胞機能の可視化
② 有機生物化学特論Ⅲ（生物有機化学、ケミカルバイオロジー）
③ 有機生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（有機生物化学、ケミカルバイオロジー）

林田 修 教授

① 生命現象を分子レベルで理解するための機能性大環状分子の開発に関する研究
② ナノ化学特論Ⅱ（ホスト分子、分子認識）
③ ナノ化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（ホストゲスト化学、分子システム）

松岡 雅忠 教授

① より安全かつ簡便に実践できる化学実験教材の開発研究
② 化学教育学特論（高校化学の体系的把握、マイクロスケール化学実験）
③ 化学教育学特別研究Ⅰ～Ⅵ（化学実験教材の開発）

松原 公紀 教授

① 有機化学反応の開発研究／分子触媒の開発研究／化学反応の反応機構解明
② 有機生物化学特論Ⅱ（有機金属化学、均一系触媒反応化学）
③ 有機生物化学特別研究Ⅰ～Ⅵ（有機金属化学、均一系触媒反応化学）

石川 立太 准教授

① 低次元性金属錯体の合成と固体物性に関する研究
② 物質機能化学特論Ⅱ（固体化学、物性化学）

栗崎 敏 准教授

① X線光電子分光法を用いたイオン液体中の金属イオンの溶存構造解析
② 物質機能化学特論Ⅰ（X線分析、溶存構造）
③ 物質機能化学特修講義（X線分析、分子軌道法）

長洞 記嘉 准教授

① 高周期典型元素を含む芳香族化合物の合成と性質解明
② 典型元素化学特論（典型元素化学、分子分光学）

仁部 芳則 准教授

① レーザー分子分光法による水素結合クラスターの研究
② 構造物理化学特論Ⅰ（分子軌道法、ガウシアン）

福田 将虎 准教授

① RNA編集機構の解明と制御／機能性RNAの設計と構築
② 機能生物化学特論Ⅲ（RNA編集、機能性RNA）
③ 機能生物化学特修講義（RNA編集、機能性RNA）

吉田 亨次 准教授

① 量子ビームを用いた液体の構造とダイナミクス研究
② 構造物理化学特論Ⅲ（量子ビーム科学、溶液物理化学）

化学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

○ 鉄-アニル酸系錯体を基盤とするホスト・ゲスト化合物の合成と物性評価
○ 水中アラニンジペプチドの反応座標に対する拡散係数のフラットボトムポテンシャル法による評価
○ カチオン性M(Ⅱ)錯体とアニオン性M'(Ⅲ)錯体からなる集積体の構造次元性制御
○ 水系ナトリウムイオン電解液へのエチレングリコール添加による電位窓拡大の機構解明にむけた分子動力学シミュレーション
○ 蛍光基を有するカチオン性シクロファンの側鎖の分岐化とグアニジニル化に関する研究
○ アニオン交換型高分子電解質の物質輸送の機構解明にむけた分子動力学シミュレーション
○ ミトコンドリアへのストレス刺激による細胞死の解析
○ M(Ⅱ)-Ln(Ⅲ)異種金属多核錯体の合成と性質
○ 二本鎖構造中のアデノシンを標的とするRNA編集技術の開発
○ 2つの二本鎖構造で構成されるADAR2基質RNAの構築とRNA編集解析
○ π平面の拡大を志向したπ拡張マレイミドの合成に関する研究
○ シクロデキストリンを用いた自己集積型錯体の部分的抽出
○ カチオン性ポリマー水溶液の塩添加によるリエントラント相分離挙動
○ ニッケル(Ⅱ)触媒によるクロスカップリング反応におけるかさ高いNHC配位子の効果
○ 細胞形質膜中の脂質過酸化を可視化する蛍光プローブの創製とフェロトーシス検出への応用
○ かさ高いアルキル置換基をもつ3級ホスフィン類の合成
○ Fluorescence-based evaluation of the Non-Homologous End Joining repair proficiency in living cells
○ Novel function of RTEL1 in transcription-coupled excision repair
○ 油山山麓周辺から出土した鉄製遺物の始発原料推定
○ 哺乳動物ミスマッチ修復初期認識複合体の結合ダイナミクス
○ poly(N,N-diethylacrylamide)の水溶液物性に共重合モノマーが与える影響

地球圏科学専攻【博士課程 前期・後期】

気圏、水圏、岩石圏、生物圏から成る地球圏でのさまざまな現象を有機的・総合的・歴史的に解明する学際的な専攻であり、地球環境物理学、地球流体力学、水圏物質化学、地球変動科学、生物科学の5専修で構成されています。広い視野から地球圏に関する深い知識を身に付け、自立して研究活動を行うことができる人材、および学術的素養の豊かな専門的職業人の育成を図っています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目とテーマ（前期） ③ 担当科目とテーマ（後期）

藍 浩之 教授

① 動物の環境適応行動と脳情報処理に関する研究
② 生物科学特論Ⅰ（神経行動学、適応）
③ 生物科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（脳、進化）

岩山 隆寛 教授

① 地球および惑星の大気・海洋中の渦、波動、対流、乱流に関する理論的、数値実験的研究
② 地球流体力学特論Ⅱ（波動、対流）
③ 地球流体力学特別研究Ⅰ～Ⅵ（渦、乱流）

上野 勝美 教授

① 古－中生代有孔虫類の古生物地理とそれに基づく東アジアの地体構造発達史
② 地球変動科学特論Ⅲ（海水準変動、構造発達史）
③ 地球変動科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（層序解析、地史復元）

小柴 琢己 教授

① 高等動物におけるミトコンドリアの構造及びその機能的役割の解析
② 生物科学特論Ⅱ（代謝、情報伝達）
③ 生物科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（生理機能、自然免疫）

柴田 智郎 教授

① 地殻変動に伴う地殻流体に関する研究
② 地球変動科学特論Ⅳ（地球化学、陸水学）
③ 地球変動科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（地球化学、陸水学）

高島 久洋 教授

① 地球規模・局所規模の大気質変動について観測およびデータ解析により明らかにする
② 地球環境物理学特論Ⅰ（大気放射、物質輸送）
③ 地球環境物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（リモートセンシング観測、成層圏－対流圏交換）

中川 裕之 教授

① 真核細胞の細胞運動におけるアクチン繊維系および微小管系細胞骨格の動態と機能
② 生物科学特論Ⅰ（生化学、細胞生物学）
③ 生物科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（細胞骨格、ライブイメージング）

西 憲敬 教授

① 熱帯および中緯度地域の対流圏における大規模現象に関する気象学
② 地球流体力学特論Ⅰ（大気力学、大気波動）
③ 地球流体力学特別研究Ⅰ～Ⅵ（ロスビー波、季節内変動）

林 政彦 教授

① 地球－地域規模の環境変動に関する研究
② 地球環境物理学講究Ⅰ・Ⅱ（エアロゾル、物質循環）
③ 地球環境物理学特別研究Ⅰ～Ⅵ（環境変動、物質循環）

菱 拓雄 教授

① 環境変動と陸上生物群集の多様性に基づく生態系機能の解明
② 生物科学特論Ⅴ（群集、生態系生態学、森林土壌生態学）
③ 生物科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（形質生態学、植生－土壌相互作用）

古谷 将彦 教授

① 植物の形態を司る分子基盤に関する研究
② 生物科学特論Ⅲ（植物発生学、分子生物学）
③ 生物特別研究Ⅰ～Ⅵ（細胞極性、植物環境応答）

三好 雅也 教授

① 沈み込み帯の物質循環と大規模火山活動に関する研究
② 地球変動科学特論Ⅰ（火山岩岩石学、地球化学）
③ 地球変動科学特別研究Ⅰ～Ⅵ（火山岩岩石学、地球化学）

田上 響 准教授

① 古脊椎動物の比較解剖学的研究
② 地球変動科学特論Ⅱ（地球史、環境変遷）
③ 地球圏科学特修講義Ⅰ（生物史、進化）

地球圏科学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】

○ 単離ヒドラ神経細胞から伸長した神経突起の動態
○ 十和田八戸火砕流堆積物中の樹木年輪を用いた年代学的研究：暦年較正データの精度向上に向けて
○ 非線形地衡流調節の理論的・数値実験的研究
○ 熱帯収束帯でみられる巻雲の大規模発生

工学研究科

工学研究科の博士課程前期(修士課程)は、以下に示す6専攻から構成され、工学先端技術を研究開発する場で活躍できる人材の育成を目指します。また、博士課程後期には2専攻を設置し、技術的な諸問題に対して新たな解決法を提案できる広い視野を有し、社会に貢献できる人材の育成を目指します。

研究科長メッセージ

工学研究科の教育理念は、高度な専門知識の実践的活用により科学技術分野の発展に寄与する人材を育成することです。博士課程前期および修士課程は、研究や開発に携わる目標を持っている人を歓迎します。博士課程後期は、研究活動を主体的に支え社会や学術の発展に貢献することを目指す人を歓迎します。

また、働きながら学べる環境を整えており、社会人にも広く門戸を開いています。

工学研究科長
佐藤 寿倫 教授

機械工学専攻【博士課程 前期】

材料力学、流体工学、熱工学、機械設計・工作法および機械力学・制御の5専修部門からなり、専修部門ごとに専任教員が教育・研究にあたっています。本専攻では機械工学の幅広い分野にわたる基礎知識を修得させるとともに、最新の科学・技術に密着した研究を通じて総合的な問題解決能力を付けさせ、さまざまな工学的問題や社会的課題を解決できる高度な機械技術者・研究者の育成に取り組んでいます。

担当教員　氏名(職位)　① 研究または講義のテーマ　② 専修部門

岩村 誠人 教授
① (1)マルチボディダイナミクスとその応用
(2)ロボットシステムの軌道計画と制御
② 機械力学・制御

遠藤 正浩 教授
① (1)複雑な荷重を受ける材料の疲労強度評価
(2)試験機の設計と開発
② 材料力学

高尾 幸来 教授
① (1)低GWP冷媒を用いる冷凍空調機器内の伝熱流動特性およびオイルの影響に関する研究
(2)対向ピストンエンジンの高効率化に関する研究
② 熱工学

森山 茂章 教授
① 外科領域における医療支援技術の開発
② 機械設計・工作法

柳瀬 圭児 教授
① (1)材料力学に関する実験的および解析的研究
(2)機械学習を用いた材料開発に関する研究
② 材料力学

山辺 純一郎 教授
① 次世代エネルギー機械要素・部品の信頼性評価
② 機械設計・工作法

山田 和豊 教授
① ターボ機械の高効率化・高信頼性化に関する研究
② 流体工学

安東 洋一 准教授
① (1)ツインローター・クロスフロー風車の流動特性改善に関する研究
(2)乱流に関する実験的および解析的研究
② 流体工学

宮田 一司 准教授
① (1)高性能熱輸送・熱交換デバイスを実現するマイクロチャンネル内相変化現象に関する研究
(2)湿り空気の伝熱・換気に関する研究
② 熱工学

林 長軍 准教授
① (1)機械機構の最適設計
(2)ロボットシステムの最適軌道生成および制御
② 機械力学・制御

機械工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ PINNを用いたクロスフロー風車の2次元非定常乱流流れ場解析
○ 球状黒鉛鋳鉄の水素吸蔵および水素脆化メカニズムの解明
○ マルチボディダイナミクスと機械学習を用いた自動車乗員モデルの構築と車線変更時の車両運動制御
○ 二関節筋を模したばねを有する垂直多関節型マニピュレータの省エネルギー制御
○ 2種の循環式連続水素チャージ法を用いたSCM435の水素環境適合性評価
○ 受動ストレージ要素を利用した省エネルギーマニピュレータの関節構成の検討とリンク機構の導入
○ 単一矩形ミニチャネル内を流れる混合冷媒R454BおよびR454Cの凝縮熱伝達特性に与える流動方向の影響
○ 三反応簡略化モデルとHyperbolic Tangent 近似を用いた新しい燃焼モデルの開発
○ 波力発電用ツインクロスフロー風車の数値解析による流れ場解析
○ 金属材料のS-N曲線の予測とばらつきの原因
○ 鋳造アルミニウム合金の疲労破壊メカニズム
○ マルチボディダイナミクスによる電動リクライニング車椅子の廃用症候群予防機構の開発
○ 次世代混合冷媒の液密度・液音速の測定およびPythonを用いた測定の効率化
○ マルチボディダイナミクスを用いた汎用的な力制御手法の開発とその応用
○ Cu-Al-Ni-Fe-Mn合金鋳物の水素拡散特性と力学特性に及ぼす水素の影響

電気工学専攻【博士課程 前期】

電気基礎、パワーエレクトロニクス、電力工学、応用電気工学の4専修で構成されています。これらには環境、情報通信、機能材料、制御システム、エネルギー変換、高電圧絶縁、レーザ応用などの分野を含みます。それぞれの分野における技術の進歩は目覚ましいものがありますが、本専攻では各専修分野間の連携を図りながら、社会の要請に応えられる人材の育成を目指しています。

担当教員　氏名(職位)　① 研究または講義のテーマ　② 専修部門

江田 孝治 教授
① 画像の周波数解析とその応用技術に関する研究
② 電気基礎

小浜 輝彦 教授
① 電子機器用電源装置の高性能化及びその応用に関する研究
② 応用電気工学

篠原 正典 教授
① プラズマー表面相互作用、プラズマを用いたデバイス創製の研究
② 電力工学

住吉谷 覚 教授
① レーザ光による電界計測と空間での電荷担体の挙動解析
② 応用電気工学

西田 貴司 教授
① 電気電子機能材料の創成、物性解明とデバイス応用の研究
② 電気基礎

根葉 保彦 教授
① 電力変換器の開発と応用システムの研究
② パワーエレクトロニクス

孟 志奇 教授
① 電磁波の応用技術と数値解析手法に関する研究
② 電気基礎

高村 紀充 准教授
① 電力機器向けの新規絶縁材料と耐雷保護技術の研究
② 電力工学

辻 聡史 准教授
① 電気機器応用技術とセンシング技術に関する研究
② パワーエレクトロニクス

松岡 毅 准教授
① 知能ロボットの環境認識と行動決定に関する研究
② 応用電気工学

圓谷 友紀 助教
① 電磁界シミュレーションと電波応用技術に関する研究
② 電気基礎

電気工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ パルスプラズマを用いた触媒フリーでのグラフェンの低温形成
○ 改良型スパッタリング法における形成処理時間が$PbTiO_3$ナノ結晶育成に与える影響
○ 原子平坦ステップテラス表面へのスパッタ粒子の入射条件が超平坦Ptナノシート形成に与える影響
○ 電力用可変容量コンデンサとその共振形コンバータへの応用に関する研究
○ PWMデュアル電流形インバータ駆動誘導機システムの制御法に関する研究
○ LiDARの反射強度に基づく壁面種類の判別手法の開発
○ 電磁散乱波形の機械学習に基づく水溶液モデルの導電率推定に関する基礎研究

電子情報工学専攻【博士課程 前期】

集積回路、通信システム、オプトエレクトロニクス、計算機システム、情報アーキテクチャー、知能工学、情報システム開発工学、メディア工学の8分野で構成され、各分野の専任教員が半導体工学、電子回路工学、ディジタル通信工学、オプトエレクトロニクス、計算機工学、ロボティクス、自然言語処理、音声・画像処理、システム・ソフトウェア工学の教育・研究を行っています。本専攻では、エレクトロニクス、通信および情報を中心に進められている技術革新を担っていくことができる高度な知識と研究能力を有する人材の育成を目指しています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

佐藤 寿倫 教授
① 高性能コンピュータシステムの省エネ・安全安心に関する研究
② 計算機システム

末次 正 教授
① 高周波スイッチング増幅器および半導体実装に関する研究
② 集積回路

鈴木 孝将 教授
① 電子材料の物性に関するナノエレクトロニクス分野の研究
② 集積回路

髙橋 伸弥 教授
① 音声・画像他、大規模データ処理技術に関する研究
② メディア工学

太郎丸 眞 教授
① ディジタル無線通信方式とソフトウエア無線機の研究
② 通信システム

鶴田 直之 教授
① 人工知能および複合現実、仮想現実の研究
② メディア工学

中西 恒夫 教授
① 組込みシステムとその開発方法論に関する研究
② 情報システム開発工学

名倉 徹 教授
① 半導体集積回路に関する研究
② 集積回路

文仙 正俊 教授
① 光記録および光応用計測に関する研究
② オプトエレクトロニクス

乙武 北斗 准教授
① 人工知能および自然言語処理に関する研究
② 知能工学

小野 晋太郎 准教授
① 画像センシングおよびスマートモビリティに関する研究
② 情報アーキテクチャ

三角 真 准教授
① コンピュータネットワークに関する研究
② 通信システム

中村 遼 講師
① 大規模ネットワーク・次世代ネットワークに関する研究
② 情報アーキテクチャ

橋本 浩二 助教
① 組込み・IoTシステム、半導体設計教育に関する研究
② 計算機システム

電子情報工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 仮想会議における効果的な議論促進を目的とした参加者行動データログと分析に関する研究
○ 入射波面制御による散乱媒体透過光のフォーカス形成の高速高精度化に関する研究
○ DeBERTa言語モデルとアンサンブル学習を用いたうつ度判定に関する研究
○ 仮想会議のユーザー体験向上のためのアバタ衣装の多彩かつ動的なカスタマイズ機能の開発
○ NeRF技術を活用した実映像自由視点ドライビングシミュレータの実現と視覚特性に応じた高速化
○ A Study of Side-Channel Security for Cost-sensitive IoT Devices
○ トグル型ピーク電圧検出回路を用いた電源ノイズ監視回路の設計と評価
○ 歩行型トラクタのスマート化に関する研究
○ 二輪車を対象とした快適経路推薦のための低視点顔表情に対する感情分析
○ Impact of Approximate ECG Signal Processing on Power Consumption and Arrhythmia Identification
○ ホログラフィックメモリにおいて部分コヒーレント再生された複素振幅変調信号光の強度輸送方程式法による検出に関する検討
○ 近似加算器を用いた低消費電力JPEG回路に関する研究
○ 4D Gaussian Splatting による博多祇園山笠の動的シーンレンダリング
○ 仮想会議の理解度向上を目的としたVR機能と表現方法の拡張の研究

化学システム工学専攻【博士課程 前期】

化学システム工学専攻は、化学工学分野および分子工学分野の先端的な知識や高度な専門技術を修得し、技術者として高い能力を有し、持続可能な社会の発展に貢献する人材を養成することを教育研究の理念としています。この理念に基づき、バイオ燃料、超臨界流体、高機能触媒技術、触媒表面解析、高性能化学装置、生体ソフト界面制御、環境・安全制御技術、バイオ分離技術などの、先端的なテーマを専門とする専任教員が、広い視野を持つ高度な化学技術者の育成を目指しています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

加藤 勝美 教授
① 化学災害の防止に向けた安全工学的研究
② 化学安全工学

久保田 純 教授
① エネルギー関連触媒とその表面機能に関する研究
② 応用触媒化学

重松 幹二 教授
① バイオマテリアルの化学変換と安全工学に関する研究
② 反応工学

新戸 浩幸 教授
① 細胞と生体関連材料の界面現象に関する基礎研究
② 界面プロセス工学

鈴川 一己 教授
① 実験計測及びCFDによる撹拌槽等の化学装置の流動研究
② 化工流体工学

野田 賢 教授
① 化学プラントの監視制御システムに関する研究
② プロセスシステム工学

松隈 洋介 教授
① 輸送現象論に基づく化学装置の高性能化に関する研究
② 移動現象工学

三島 健司 教授
① 高圧力技術を用いた機能性材料創製に関する研究
② 複合材料

加藤 貴史 准教授
① 機能性無機材料を用いた環境調和型システムの開発に関する研究
② 工業無機化学

瀬戸 弘一 准教授
① 生体模倣高分子の合成とバイオ分離材料への応用に関する研究
② 工業化学・高分子

吉原 直記 助教
① データ駆動型材料開発に関する研究
② プロセスシステム工学

化学システム工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ チューブリアクタを用いたジニトラミド酸の連続合成に関する研究
○ 発酵促進剤添加によるエタノール発酵における高濃度キシロース阻害の克服
○ セルロースナノファイバーの保湿性基剤中での分散凝集性と芳香成分の揮発制御への応用
○ 抗原検査用ニトロセルロース膜の劣化抑制技術の検討
○ PIV法による撹拌翼吐出領域の速度分布計測と吐出および乱流特性評価－羽根面積モーメントを統一した撹拌翼の比較－
○ イネ系バイオマスの粉じん爆発に対する安全性評価とその危険性の要因
○ バイオエタノール製造における食品廃棄物のタンパク源としての有効利用
○ リポソームを用いたフェニルアラニンのナノカプセル化
○ 精油の香りの嗜好性とバイオディーゼル燃料への添加効果
○ 多孔質化したリグニン由来炭素電極のCO_2還元特性
○ 表面調整剤を含む液滴の蒸発挙動
○ p-クマル酸の抽出およびカプセル化
○ 格子ボルツマン法による配管エルボ部での粒子堆積メカニズムの解明
○ 経口投与剤用のマイクロカプセルの開発
○ 抗原検査用ニトロセルロース膜の劣化挙動
○ 自動車エアバッグ用ガス発生剤の燃焼性に及ぼすハイドロタルサイト添加の影響
○ 有機・無機複合微粒子を添加したエポキシ接着剤の解体性評価
○ 超臨界二酸化炭素を用いたレボフロキサシンのマイクロカプセル化
○ 多孔板を用いた静止型混合器内の流動
○ 連鎖アラームのオンライン検出と発生抑制手法の開発
○ 枕型気泡槽における自励振動現象の発生機構解明－邪魔板との相互作用－

建設工学専攻【博士課程 前期】

住む、働く、憩う、動くなど、社会の多様な活動を支える空間や施設の整備を担う建設技術は、安心・安全の確保、環境との調和が不可欠であり、激しい自然災害に見舞われる現代社会において、より一層の高度化が求められています。本専攻は、そうした難問に積極的に取り組むことのできる高度な研究者、技術者、デザイナーの育成を目指しており、建築学と社会デザイン工学（土木工学）を専門とする教員が、幅広い分野の研究と教育を行っています。なお、一級建築士試験の実務経験要件を満たす科目も開講しています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

穴井 謙 教授
① 都市・建築空間における音・光環境の予測評価手法と対策技術に関する研究
② 建築学

池添 昌幸 教授
① 住宅および建築のストックマネジメントに関する研究
② 建築学

堺 純一 教授
① 建築構造物の弾塑性挙動と構造性能評価法に関する研究
② 建築学

佐藤 研一 教授
① 液状化、軟弱地盤、地盤環境問題への対策、舗装技術に関する研究
② 社会デザイン工学

柴田 久 教授
① 景観や公共施設のデザインに関する研究
② 社会デザイン工学

鈴木 光雄 教授
① 最適な構造計画のための効率的な構造検討方法に関する研究
② 建築学

高山 峯夫 教授
① 免震・制震技術を使った応答制御構造に関する研究
② 建築学

太記 祐一 教授
① 歴史的な都市空間とそれを構成する建築物に関する研究（東地中海沿岸を中心に）
② 建築学

辰巳 浩 教授
① 都市交通と地域活性化のためのまちづくりに関する研究
② 社会デザイン工学

趙 翔 教授
① 人間行動と空間の関係に関する研究と建築空間のデザイン
② 建築学

村上 哲 教授
① 豪雨・地震による地盤災害の予測手法の高度化と防止・軽減技術に関する研究
② 社会デザイン工学

吉澤 幹夫 教授
① 安全で安心な建築空間を創造する構造設計に関する実践的な研究
② 建築学

渡辺 浩 教授
① 木質資源の外構材への有効利用と木橋への適用性に関する研究
② 社会デザイン工学

渡辺 亮一 教授
① 都市内水循環および生態系再生に関する研究
② 社会デザイン工学

田中 照久 准教授
① 建築構造物の耐震技術と性能設計法に関する研究
② 建築学

塚越 雅幸 准教授
① 建築部材の耐久性評価および予測と補修・補強に関する研究
② 建築学

橋本 彰博 准教授
① 流域・沿岸域における防災・減災および環境保全に関する研究
② 社会デザイン工学

櫨原 弘貴 准教授
① コンクリート構造物の高耐久化と維持管理技術に関する研究
② 社会デザイン工学

宮崎 慎也 准教授
① 持続可能な都市形態と社会システムに関する研究
② 建築学

四ヶ所 高志 助教
① 現代建築の空間構成と建築設計論の関係に関する研究
② 建築学

下妻 達也 助教
① 構造解析による橋梁の力学的挙動の解明に関する研究
② 社会デザイン工学

田部井 優也 助教
① 安心安全に暮らせる交通まちづくりに関する研究
② 社会デザイン工学

野口 雄太 助教
① 伝統的建造物および農村景観の保全に関する計画学的研究
② 建築学

野田 りさ 助教
① 都市における持続可能な福祉空間デザインに関する研究
② 建築学

藤川 拓朗 助教
① 副産物・廃棄物の地盤工学的有効利用と環境安全性の評価に関する研究
② 社会デザイン工学

松永 一郎 助教
① 街路や都市空間の景観に関する研究
② 建築学

建設工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 災害時における外国人観光客への災害支援対策の実態調査とその拡充に向けた研究
○ 炭酸化処理と比重差選別を組み合わせた新しい焼却主灰の土木資材化に関する研究
○ 履歴型および粘性型のダンパーを用いた超高層建物の性能設計に関する研究
○ 草葺き屋根の継承に関する研究－北部九州地域の平野部におけるケーススタディ－
○ 深層学習を用いた豪雨時の河川水位予測における学習データの検討
○ 無形民俗文化財における防災への取り組み状況に関する基礎的考察
○ Instagramの投稿から見たカフェの立地とファサードデザインに関する研究
○ 建築の両義的解釈:トランスコード的設計手法・試論
○ 中層木造建築物の構造計画における耐震性能向上に関する研究
○ 鋼ランガートラス橋の中間横桁ウェブに生じた水平亀裂の発生原因究明と亀裂抑制構造の解析的検討
○ 現代日本の建築家によるヴォールト天井をもつ空間の設計意図と断面構成
○ シビックプライド醸成に寄与する景観計画の策定プロセスに関する考察－大分県津久見市を事例として－
○ 免震・制振ハイブリッド構造を用いた大振幅地震動に対する地震時応答の抑制効果に関する研究
○ 小規模街区公園を巡る再編成プランに関する考察－福岡県糸島市を対象として－
○ 福岡県内における金属盗難の現状と対策に関する基礎的考察
○ 鋼構造建築物の部材リユースを想定した耐震設計技術に関する研究
○ 低炭素化と生産性向上を図ったプレキャストコンクリートの蒸気養生特性
○ クド造り民家の立地と規模との関係性に関する研究－山間部の大型クド造り民家を対象として－
○ 現代住宅における茶室の役割及び日常空間と茶室を結ぶ動線の意匠特性について
○ エリアマネジメント団体からみた天神明治通り「グランドデザイン実現の手引書」の改訂プロセスに関する考察
○ 大都市都心部における囲み型公開空地の利用特性に関する研究
○ 風致公園における再整備事業のデザインプロセスに関する考察－福岡県営西公園を事例として－
○ 連結制振構造における連結部の最適な減衰に関する研究

エネルギー・環境システム工学専攻【博士課程 後期】

本専攻は、熱エネルギー工学、電気エネルギー工学、都市環境工学、環境材料工学、環境プロセス工学および資源循環システム工学の6専修から構成され、エネルギー問題解決のためのエネルギーの生成・変換・伝達および輸送に関する研究と、環境問題に対処するための環境適合化学システムの構築、廃棄物の処理・再資源化技術、さらに環境悪化を防止あるいは改善する機能性材料の研究などを通じて学際的研究を推進しています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 専修部門

穴井 謙 教授
① 都市・建築空間における音・ 光環境の予測評価手法と対策技術に関する研究
② 都市環境工学

池添 昌幸 教授
① 地域・住宅地の再生と次世代型モデルに関する研究
② 都市環境工学

遠藤 正浩 教授
① 複雑な荷重を受ける材料の疲労強度評価
② 環境材料工学

加藤 勝美 教授
① 化学物質および化学プロセスの発火・爆発危険性に関する研究
② 環境プロセス工学

木下 幸治 教授
① 社会インフラの環境負荷低減を可能とするエコ・リニューアル工法に関する研究
② 都市環境工学

久保田 純 教授
① エネルギー技術に関する触媒開発と、その表面の機能に関する研究
② 環境プロセス工学

堺 純一 教授
① 建築構造物の弾塑性挙動と構造性能評価法に関する研究
② 都市環境工学

佐藤 研一 教授
① 各種廃棄物の地盤への適用と新しい舗装技術の開発
② 都市環境工学

重松 幹二 教授
① 生物の機能と特徴を活かした環境に優しい材料の開発
② 環境プロセス工学

篠原 正典 教授
① プラズマー表面相互作用、プラズマを用いたデバイス創製の研究
② 電気エネルギー工学

柴田 久 教授
① 景観や公共施設のデザインに関する研究
② 都市環境工学

新戸 浩幸 教授
① ナノマテリアルの生体・環境影響に関する基礎研究
② 環境プロセス工学

鈴木 慎也 教授
① (1)生活系廃棄物・災害廃棄物の発生抑制に関する研究
(2)廃棄物埋立地における汚染物質の挙動とその制御に関する研究
② 資源循環システム工学

鈴木 光雄 教授
① 地震応答最適化と最適化手法の適用に関する研究
② 都市環境工学

住吉谷 覚 教授
① レーザ光による空間電磁界ベクトル計測に関する研究
② 電気エネルギー工学

高尾 幸来 教授
① (1)低GWP冷媒を用いる冷凍空調機器内の伝熱流動特性およびオイルの影響に関する研究
(2)対向ピストンエンジンの高効率化に関する研究
② 熱エネルギー工学

高山 峯夫 教授
① 免制震技術を用いた応答制御構造と各種デバイスの開発
② 都市環境工学

辰巳 浩 教授
① 快適で持続可能な交通・都市システムに関する研究
② 都市環境工学

田中 綾子 教授
① 廃棄物中の有害物質の特性と生物化学的処理技術に関する研究
② 資源循環システム工学

趙 翔 教授
① 人間行動と空間の関係に関する研究
② 都市環境工学

野田 賢 教授
① システムズアプローチによる環境配慮型プロセスの開発
② 環境プロセス工学

松隈 洋介 教授
① 二酸化炭素排出削減に関連した化学装置の開発・高性能化
② 環境プロセス工学

村上 哲 教授
① 地盤災害の予測手法の高度化と防止・軽減技術に関する研究
② 都市環境工学

森山 茂章 教授
① 高機能で長寿命な人工関節の開発
② 環境材料工学

柳瀬 圭児 教授
① 材料力学に関する実験的および解析的研究
② 環境材料工学

山田 和豊 教授
① ターボ機械の高効率化・高信頼性化に関する研究
② 熱エネルギー工学

山辺 純一郎 教授
① 脱炭素社会実現に向けた部材の強度設計に関する先進的研究
② 環境材料工学

山本 俊浩 教授
① 環境負荷低減を目指す複合材料の強度評価に関する研究
② 資源循環システム工学

渡辺 浩 教授
① 木質資源の外構材への有効利用と木橋への適用性に関する研究
② 都市環境工学

渡辺 亮一 教授
① 都市内水循環および生態系再生に関する研究
② 都市環境工学

為田 一雄 准教授
① 廃棄物処理処分のトータルシステムに関する研究
② 資源循環システム工学

櫨原 弘貴 准教授
① コンクリート構造物の高耐久化と維持管理技術に関する研究
② 都市環境工学

エネルギー・環境システム工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ タグチメソッドと非線形材料特性を考慮したFEM解析を組み合わせた履歴型免震ダンパーの最適設計手法に関する研究
○ 凍害と塩害の複合劣化抵抗性に及ぼす特殊混和材の効果に関する研究
○ 管理型最終処分場でのシートキャッピング施工とバイオアッセイを用いた埋立管理に関する研究

情報・制御システム工学専攻【博士課程 後期】

本専攻は、情報処理工学、情報伝送工学、システム制御工学、機能デバイス工学の4専修で構成されています。知的情報処理、言語工学、音声情報処理、システム／ソフトウェア工学、ディジタル通信工学を含む情報伝送、電磁波工学、光情報処理、パワー半導体を用いた電力変換、ロボット制御に関する研究、さらにシステムをハード面で支える各種機能素子の研究などを複数の専門領域から多角的に展開しています。

担当教員　氏名(職位)　① 研究または講義のテーマ　② 専修部門

岩村 誠人 教授
① マルチボディダイナミクス理論の開発とそのロボティクスへの応用に関する研究
② システム制御工学

江田 孝治 教授
① 画像を用いたセキュリティシステムに関する研究
② 情報処理工学

小浜 輝彦 教授
① スイッチング電源およびアナログ回路に関する研究
② システム制御工学

佐藤 寿倫 教授
① 高性能・低電力・高信頼性システムアーキテクチャの研究
② 情報処理工学

末次 正 教授
① (1)高周波スイッチング増幅器に関する研究
(2)半導体実装に関する研究
(3)機能性デバイスに関する研究
② 機能デバイス工学

鈴木 孝将 教授
① 電子材料の物性に関するナノエレクトロニクス分野の研究
② 機能デバイス工学

高橋 伸弥 教授
① 音声・画像・大規模データの人工知能応用技術に関する研究
② 情報処理工学

太郎丸 眞 教授
① ディジタル無線通信システムとソフトウエア無線機の回路と信号処理に関する研究
② 情報伝送工学

鶴田 直之 教授
① 人工知能および複合現実、仮想現実の研究
② 情報処理工学

中西 恒夫 教授
① 組込みシステムとその開発方法論に関する研究
② 情報処理工学

名倉 徹 教授
① 半導体集積回路に関する研究
② 機能デバイス工学

根葉 保彦 教授
① 電力変換器の開発と応用システムの研究
② システム制御工学

文仙 正俊 教授
① 光情報記録、光情報処理や光計測に関する研究
② 機能デバイス工学

三島 健司 教授
① 高圧力技術を用いた機能性材料創製に関する研究
② 機能デバイス工学

孟 志奇 教授
① 電磁波の応用技術と数値解析手法に関する研究
② 情報伝送工学

モシニャガ, ワシリー 教授
① サイバーフィジカルシステムに関する研究
② 情報処理工学

吉村 賢治 教授
① 自然言語処理システムの研究
② 情報処理工学

情報・制御システム工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ 電磁散乱波形と機械学習を用いた平板層状媒質の比誘電率分布の推定に関する基礎研究
○ 論理集積回路における放射線誘起シングルイベント過渡パルスの回路伝搬現象に関する研究

資源循環・環境工学専攻【修士課程】

本専攻は、資源とエネルギー制約の下、循環型社会の実現に必要な人材を育成することを目指しています。資源循環工学、環境化学制御、環境生態制御、地域環境、環境マネジメント、及び東アジア文化環境の6専修で構成され、文系及び理系を専門とする教員による文理横断的な教育を行っています。なお、本専攻は工学研究科に設置されていますが、文理融合型の大学院として出身の学部・学科を問わず、社会人や留学生を含め、広く門戸を開いています。

担当教員　氏名(職位)　① 研究または講義のテーマ　② 専修部門

大澤 武司 教授
① 日中関係における資源・環境問題の歴史学・政治学的アプローチによる研究
② 東アジア文化環境

木下 幸治 教授
① 社会インフラの環境負荷低減を可能とするエコ・リニューアル工法に関する研究
② 資源循環工学

鈴木 慎也 教授
① (1)生活系廃棄物・災害廃棄物の発生抑制に関する研究
(2)廃棄物埋立地における汚染物質の挙動とその制御に関する研究
② 環境生態制御

田中 綾子 教授
① 廃棄物管理における環境管理と環境汚染リスク低減に関する研究
② 環境生態制御

柳橋 泰生 教授
① 環境マネジメントのあり方及び手法に関する研究
② 環境マネジメント

山本 俊浩 教授
① (1)環境負荷低減を目指した高分子系複合材料の開発研究
(2)循環型社会を目指したリサイクルに関する基礎的研究
② 資源循環工学

田浦 扶充子 准教授
① (1)グリーンインフラ・雨庭の実装と評価に関する研究
(2)自然資源の循環・活用による持続可能な地域づくりや景観形成に関する研究
② 環境マネジメント

武下 俊宏 准教授
① (1)埋立廃棄物から生じる硫黄化合物の発生制御に関する研究
(2)廃水の微生物処理(廃食油由来の有機物を用いた脱窒素および嫌気性消化によるメタン生産)に関する研究
② 環境化学制御

為田 一雄 准教授
① (1)廃棄物管理(処理・処分・資源化)に関する研究
(2)環境修復(土壌汚染・最終処分場早期安定、再生・不法投棄)に関する研究
② 地域環境

資源循環・環境工学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 資源回収拠点の利用と健康に関する研究
○ 安定型最終処分場の効率的な搬入管理手法の開発

医学研究科

医学研究科は、豊かな人間性、協調性および積極性を持ち、研究能力を培うとともに特定の専門分野において深い研究を行い得る研究者の養成、臨床研究者として優れた研究能力を備えた医師・看護師等の養成を目的としています。

研究科長メッセージ

医学研究科長
髙松 泰 教授

医学研究科では、医学や看護学に関する高度な専門的知識・技術を習得し、社会に貢献できる医療従事者の育成を目指しています。

博士課程(医学)は、人体生物系、生体制御系、病態構造系、病態機能系、社会医学系、先端医療科学系の6つの専攻分野があり、医学・生命科学等に関する基礎研究、および病態の解明、診断法や治療成績の向上を目指した臨床研究を行っています。またがん治療を専門とする医療者の育成を目的に、がんプロフェッショナル養成コースを設置しています。基礎教育課程として研究に必要な医学知識、研究倫理、統計学、および学術論文の書き方ゼミを開設しています。

修士課程(看護学)では、看護学に関する高度な専門的知識と探求力を備え、責務が拡大する保健・医療チームで広く活躍できる専門職業人を養成しています。修士論文コース、高度実践看護師(クリティカルケア看護)コースが選択できます。

国際学術交流の一環として、韓国啓明大学と大学院生、教員レベルで交流を行っています。講義はe-learningを用いて学外からの受講も可能です。社会人、他学部卒業者、障がいのある人、留学生等も広く受け入れ、多様な人材が研究を行うことができる環境整備に取り組んでいます。

人体生物系専攻【博士課程】

生体構造学、分子細胞生物学、細胞分子制御学を専門領域とする教員によって構成され、人間の生物としての基本となる構造や働きについて分子から多階層システムにわたる研究を進めています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

貴田 浩志 教授
① 中枢神経、ドラッグデリバリーシステム、遺伝子治療
② 生体構造学

白澤 専二 教授
① 分子腫瘍学、ゲノム制御、細胞分化
② 分子細胞生物学

立花 克郎 教授
① 医用生体工学、DrugDeliverySystem、超音波医科学
② 生体構造学

藤田 孝之 教授
① 循環調節、自律神経機能、細胞死制御
② 細胞分子制御学

石倉 周平 准教授
① 分子生物学、細胞生物学、蛋白生化学
② 分子細胞生物学

角田 俊之 准教授
① 分子腫瘍学、癌の分子標的療法、薬物送達法
② 分子細胞生物学

遠藤 日富美 講師
① 腫瘍免疫、超音波医学、遺伝子治療
② 生体構造学

土井 佳子 講師
① 分子細胞生物学、遺伝子機能
② 分子細胞生物学

フェリル, ロリト 講師
① 基礎放射線医学、超音波医科学、アポトーシス
② 生体構造学

本田 啓 講師
① 分子細胞生物学、細胞内情報伝達、セカンドメッセンジャー
② 細胞分子制御学

吉田 和真 講師
① 分子生物学、細胞生物学、染色体生物学
② 分子細胞生物学

生体制御系専攻【博士課程】

生体防御学、再生・移植医学、呼吸病態生理学、再生再建外科学を専門領域とする教員によって構成され、ヒトに対して病原性を持つ微生物および動物の感染と、それに対する人体の免疫応答システム、移植免疫や再生医療についての研究を進めています。

担当教員 氏名(職位) ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等

石井 寛 教授
① 呼吸器病学、臓器線維症、胸部画像
② 呼吸病態生理学

小玉 正太 教授
① 再生医学・再生医療、移植外科・移植免疫、血管・リンパ管新生
② 再生・移植医学

髙木 誠司 教授
① 創傷治癒、微小血液循環、頭蓋顎顔面外科
② 再生再建外科学

廣松 賢治 教授
① 感染免疫、病原微生物の宿主応答からのエスケープ機構、CDI分子－糖脂質抗原提示分子
② 生体防御学

藤田 昌樹 教授
① 呼吸器病学、呼吸器感染症、非結核性抗酸菌症
② 呼吸病態生理学

井上 博之 准教授
① 呼吸器病学、腫瘍免疫、遺伝子治療
② 呼吸病態生理学

坂田 直昭 准教授
① 再生医学、移植、細胞生物学
② 再生・移植医学

濵田 直樹 准教授
① 呼吸器病学、間質性肺疾患、肺線維化
② 呼吸病態生理学

吉松 軍平 准教授
① 自然免疫、消化器外科、大腸
② 再生・移植医学

石井 一成 講師
① 感染免疫(感染防御機構とエスケープ機構)、細胞内寄生病原体、熱帯医学
② 生体防御学

伊藤 竜太 講師
① 細菌学、抗菌性物質、感染免疫
② 生体防御学

大山 拓人 講師
① 創傷治癒のメカニズム、細胞増殖因子、慢性創傷
② 再生再建外科学

尾鶴 亮 講師
① 人獣共通感染症、バイオインフォマティクス、代謝モデリング
② 生体防御学

坂本 篤彦 講師
① 感染免疫、和漢診療学、感染症学
② 生体防御学

清水 章文 講師
① 感染免疫、クラミジア感染症、細菌遺伝学
② 生体防御学

田中 智子 講師
① 分子細胞生物学、内分泌代謝学、再生医療
② 再生・移植医学

伴 文武 講師
① 感染免疫、マクロファージ、脂肪酸結合タンパク質
② 生体防御学

吉村 芳修 講師
① クラミジア、感染免疫
② 生体防御学

生体制御系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ Effectiveness Evaluation of Microneedling Therapy for Diabetic Ulcer: An Animal Model Study
(糖尿病性潰瘍動物モデルに対するマイクロニードル治療の有効性の検証)
○ Real-world Efficacy and Safety of Atezolizumab Plus Bevacizumab, Paclitaxel and Carboplatin for First-line Treatment of Japanese Patients With Metastatic Non-squamous Non-small Cell Lung Cancer
(進行非扁平上皮・非小細胞肺癌の日本人患者への一次治療としてのアテゾリズマブ、ベバシズマブ、カルボプラチン、パクリタキセル併用療法の実臨床における有効性と安全性)

病態構造系専攻【博士課程】

形態病理学、腫瘍病理学、高次中枢病態学、視覚病態学、腎・尿路病態学、消化器病態学、脳神経病態学、腎免疫・代謝病態学を専門領域とする教員によって構成され、人体の微細構造とその病的状態、各種疾患の発症機序および治療法についての研究を進めています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等

安部 洋 教授
① 脳神経外科、脳血管障害、脳腫瘍
② 高次中枢病態学

二村 聡 教授
① 病理形態学、肉眼病理診断学、消化管病理診断学
② 形態病理学

羽賀 宣博 教授
① 泌尿器科学、前立腺がん、排尿機能
② 腎・尿路病態学

馬場 康彦 教授
① 神経変性疾患、バイオマーカー、ニューロモデュレーション治療
② 脳神経病態学

濵﨑 慎 教授
① 呼吸器病理学、呼吸器腫瘍学、病理診断学
② 腫瘍病理学

久部 高司 教授
① 消化器系疾患、大腸疾患、消化管腫瘍
② 消化器病態学

平山 雅敏 教授
① 眼科学、再生医学、デジタル医療
② 視覚病態学

升谷 耕介 教授
① 腎臓病学、透析医学、腎移植
② 腎免疫・代謝病態学

八尾 建史 教授
① 消化器内科学、内視鏡、画像診断
② 消化器病態学

石井 龍 准教授
① 尿路変向術、泌尿器科悪性腫瘍、癌化学療法
② 腎・尿路病態学

伊藤 建二 准教授
① 慢性腎臓病、脂質異常症、最終糖化産物(AGEs:Advanced glycation endproducts)
② 腎免疫・代謝病態学

上杉 憲子 准教授
① 腎病理、腎炎、糖尿病性腎症
② 腫瘍病理学

尾﨑 弘明 准教授
① 眼科学、網膜硝子体疾患、血管新生
② 視覚病態学

津川 潤 准教授
① 神経内科学、脳血管障害、臨床神経生理学
② 脳神経病態学

濵田 義浩 准教授
① 人体病理学、膵疾患、胆道疾患
② 形態病理学

久冨 智朗 准教授
① 網膜硝子体疾患、網膜の細胞生物学・病理学、手術用薬剤・機器開発
② 視覚病態学

三宅 勝久 准教授
① 膠原病学、臨床免疫学、サイトカイン
② 腎免疫・代謝病態学

安野 哲彦 准教授
① 腎臓内科学、感染症内科学、膠原病
② 腎免疫・代謝病態学

青木 光希子 講師
① 人体病理学、乳腺腫瘍
② 腫瘍病理学

小野 陽一郎 講師
① 消化器内科学、消化管形態学、食道疾患
② 消化器病態学

金光 高雄 講師
① 早期胃癌、慢性胃炎、画像強調内視鏡
② 消化器病態学

古賀 佳織 講師
① 人体病理学、皮膚病理、皮膚腫瘍
② 腫瘍病理学

髙津 典孝 講師
① 炎症性腸疾患、潰瘍性大腸炎、クローン病
② 消化器病態学

中村 信之 講師
① 泌尿器科学、腎臓移植、移植免疫
② 腎・尿路病態学

松﨑 洋吏 講師
① 腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬治療、腎細胞癌に対する分子標的薬治療、腎細胞癌の薬剤耐性メカニズム
② 腎・尿路病態学

宮岡 正喜 講師
① 早期胃癌の診断、拡大内視鏡診断、早期胃癌の治療
② 消化器病態学

病態構造系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ Impact of non-motor fluctuations on QOL in patients with Parkinson's disease
(パーキンソン病に伴う非運動症状の変動がQOLに及ぼす影響について)
○ Intracranial Gene Delivery Mediated by Albumin-Based Nanobubbles and Low-Frequency Ultrasound
(アルブミン殻ナノバブルと低周波数超音波による頭蓋内への遺伝子導入)
○ Impact of Constipation Symptoms Defined by Rome III Criteria on QOL in Patients with Parkinson's Disease
(パーキンソン病患者におけるRome III基準による便秘症状のQOLへの影響)

【博士(秋季修了)】
○ Is preoperative pancreatic juice cytology useful for determining therapeutic strategies for patients with intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas?
(膵管内乳頭粘液産生腫瘍(IPMN)症例における術前膵液細胞診は治療方針決定に有用か)
○ Clinical characteristics and management of vertebral artery dissection without definitive imaging features: A single center cohort study
(確定的画像診断を欠く椎骨動脈解離の臨床的特徴と管理: 単施設コホート研究)

病態機能系専攻【博士課程】

細胞分子薬理学、神経耳科学、関節機能学、運動器機能学、循環機能学、放射線応用医学、脳卒中予防・地域医療学、麻酔学、救命救急医学、口腔病態学を専門領域とする教員によって構成され、生体機能の仕組みとその病的変化についての研究を進めています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等

秋吉 浩三郎 教授
① 麻酔、循環管理、周術期管理
② 麻酔学

伊﨑 輝昌 教授
① 運動器病学、バイオメカニクス、肩関節疾患
② 運動器機能学

岩本 隆宏 教授
① イオン輸送体・チャネル、心血管・脳神経疾患、疾患モデルマウスの創薬応用
② 細胞分子薬理学

鎌田 聡 教授
① ロコモティブシンドローム、サルコペニア
② 関節機能学

近藤 誠二 教授
① 口腔疾患、口腔機能、血管新生
② 口腔病態学

坂田 俊文 教授
① 耳鼻咽喉科学、聴覚異常感（耳鳴、他）、神経耳科学
② 神経耳科学

柴田 陽三 教授
① 肩のスポーツ障害、肩関節不安定症の病態と生理、肩腱板断裂の病態と生理
② 運動器機能学

仲村 佳彦 教授
① 敗血症、外傷、急性期脳梗塞
② 救命救急医学

山本 卓明 教授
① 整形外科、股関節疾患、骨壊死
② 関節機能学

吉満 研吾 教授
① 腹部画像診断、CT、MR
② 放射線応用医学

和田 秀一 教授
① 心臓血管外科、大動脈瘤、体外循環
② 循環機能学

岩朝 光利 准教授
① 脳血管障害、頭部外傷、神経救急
② 救命救急医学

梅本 丈二 准教授
① 摂食嚥下、老年歯学、睡眠時無呼吸
② 口腔病態学

木下 浩一 准教授
① 臼蓋形成不全、骨切り術、人工股関節全置換術
② 関節機能学

桑原 豪 准教授
① 心臓血管外科、大動脈瘤、大動脈解離
② 循環機能学

重松 研二 准教授
① 呼吸管理、敗血症
② 麻酔学

高野 浩一 准教授
① 神経画像診断、脊椎画像診断、脳血管障害の診断
② 放射線応用医学

高山 幸久 准教授
① インターベンショナルラジオロジー(IVR)、Computed tomography(CT)、Magnetic Resonance Imaging(MRI)
② 放射線応用医学

新居 浩平 准教授
① 脳血管障害、脳卒中の外科、脳血管内治療
② 脳卒中予防・地域医療学

根本 隆行 准教授
① 細胞内シグナル伝達、イオンチャネル、細胞骨格制御
② 細胞分子薬理学

前山 彰 准教授
① 整形外科、膝関節疾患、スポーツ障害
② 関節機能学

森下 雄一郎 准教授
① 脊椎加齢変化、腰部脊柱管狭窄症、頚椎症性脊髄症
② 関節機能学

喜多 知 講師
① 褐色脂肪細胞の熱産生機構、肥満関連疾患の創薬研究、イオン輸送体の電気生理学
② 細胞分子薬理学

喜多 涼介 講師
① 歯科口腔外科学、口腔粘膜、顎変形症
② 口腔病態学

小松 知広 講師
① 脂質代謝、分子骨格筋学、トランスポーター
② 細胞分子薬理学

篠田 康晴 講師
① 神経変性疾患、虚血性心疾患、循環障害
② 細胞分子薬理学

末田 尚之 講師
① 頭頚部外科学、内耳生理学、頭頚部癌の化学療法
② 神経耳科学

瀬戸 美夏 講師
① 歯科麻酔学、自律神経活動
② 口腔病態学

三橋 泰仁 講師
① 耳鼻咽喉科学、頭頸部外科学、鼻科学
② 神経耳科学

萩尾 友宣 講師
① 足関節、スポーツ障害、関節リウマチ
② 関節機能学

吉野 綾 講師
① 口腔機能、生体材料学、医理工連携
② 口腔病態学

病態機能系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ Risk of Axillary Nerve Injury with Medial Support Screws in Intramedullary Nails: An Anatomical Study
(髄内釘における内側支持スクリューによる腋窩神経損傷のリスク：解剖学的研究)
○ Factors Affecting Home Discharge of Older Adults with Cervical Spinal Cord Injury in Japan Regional Population
(日本における高齢者頚髄損傷患者の自宅退院に影響を与える要因)
○ Outcomes of Balloon Kyphoplasty for Vertebral Compression Fractures in Patients with Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis at the Distal End or Adjacent Vertebra of the Fused Segments
(びまん性特発性骨増殖症の患者における癒合椎遠位端もしくは癒合椎隣接椎体の圧迫骨折に対するballoon kyphoplastyの治療成績)
○ Relationship Between Early Postoperative Activities of Daily Living and Bony Contact of the Anteromedial Bone Cortex Following Femoral Trochanteric Fracture
(大腿骨転子部骨折術後における大腿骨前内側骨皮質の骨性接触が術後早期ADLに与える影響)
○ Milk Casein Inhibits Effect of Black Tea Galloylated Theaflavins to Inactivate SARS-CoV-2 *in vitro*
(ミルクカゼインは、*in vitro* で SARS-CoV-2 を不活化する紅茶ガロイル化テアフラビンの効果を阻害する)
○ Morphological Study of Distal Femoral Varus Deformity
(大腿骨遠位内反変形の形態学的検討)
○ Amyloid Detection Rate in Endoscopic Carpal Tunnel Release
(鏡視下手根管開放術におけるアミロイド検出率の検討)

【博士（秋季修了）】
○ Antibody Response Following the Intranasal Administration of SARS-CoV-2 Spike Protein-CpG Oligonucleotide Vaccine
(SARS-CoV-2スパイク蛋白-CpGオリゴヌクレオチドワクチンの経鼻投与による抗体反応)
○ Rescue of murine hind limb ischemia via angiogenesis and lymphangiogenesis promoted by cellular communication network factor 2
(CCN2投与による血管、リンパ管新生を介した虚血肢マウスモデルにおける血流改善効果)

社会医学系専攻【博士課程】

予防医学・公衆衛生学、犯罪医学、精神科治療学、生命医療倫理学を専門領域とする教員によって構成され、人間がヒト集団の社会に属することによって誘発される疾病、損傷、環境保健学の分野における障害、疾病発症に対する社会環境的要因などについて研究を進めています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等

有馬 久富 教授
① 臨床試験、疫学
② 予防医学・公衆衛生学

堀 輝 教授
① 精神医学、精神薬理学、産業精神医学
② 精神科治療学

前田 俊樹 准教授
① 公衆衛生、レセプト分析、DPC分析
② 予防医学・公衆衛生学

今泉 聡 教授
① 生命医療倫理、循環器系疾患
② 生命医療倫理学

柏木 正之 准教授
① 法医病理学、体液中微量分析、バイオマーカー
② 犯罪医学

吉村 力 准教授
① 睡眠医学、呼吸器系疾患
② 予防医学・公衆衛生学

阿部 真紀子 講師
① 高血圧症、内分泌代謝疾患、疫学
② 予防医学・公衆衛生学

衛藤 暢明 講師
① 臨床精神医学、自殺予防学、精神分析学
② 精神科治療学

松末 綾 講師
① 法医遺伝子、DNA多型、遺伝子変異
② 犯罪医学

飯田 仁志 講師
① 精神医学、老年精神医学、精神科リハビリテーション
② 精神科治療学

川添 美紀 講師
① 脳神経内科、臨床疫学、公衆衛生学
② 予防医学・公衆衛生学

ウォーターズ, ブライアン J 講師
① 法医中毒学、医療用質量分析、薬物乱用
② 犯罪医学

菅原 裕子 講師
① 精神医学、リエゾン精神医学、分子精神医学
② 精神科治療学

社会医学系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ Qualitative analysis of blood from patients engaging in deliberate self-harm: differences between prescribed and detected drugs
(故意の自損行為を行った患者の血液試料を用いた定性的分析：処方薬と検出薬の相違について)
○ Lower plasma tumor necrosis factor-α is associated with symptomatic remission in patients with schizophrenia
(血漿中のTNF-α低値は統合失調症の寛解と関連がある)
○ Relationship between abdominal circumference and the incidence of hyperuricemia in the general Japanese population
(日本人一般住民におけるウエスト周囲長と高尿酸血症との関連)
○ Association between Salt Intake and the Incidence of Obesity in the General Japanese Population
(日本人一般集団における食塩摂取量と肥満発症の関連性)

先端医療科学系専攻【博士課程】

分子医化学、循環生理化学、分子生殖医学、臨床検査解析学、心疾患病態生理化学、皮膚炎症・感染症免疫遺伝学、感染症病態生理学、病院感染制御科学、内分泌・代謝病態生理学、消化器外科病態学、臓器再建・病態外科学、消化器内科病態学、発達小児科学、総合内科診断学、臨床腫瘍学、臨床研究科学を専門領域とする教員によって構成され、生体の働きに関与する重要な体内物質とその動的代謝、およびその病的変化と臨床応用についての研究を進めています。

担当教員　氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目等

井上 貴仁 教授
① 小児科学、小児神経学、臨床遺伝学
② 発達小児科学

小川 正浩 教授
① 不整脈・心臓電気生理、心臓自律神経、心不全
② 臨床検査解析学

小林 邦久 教授
① 糖尿病学、脂質代謝、動脈硬化
② 内分泌・代謝病態生理学

今福 信一 教授
① 単純ヘルペス、性感染症、帯状疱疹
② 皮膚炎症・感染症免疫遺伝学

川浪 大治 教授
① 糖尿病、糖尿病関連腎臓病、動脈硬化
② 内分泌・代謝病態生理学

小吉 里枝 教授
① 循環器系疾患、心臓超音波検査、医療安全
② 臨床研究科学

大倉 義文 教授
① 冠動脈危険因子、老年内科、認知機能
② 臨床研究科学

河村 彰 教授
① 循環器内科、動脈硬化、細胞内シグナル伝達機構
② 心疾患病態生理化学

佐藤 寿彦 教授
① 新規医療機器開発、低侵襲外科、臓器再建・再生
② 臓器再建・病態外科学／臨床腫瘍学

小川 厚 教授
① 小児神経学、小児虐待、小児発達・心理学
② 発達小児科学

北島 研 教授
① 動脈硬化、脂質代謝異常
② 臨床研究科学

白石 武史 教授
① 肺移植、肺癌、胸腔鏡（内視鏡）手術
② 臓器再建・病態外科学

瀬川 波子 教授
① 臨床疫学、動脈硬化と冠危険因子、リポ蛋白代謝異常解析
② 分子医化学／臨床研究科学

髙田 徹 教授
① 感染症学、臨床微生物学、感染制御学
② 感染症病態生理学／病院感染制御科学

髙松 泰 教授
① 臨床血液腫瘍学、実験血液腫瘍学、腫瘍細胞生物学
② 感染症病態生理学／臨床腫瘍学

永光 信一郎 教授
① Information and Communication Technology、Mobile Technology、ヘルスプロモーション
② 発達小児科学

鍋島 茂樹 教授
① 内科診断学、感染症、東洋医学
② 総合内科診断学

野田 慶太 教授
① 研究倫理、臨床研究、倫理指針
② 臨床研究科学

長谷川 傑 教授
① 消化器外科、ロボット・腹腔鏡手術、がんゲノム医療
② 消化器外科病態学

平井 郁仁 教授
① 炎症性腸疾患、小腸疾患、大腸疾患
② 消化器内科病態学

廣瀬 伸一 教授
① 小児科学、臨床遺伝学、病態の生化学
② 発達小児科学

三浦 伸一郎 教授
① 循環障害の病態生理、心血管系受容体の病態、心臓生理学的機器
② 循環生理化学／臨床研究科学

安永 晋一郎 教授
① 幹細胞・再生医学、血液・免疫・アレルギー、病態医化学
② 分子医化学

安元 佐和 教授
① 小児神経学、発達心理学、てんかん学
② 臨床研究科学

八尋 英二 教授
① 循環器系疾患、心不全、再生医療
② 臨床研究科学

吉田 陽一郎 教授
① 大腸癌、化学療法、デジタル医療
② 消化器外科病態学

四元 房典 教授
① 標的治療、腫瘍増殖因子、癌増殖機構
② 分子生殖医学／臨床腫瘍学

早稲田 龍一 教授
① 新規医療機器開発、手術教育、手術シミュレーション
② 臓器再建・病態外科学

渡部 雅人 教授
① 消化器外科、内視鏡外科手術、消化器悪性腫瘍
② 消化器外科病態学

阿部 一朗 准教授
① 内分泌学、代謝学
② 内分泌・代謝病態生理学

池 周而 准教授
① 虚血性心疾患、循環器系疾患
② 心疾患病態生理化学

磯部 泰司 准教授
① リンパ系腫瘍、EBウイルス、アポトーシス
② 臨床腫瘍学

入江 真 准教授
① 非アルコール性肝疾患、門脈圧亢進症、酸化的ストレス
② 消化器内科病態学

大久保 久美子 准教授
① 検査診断学、遺伝子検査、分子内分泌学
② 臨床検査解析学

梶原 正俊 准教授
① 肝胆膵外科、腹腔鏡/ロボット支援下手術
② 消化器外科病態学

塩飽 洋生 准教授
① 内視鏡による低侵襲治療、内視鏡的全層切除・縫合法の研究、人工知能（AI）による内視鏡診断学
② 消化器外科病態学

杉原 充 准教授
① 虚血性心疾患、末梢動脈疾患、血管内治療
② 循環生理化学

髙士 祐一 准教授
① 内分泌、糖尿病、リン代謝
② 内分泌・代謝病態生理学

田中 俊裕 准教授
① 癌の標的化治療、臨床腫瘍学、抗体療法
② 臨床腫瘍学

戸川 温 准教授
① 感染症学、感染制御学、臨床微生物学
② 感染症病態生理学/病院感染制御科学

西川 宏明 准教授
① 冠動脈形成術、動脈硬化、再狭窄の機序、薬物溶出性ステント
② 臨床研究科学

藤見 幹太 准教授
① 心臓リハビリテーション、心不全治療
② 臨床研究科学

宮坂 義浩 准教授
① 消化器外科、低侵襲手術、膵腫瘍
② 消化器外科病態学

宮田 康平 准教授
① 婦人科腫瘍学、周産期医学、人工知能
② 分子生殖医学

森戸 夏美 准教授
① 臨床循環器内科、超音波医科学・心エコー図
② 臨床検査解析学

八ツ賀 秀一 准教授
① ミトコンドリア病のバイオマーカー、ミトコンドリア病と内分泌疾患、思春期異常症のバイオマーカー
② 発達小児科学

横溝 久 准教授
① 糖尿病、糖尿病合併症、糖尿病性腎症
② 内分泌・代謝病態生理学

吉田 康浩 准教授
① 肺癌、胸部外科、癌遺伝子（肺癌・大腸癌）に関わる研究
② 臓器再建・病態外科学

吉永 康照 准教授
① 乳腺外科、オンコプラスティックサージャリー、予後因子、治療予測因子
② 臓器再建・病態外科学

有村 忠聴 講師
① 心不全、心筋症
② 循環生理化学

出石 礼仁 講師
① 心臓電気生理、カテーテルアブレーション、植込型心臓電気デバイス
② 循環生理化学

漆山 大知 講師
① 産婦人科学、周産期医学、マイクロバイオーム
② 分子生殖医学

大野 芳典 講師
① 造血幹細胞、白血病幹細胞、低線量率放射線影響
② 分子医化学

加藤 悠太 講師
① 心臓弁膜疾患、虚血性心疾患、腫瘍循環学
② 臨床研究科学

桑野 孝志 講師
① 循環器系疾患、虚血性心疾患、脂質代謝
② 臨床研究科学

小島 大望 講師
① 消化器外科、ロボット・腹腔鏡手術、炎症性腸疾患の手術
② 消化器外科病態学

小柳 尚子 講師
① 心エコー、血管エコー
② 臨床検査解析学

佐々木 秀法 講師
① 臨床血液腫瘍学、成人T細胞白血病・リンパ腫
② 臨床腫瘍学

志賀 悠平 講師
① 循環器系疾患、心不全、心臓画像診断
② 循環生理化学

芝口 浩智 講師
① 癌超音波療法、癌免疫療法、アレルギー検査方法
② 分子医化学

柴山 慶継 講師
① 皮膚悪性腫瘍、センチネルリンパ節生検、化学療法
② 皮膚炎症・感染症免疫遺伝学

白須 直人 講師
① 免疫化学、タンパク質医工学
② 分子医化学

末松 保憲 講師
① 運動耐容能、運動生理学、心臓リハビリテーション
② 循環生理化学

高宮 陽介 講師
① 虚血性心疾患、定量的画像解析
② 循環生理化学

武岡 宏明 講師
① 総合診療、感染症、生活習慣病
② 臨床研究科学

則松 賢次 講師
① 虚血性心疾患、動脈硬化
② 臨床研究科学

藤田 貴子 講師
① 小児科学、小児神経科学、てんかん学
② 発達小児科学

森井 誠士 講師
① 心臓電気生理、カテーテルアブレーション、心房細動
② 循環生理化学

山田 哲平 講師
① 腫瘍免疫学、腫瘍微小環境、がん免疫療法
② 消化器外科病態学

横山 圭二 講師
① 門脈圧亢進症、肝硬変、消化管静脈瘤
② 消化器内科病態学

吉兼 由佳子 講師
① 川崎病、バイオマーカー、シアル酸
② 発達小児科学

吉村 文博 講師
① 消化器外科学、腹腔鏡外科手術、上部消化管悪性腫瘍
② 消化器外科病態学

先端医療科学系専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】

○ Stromal CD73 Expression in Breast Cancer: Subtype-specific Expression and its Prognostic Significance
(浸潤性乳管癌の間質におけるCD73発現：サブタイプ別の発現率とその予後因子的役割)

○ Co-culture of vascular endothelial cells enhances corticosterone production in steroid hormone-producing cells generated from adipose-derived mesenchymal stromal cells
(血管内皮細胞との共培養は脂肪組織由来間葉系細胞から作出したステロイド産生細胞のコルチコステロン産生を促進させる)

○ Impact of Controlling of Serum Low-density Lipoprotein Cholesterol and Triglycerides on Long-Term Clinical Outcomes in Diabetic Patients who have Undergone Percutaneous Coronary Intervention
(経皮的冠動脈形成術が施行された糖尿病患者においてLDL-CとTGのコントロールが長期的臨床転帰に与える影響についての検討)

○ Association between Major Adverse Cardiovascular Events and the Liver Fibrosis Score in Patients with and without Coronary Artery Disease: From the FU-CCTA Registry
(冠動脈CT検査を施行した高血圧患者における主要心血管イベントと肝線維化スコアの関連性：FU－CCTAレジストリ)

○ Effect of Left Ventricular Diastolic Dysfunction on the Cardiopulmonary Exercise Test in Patients With Cardiovascular Disease
(心血管疾患患者における心肺運動負荷試験に対する左心室拡張機能障害の影響)

○ Fasting Triglyceride Predicts Coronary Plaque Vulnerability in Patients Achieving below Target Low-density Lipoprotein Cholesterol Levels on Statin
(空腹時トリグリセリドはスタチン治療によりLDL-Cが目標値を達成した患者における冠動脈プラークの脆弱性を予測する)

○ Treatment outcomes and esophageal cancer incidence by disease type in achalasia patients undergoing peroral endoscopic myotomy: A Retrospective study
(POEM後の食道アカラシアにおける病型ごとの治療成績と食道癌の発生に着目した後ろ向き研究)

○ Association between pre-treatment with statin and its inhibitory effect on the onset of coronary artery disease at the time of coronary computed tomography angiography: a new look at an old medication
(冠動脈CT造影検査時における検査前からのスタチン治療と冠動脈疾患の発症抑制効果の関連性：古い薬剤の新たな知見)

【博士（秋季修了）】

○ Complications associated with loop ileostomy: analysis of risk factors
(回腸ストマに関連する合併症の危険因子の解析)

○ Clinical Prediction of Retained Products of Conception: Combining Obstetric History and Ultrasound for Improved Accuracy in Severe Postpartum Hemorrhage
(胎盤遺残および胎盤ポリープにおける臨床的予測：産褥期の異常出血は産科既往症と超音波検査所見の組み合わせにより高精度に予測できる)

看護学専攻【修士課程】　［修士論文コース］　［高度実践看護師コース］

看護学領域における看護実践上の問題に主体的・科学的に取り組み、科学的根拠に基づく専門性の高い実践力を持ち、看護を創造的、開発的に探究し続ける高度な実務家を養成することを理念としています。母子健康支援、地域健康支援、看護教育・管理、成人療養支援、高齢者療養支援、および精神健康支援の6つの領域からなる修士論文コースでは、看護に関わる課題を選び、研究プロセスを学びながら修士論文を作成します。また、養護教諭一種免許状を有する者は、必要な単位を修得後、養護教諭専修免許状を取得することができます。高度実践看護師コースでは、クリティカルケア看護を実践的に学びながら課題を見つけ、課題研究（論文）を作成し、修了すれば日本看護協会の専門看護師資格認定審査を受けることができます。

担当教員

氏名（職位）　① 研究または講義のテーマ　② 担当科目（専門領域）等

榛 直美 教授
① 認知症高齢者と家族介護者支援における多職種協働プログラムの開発
② 高齢者療養支援

江藤 真紀 教授
① 地域における健常高齢者の転倒発生メカニズムの解明
② 地域健康支援

大倉 義文 教授
① 動脈硬化・循環器疾患に関する研究、大脳認知機能局在部位の解析
② 英語文献講読／成人療養支援

緒方 久美子 教授
① 救急・重症患者の看護、クリティカルケア領域の看護継続教育、心臓病患者のセルフケア
② 成人療養支援／クリティカルケア看護

佐久間 良子 教授
① 女性の生涯の健康と栄養、妊娠期からの子育て支援
② 母子健康支援

末次 典恵 教授
① 看護フィジカルアセスメント教育におけるプログラム開発
② 看護教育・管理

中島 充代 教授
① 乳がん患者の治療に係わる意思決定、精神科看護
② 精神健康支援

宮城 由美子 教授
① 食物アレルギー児と家族への除去食解除に関連するプログラム開発
② 母子健康支援

有田 久美 准教授
① 高齢者の服薬管理・セルフケア
② 高齢者療養支援

一期崎 直美 准教授
① 養護教諭におけるケア
② 学校保健／養護教諭専修免許

岩永 和代 准教授
① がん患者のQOL・心理的適応、災害看護
② 成人療養支援

大田 博 准教授
① クリティカルケア看護、看護情報学
② クリティカルケア看護

坂梨 左織 准教授
① 看護教育／家族看護
② 看護倫理、看護理論／クリティカルケア看護

長谷川 珠代 准教授
① 老いと医療的ケア児・障害児者の家族支援に関する研究
② 地域健康支援

松本 祐佳里 准教授
① 小児在宅看護、災害看護、小児がん看護
② 母子健康支援

黒髪 恵 講師
① ストレングスとリカバリー、メンタルヘルス、自殺予防教育
② 人間発達論、精神健康支援論Ⅰ、Ⅱ

神徳 和子 講師
① CKDの運動療法、生命倫理、看護倫理、看護理論、社会的孤立予防、社会福祉
② 看護管理論・看護教育

高木 良重 講師
① スキンケア、排泄ケア、看護師の臨床判断
② コンサルテーション論、看護教育・管理

藤木 久美子 講師
① 妊産婦教育、育児支援
② 母子健康支援

牧 香里 講師
① クリティカルな状況にある患者、がん患者の家族ケアに関する研究、生活習慣病の予防
② クリティカルケア看護

山尾 玲子 講師
① 医療政策、健康経営、行動変容
② 地域健康支援

看護学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 患者から暴力を受けた看護師の心理的ストレス反応と人的サポートと自己効力感の関連について
○ 短時間勤務経験のある看護師のキャリア・アダプタビリティ
○ 特別支援学校の医療的ケアにおける実施体制の現状と養護教諭のコーディネーション行動の関係

薬学研究科

薬学研究科は「薬学に関する学術の理論および応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与する」という理念の下、高度な医療を担う薬剤師、薬学の将来を担う研究者および指導的な人材の育成を目的としています。

研究科長メッセージ

薬学研究科長
本田 伸一郎 教授

薬学研究科は、薬学専攻（博士課程）と健康薬科学専攻（修士課程）から構成されています。

薬学専攻では、国民の健康増進に向けた生物学的基本原理の解明や革新的医薬品の創製・難病克服・医薬品の安全使用など、薬学に関する社会的要請に応えることのできる人材を育成します。この専攻においては、創薬科学を追究する基礎研究者を養成するのはもちろんのこと、薬学の専門家として様々な観点から疾患に取り組むことのできる高度な学術的基盤を有した薬剤師の養成を行います。本専攻は医療系薬学領域での研究を中核としますが、具体的な応用や用途を直接的な目標としない研究や、常識にとらわれない研究が社会への貢献に繋がった事実をふまえ、医療分野にとどまらず画期的なイノベーションを創出する基礎研究にも精力的に取り組みます。基礎薬学を包含する総合的な学術としての薬学を大学院プログラムとして実施していますので、薬剤師免許非取得者も入学可能です。また、従来の博士課程における一人の指導教員あるいは一研究室による専修教育だけでなく、他の分野の教員による広い視野での多面的で幅広い教育を実施しています。6年制学部あるいは、修士課程修了の学生に広く門戸を開いています。修了後は博士（薬学）の学位を授与します。

健康薬科学専攻では、薬学研究科の開設以来、培われてきた創薬科学に基づく教育・研究指導力を活かして、医薬品のみならず、高機能食品、香粧品、環境対策素材や臨床検査製品の開発など、研究科学分野で活躍できる研究者・技術者を養成します。また、旧4年制薬学部を卒業した薬剤師に対して高度化する医療情報・知識を総合的かつ効率的に習得する研究教育環境を提供することで、薬剤師としての資質向上を図っています。薬学部以外の学部卒業生にも広く門戸を開いています。修了後は修士（健康薬科学）の学位を授与します。

健康薬科学専攻【修士課程】

2010年度に新たに独立専攻型大学院として開設されました。本専攻は、健康創薬科学プログラムと総合薬学プログラムの2プログラムで構成されています。健康創薬科学プログラムは、学際的な健康科学領域において活躍できる健康科学関連研究者・技術者、創薬科学関連研究者・技術者、医薬情報担当者、健康食品・香粧品等安全管理者等の人材を輩出することを目標としています。総合薬学プログラムは、現場薬剤師が主たる対象者であり、最先端医・薬学を体系的かつ系統的に講義および演習で修得し、課題研究活動を通じて情報構築・評価能力を培い、先導的薬剤師として地域に密着した医療貢献ができるようになることを目指しています。

健康薬科学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
○ 抗精神病薬ブレクスピプラゾールと緑茶カテキンとの配合変化に関する物理化学的検討

薬学専攻【博士課程】

6年制薬学部を基礎とする4年制大学院として2012年度に開設されました。本専攻は、医療薬剤師プログラムおよび薬学研究者プログラムの2プログラムで構成されています。医療薬剤師プログラムは、個別化医療推進薬剤師、医療系薬学教育者、医療行政推進薬剤師、トランスレーショナルリサーチ推進研究者・技術開発者、レギュラトリーサイエンス研究者等の人材の育成を目標としています。薬学研究者プログラムは、創薬研究、薬物治療の最適化などに従事する医療系薬学研究者、基礎系薬学教育者、健康科学、環境衛生化学等研究者・行政担当者、製薬企業研究開発従事者等の人材育成を目指しています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 専修科目（修士） ③ 専修科目（博士）

池田 浩人 教授
① 分子間相互作用に関する熱力学および計算化学によるアプローチ
② 生体分析学
③ 臨床医薬品解析学

石橋 大輔 教授
① 神経変性疾患、がん疾患、感染症の克服に向けた病態解明
② 分子医学
③ 臨床薬物治療学

今給黎 修 教授
① 医薬品の適正使用に関する研究、薬剤経済学的研究
② 臨床薬学
③ 臨床薬剤学

岩崎 克典 教授
① 認知症の漢方治療に関する薬理学的エビデンスの構築
② 薬理学
③ 臨床疾患薬理学

江川 孝 教授
① 災害時薬事と多職種連携、早期認知機能障害トリアージ
② 臨床薬学
③ 臨床副作用学

大江 賢治 教授
① 様々な疾患における異常スプライシングの病態解明・治療法の開発
② 分子医学
③ 臨床薬物治療学

大川 雅史 教授
① 天然抗酸化物質の探索とその機能性解析
② 医薬品素材学
③ 臨床医薬品化学

緒方 憲太郎 教授
① 抗悪性腫瘍薬の適正使用に関する研究
② 臨床薬学
③ 臨床薬剤学

鹿志毛 信広 教授
① 遺伝子組換え乳酸菌による疾病の予防および治療に関する研究
② 生体分子情報学
③ 臨床生化学

桂林 秀太郎 教授
① アストロサイトの機能制御とシナプス動態との相関解析
② 薬理学
③ 臨床疾患薬理学

神村 英利 教授
① 医薬品（抗悪性腫瘍薬、抗菌薬、向精神薬等）の適正使用に関する研究
② 臨床薬学
③ 臨床薬剤学

佐藤 朝光 教授
① 疾病媒介蚊に関する研究
② 生体分子情報学
③ 臨床生化学

道具 伸也 教授
① 病態下における血液脳関門機能変動
② 薬剤学
③ 薬学疾患管理学

能田 均 教授
① 新規光分析法の開発とその応用研究
② 生体分析学
③ 臨床医薬品解析学

巴山 忠 教授
① 生体関連物質の選択的分析法開発
② 生体分析学
③ 臨床医薬品解析学

本田 伸一郎 教授
① シグナル伝達・転写調節因子による遺伝子発現制御に関する研究
② 生体分子情報学
③ 臨床生化学

松尾 宏一 教授
① 薬剤師による医薬品適正使用におけるエビデンス構築に関する研究
② 臨床薬学
③ 臨床副作用学

松末 公彦 教授
① 生活習慣病病態下における核内受容体の機能解析
② 生体分子情報学
③ 臨床生化学

松永 和久 教授
① 製剤化と薬物送達法に関する研究
② 創剤学
③ 製剤設計学

丸岡 博 教授
① 創薬を指向したリード化合物創製に関する研究
② 医薬品素材学
③ 臨床医薬品化学

右田 啓介 教授
① P2X受容体と神経疾患に関する研究
② 医薬品設計学
③ 医薬品情報学

三島 健一 教授
① 大麻の薬理作用解析、抗癌薬の副作用対策、脳血管障害の病態解析
② 薬理学
③ 病態機能解析学

山内 淳史 教授
① 薬物有害作用に関する研究
② 薬剤学
③ 薬学疾患管理学

吉田 秀幸 教授
① 生体や環境を対象とした超微量計測法の開発と実用に関する研究
② 生体分析学
③ 臨床医薬品解析学

藍原 大甫 准教授
① 食品・環境中の化学物質と疾病に関する研究
② 生体分子情報学

内山 将伸 准教授
① 薬物療法の適正化と安全性向上に関する研究
② 臨床薬学

古賀 允久 准教授
① 新規薬物送達システムと薬物有害作用に関する研究
② 創剤学

小迫 知弘 准教授
① 新規分子標的薬による白血病治療法の開発
② 生体分子情報学

佐野 和憲 准教授
① ミスフォールディング病に関する研究
② 薬理学

髙田 芙友子 准教授
① ペリサイト制御と脳神経血管機構の病態改善、薬物動態の病的変動と副作用
② 薬剤学

高田 誠 准教授
① 生体試料中医薬品の分析法開発と臨床応用に関する研究
② 生体分析学

堤 広之 准教授
① 分子複合体形成に関する研究
② 生体分析学

冨永 宏治 准教授
① 薬物有害作用・適正使用に関する研究
② 臨床薬学

中川 慎介 准教授
① 血液脳関門の機能制御および機能障害に関する研究
② 薬剤学

中野 貴文 准教授
① 集中治療領域における抗菌薬の適正使用に関する研究
② 臨床薬学

櫨川 舞 准教授
① 次世代創薬のための薬物送達システムに関する研究
② 創剤学

林 稔展 准教授
① 抗がん薬による環境曝露、がん領域の医薬品適正使用と副作用対策
② 臨床薬学

古舘 信 准教授
① 有機合成化学による探索研究
② 医薬品素材学

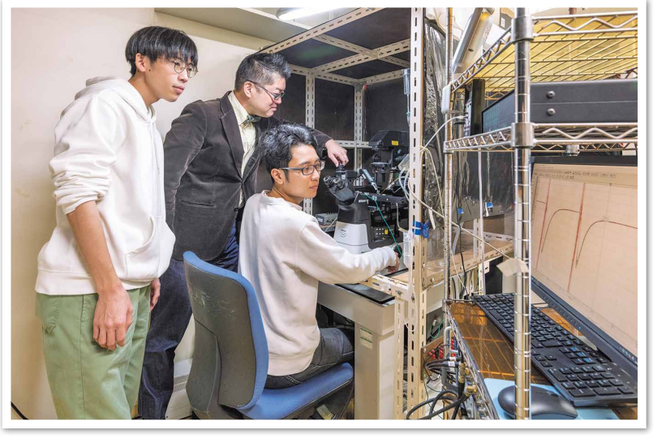
細川 雅人 准教授
① 神経変性疾患の病態機序解明とモデル動物作製
② 分子医学

益本 英一 准教授
① 生物活性を有する新規ヘテロ環化合物の合成研究
② 医薬品素材学

瀬戸口 修一 講師
① 製剤化と薬物送達法に関する研究
② 創剤学

薬学専攻 学位取得者の主な論文題名

【博士】
○ 薬学部学生に対する移植医療教育とがん治療における有害事象に関する研究
○ 脳梗塞モデルマウスを用いた遺伝子発現マイクロアレイ研究：データ解析と応用
○ 幼少期からの社会的孤立による衝動性亢進には内側前頭前野および海馬におけるプロテインキナーゼCアイソフォームの活性変化が関与する
○ 薬学生の能動的な学修意欲を涵養する学修支援方法の開発と実践
○ シスプラチン投与マウスの消化器障害と活動量低下に対する人参養栄湯の効果研究
○ 睡眠不足が疲労関連因子に与える影響の基礎的検証とがん化学療法における疲労の臨床的調査研究
○ 副腎皮質癌におけるNR2F1関連休眠とグルタミン枯渇
○ 頭部外傷後の神経血管ユニット障害に対するnogginの保護作用
○ 脳ペリサイトによるα-Synucleinクリアランスを基盤とした新規パーキンソン病治療法構築に関する研究



スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、前期では高度な知識・技術をもとに科学的指導を実践・応用できる専門家を、後期では専門的な領域で自立して研究活動を行う研究者を養成することを目的としています。

研究科長メッセージ

スポーツ健康科学研究科長
上原 吉就 教授

スポーツ健康科学研究科は、博士課程前期では高度な知識・技術をもとに科学的指導を実践・応用できる専門家を、博士課程後期では専門的な領域で自立して研究活動を行う研究者を養成することを目的としています。特に、体育・スポーツの優秀な研究者や指導者をはじめ、社会が必要とする職能を開発する高度な専門家の養成に力を入れています。

博士課程前期の専門分野には、体育学、体力学、スポーツ医学、コーチ学、体育科教育学、運動健康学の6専修部門が設けられており、15名の教員が専修科目の指導を行います。研究と教育のフィールドは、学校体育領域のほか、医療機関や行政機関、企業、商業スポーツ施設などの現場にも設けられています。

博士課程後期の専門分野には、健康運動科学、スポーツトレーニング科学、スポーツ医科学、スポーツ教育学の4つの専修部門を置き、8名の教員が専修科目の指導を行います。最新の研究装置・設備が整備されており、異なる分野の研究者と協働して研究を展開しています。

スポーツ健康科学専攻【博士課程 前期・後期】

体育・スポーツの優秀な研究者や指導者をはじめ、社会が必要とする職能を開発する高度な専門家の養成を目指し、博士課程前期には体育学、体力学、スポーツ医学、体育科教育学、コーチ学、運動健康学の6専修部門が、博士課程後期には健康運動科学、スポーツトレーニング科学、スポーツ医科学、スポーツ教育学の4専修部門が設けられています。研究と教育のフィールドは学校体育領域のほか、医療機関や行政機関、企業、商業スポーツ施設などの現場に及び、最新の研究装置・設備のもと、異なる分野の研究者と協働した研究も展開しています。

担当教員

氏名（職位） ① 研究または講義のテーマ ② 担当科目等（前期） ③ 担当科目等（後期）

上原 吉就 教授
① 生活習慣病治療と骨格筋・心肺能力向上を目指した新規方策の開発
② スポーツ内科学
③ 健康運動科学特別研究

柿山 哲治 教授
① マリアナ・ヤング女史が明治期に導入したPhysical Cultureの解明
② 体育科教育学
③ スポーツ教育学特別研究

川中 健太郎 教授
① 運動と栄養素が骨格筋のエネルギー代謝に及ぼす影響と機序
② 分子スポーツ栄養学
③ スポーツトレーニング科学特別研究

重森 裕 教授
① スポーツに関する様々な医学的視点からの研究
② スポーツ医学
③ 健康運動科学特別研究、スポーツ医科学特別研究

下園 博信 教授
① 競技場面の状況判断など、認知的課題の研究。ラグビーフットボールの研究
② スポーツ行動科学

田口 晴康 教授
① スポーツ運動指導における形成位相及び運動観察の重要性
② スポーツ運動学

田中 守 教授
① 健康・競技スポーツの体力トレーニング法に関する研究
② トレーニング学
③ スポーツ健康科学研究法

築山 泰典 教授
① 野外教育及びレクリエーションにおける教育効果と指導者養成に関する研究
② 野外教育・レクリエーション特論

布目 寛幸 教授
① スポーツ動作の力学的メカニズムの解明
② スポーツバイオメカニクス学
③ スポーツトレーニング科学特別研究

檜垣 靖樹 教授
① 健康づくりのための身体活動・運動に関する生理・生化学研究と分子疫学研究
② 運動健康学
③ 健康運動科学特別研究

藤井 雅人 教授
① ドイツの地域スポーツクラブおよび学校での青少年スポーツ教育
② スポーツ社会学
③ スポーツ健康科学研究法

道下 竜馬 教授
① 健康づくりや疾病予防のための体力、運動、身体活動に関する生理学的、疫学的研究
② 体力学
③ スポーツトレーニング科学特別研究

森口 哲史 教授
① 物理的刺激が組織循環に与える影響
② 保健安全学

山口 幸生 教授
① 行動科学にもとづく生活習慣改善プログラムの開発と有効性検証
② 運動行動科学
③ スポーツ健康科学研究法

吉村 一朗 教授
① スポーツ傷害の病態に関する研究
② スポーツ整形外科学
③ スポーツ医科学特別研究

今村 律子 准教授
① 体育科教育における発達支援のためのコミュニケーションスキル研究
② 発達支援教育学特論

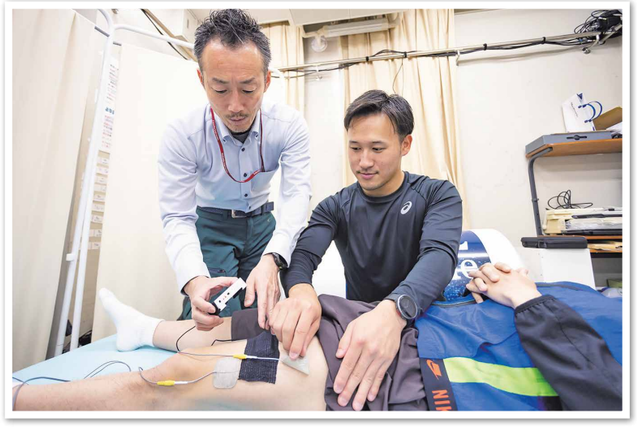
霜島 広樹 講師
① スポーツ消費者における行動メカニズムの解明
② スポーツマネジメント学

飯竹 烈士 助教
① ヒト動作及び運動における生体力学的機序の解明
② スポーツバイオメカニクス特論

冨賀 裕貴 助教
① 生活習慣病予防のための運動による多臓器連関の分子機序解明
② 運動健康学特論

スポーツ健康科学専攻 学位取得者の主な論文題名

【修士】
- ○ 若年低体重ならびに正常体重女性の骨格筋代謝特性の差異
- ○ The effect of increased moment of inertia about the longitudinal axis of tennis rackets on ball impact
- ○ 糖質ならびにエネルギー摂取量の違いがレジスタンス運動による筋タンパク質合成促進効果に及ぼす影響
- ○ 身体活動パターンと認知機能の関連について
- ○ 滑り止めがハンドボール投球動作に与える効果
- ○ 体つくり運動における活動形態の違いが学生の抑うつ気分に及ぼす影響
- ○ 脂肪移植による体脂肪量の増加がマウス骨格筋量に及ぼす影響
- ○ 水中運動と陸上運動における運動実施のタイミングの違いが心血管機能におよぼす効果



法曹実務研究科(法科大学院)

法科大学院(ロースクールともいいます)は、法曹(弁護士、裁判官、検察官)を養成することを目的とする専門職大学院です。法曹になるためには司法試験に合格しなければなりませんが、本法科大学院は、これまでに87人の合格者を輩出しています。

法科大学院長メッセージ

法科大学院長
雨宮 啓 教授

法科大学院は法曹(裁判官・検察官・弁護士)養成の為の専門職大学院。先ず目指すのは直近ハードルたる司法試験合格。よって、法科大学院では、基本的法知識を得た後、事案を的確に分析し法的問題を正確に確定後その問題解決に至る過程をロジカルに記述できる能力を鍛え続けます。方法は各自の個性に応じ異なりますが、基本書、条文及び判例等を読解し知識を得つつ応用課題に積極的に挑み自分の頭で徹底的に考え尽くすのが標準です。これを軸に各自の個性に適した努力を継続します。

合格をより確実にするため、かつ、合格後に法曹職業人として活躍する日々に備えるため、皆さんより一足早く法曹となった本法科大学院出身等弁護士を始めとする経験豊富な弁護士や専門分野に精通した研究者である諸先生方との対話や質疑応答等で法的・人間的なコミュニケーションを図りつつ、事例分析や論証などの効果的方法も学ぶ機会も設け、楽しく努力を積み重ね、各自の法曹となる夢を夢で終わらせないしくみを用意し皆さんの入学を心待ちにしています。

法務専攻【専門職学位課程】

弁護士、裁判官、検察官として活躍するために必要な能力を修得できるよう、基本的な科目から実務的な科目へ、段階的かつ、それらを有機的に結び付けたカリキュラム構成となっています。

1年次では、実務での運用を意識しつつ法学の基本的理論を徹底的に修得するために憲法、民法、刑法などの法学の基本的な科目を重点的に配置しています。

2年次からは、法学未修者と既修者が共に受講します。1年次で修得した基本的知識を応用して具体的事案を解決する能力を育成するために、演習科目を重点的に配置しています。

また、在学生の多くが法学未修者であることから法学未修者教育に重点を置く取組みを実施しています。具体的には、

・入学前導入教育(早期履修指導、在学生や修了生弁護士との交流会、憲法・民法・刑法のプレセミナー)
・未修者向けカリキュラムの充実(少人数ゼミ形式の「判例講読」と「法律基本演習」、「法情報・法文書入門」など)
・学生カード(定期試験や小テストの成績など学生個人に関する情報を集約した学修カルテ)の活用
・アカデミック・アドバイザー及びチューター(学修支援や学修・生活面の相談に応じる若手弁護士)の活用
・司法試験受験対策支援(8月の短答集中ゼミ、司法試験前の「もう一押しゼミ(論文対策)」)

などの取組みを実施するとともに、教員と学生の距離をできるだけ縮めて、一人ひとりに寄り添うきめ細やかな学修指導体制をとっています。

なお、在学中に司法試験受験を目指す学生には、受験資格を得るための「司法試験在学中受験プログラム」を設置しています。

法科大学院への進学を考えている方には「授業体験」や「科目等履修制度」などの法科大学院の学びを知ることができる機会を設けています。

模擬法廷教室で模擬裁判をしている様子

担当教員　氏名(職位)　① 資格等　② 専門分野

青木 亮 教授
① 弁護士・元判事
② 民事訴訟実務

雨宮 啓 教授
① 弁護士・元(株)東京三菱銀行法務部調査役
② 民事法、銀行法務

石松 勉 教授
① 法学修士
② 民法

井上 亜紀 教授
① 法学修士
② 憲法

木村 道也 教授
① 弁護士
② 刑事法実務、民事訴訟実務

中園 江里人 教授
① 弁護士
② 刑事手続法

平江 徳子 教授
① 弁護士・元検事
② 刑事法実務

藤村 賢訓 教授
① 修士(法学)
② 民法

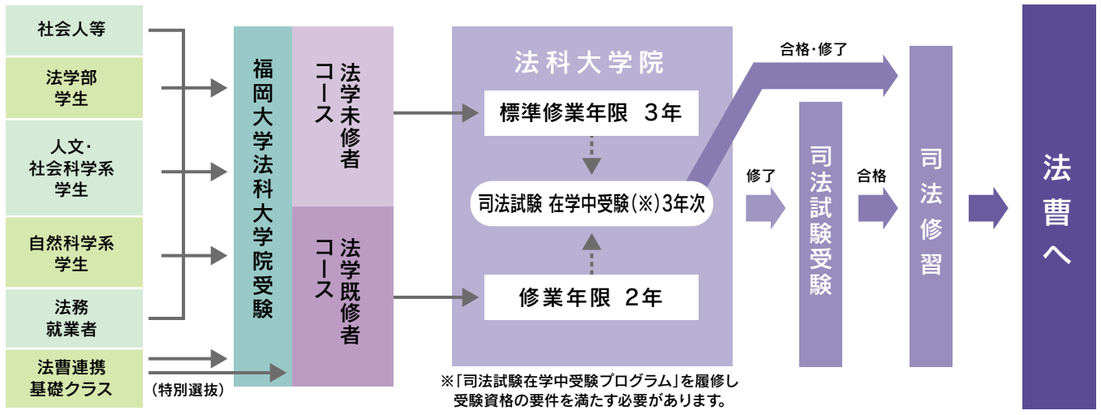
三隅 珠代 教授
① 弁護士
② 刑事法実務、民事法実務

大庭 沙織 准教授
① 修士(法学)
② 刑法

児玉 弘 准教授
① 修士(法学)
② 行政法

畠田 公明 特任教育職員
① 博士(法学)
② 商法

福岡大学法科大学院から法曹への道



法科大学院 学費等納入金

令和 7 年度入学生の納入金：法学未修者（3 年間）および法学既修者（2 年間）
※法学既修者については令和7年度・令和8年度を参照してください。

項目		令和7年度	令和8年度	令和9年度
入学金	本学学部卒業・本学大学院修了	55,000円		
	他大学卒業・他大学院修了	110,000円		
授業料		600,000円	600,000円	600,000円
教育充実費		120,000円	120,000円	120,000円
委託徴収金	本学学部卒業・本学大学院修了	3,000円	3,000円	3,000円
	他大学卒業・他大学院修了	18,100円	18,000円	3,000円
合計	本学学部卒業・本学大学院修了	778,000円	723,000円	723,000円
	他大学卒業・他大学院修了	848,100円	738,000円	723,000円

※詳しくは、法科大学院個別サイトをご参照ください。
https://www.ilp.fukuoka-u.ac.jp/

法科大学院棟

自習室

在学生の声　STUDENT's voice

VOICE.01

人文科学研究科　史学専攻
博士課程後期　2年

中村 昂希 さん

Q. 福岡大学大学院に進学しようと思った理由は何ですか?

私は、歴史が好きで福岡大学人文学部歴史学科に入学しました。しかし正直なところ、研究に興味・関心が湧かないまま、勉強もおろそかになっていました。そして3年生のとき、現在の大学院の指導教員のひとりが歴史学科に着任され、その最初のゼミで、以前博物館学芸員として仕事をされていたときのことをとても興味深く拝聴しました。先生の話を伺った後、古文書を読むと、これまでとは少し違う感覚や視点で歴史がみえるような気がして、そのとき卒業論文に向けて研究を頑張ってみようという前向きな気持ちが出てきました。

そして、先生は同じ福岡大学大学院の出身であり、私が進学するなら一緒に勉強しようと背中を押してくださったことも、大学院進学の大きなきっかけとなりました。

Q. 授業、活動において研究科らしさを感じるところはどこですか?

例えば、歴史学科を母体とする学術学会「七隈史学会」では、編集・会計・庶務などを大学院生が担当し、主体となって学会運営を行っています。私は今、院生委員長として全体の統括を担当し、先生方、院生、その他各方面との交渉・手配を試行錯誤しながら行っています。大学院ではそういった社会性を鍛えられる環境に恵まれており、このような経験や環境が自分の成長の糧になっていると感じています。

また、史学専攻では学部生・大学院生合同の勉強会を開催しています。こうした学部・大学院の枠を超えたネットワークが代々受け継がれていることも史学専攻の大きな特徴だと思います。

Q. 進学を考えている人に伝えたい福岡大学大学院の魅力は何だと思いますか?

史学専攻では日本史・東洋史・西洋史・考古学の4つの専修に分かれ、多角的な視角からそれぞれ研究に励んでいます。福岡大学大学院の魅力は、専修は違っていてもどの専修の講義でも履修し受講することができる点だと思います。私は日本史、そのなかでも日本中世史専修ですが、学部時代より日本史の講義だけでなく東洋史や考古学など様々な講義を受講してきました。専修以外の時代や分野に目を向けることは、自分の研究をより豊かにしてくれると考えています。こうした点や、先述した七隈史学会の活動を通して、専修を超えた院生・先生との密な交流、また多大なサポートがあるのも、福岡大学大学院ならではだと思います。

また、図書館には、故・川添昭二氏(本学元人文学部教授)の寄贈による蔵書が「川添昭二文庫」として設けられています。九州中世史を中心とした日本史全般にわたる資料が身近にあることは、歴史学研究を志す大学院生にとってはとても恵まれていると感じます。

Q. 博士課程後期修了後にめざす職業、その理由は?

私は将来、博物館学芸員として地域における社会教育を担うことを目標としています。具体的には、展覧会を企画し、各所から資料を借り受け、展示から図録の編集まで手掛けてみたいと思っています。網羅的に資料を収集し、自ら歴史的事実を復元すること、そして地域に還元することはとてもやりがいのある仕事だと思います。このような一連の作業は、現在大学院で学んでいる研究手法と通ずるものがあるのではないかと考えているため、現在は博士論文の執筆に向けて、少しずつですが毎日の研究活動に取り組んでいます。

ある1日のスケジュール

08:00〜09:00	起床、朝食、登校
09:00〜12:00	研究
12:00〜13:00	昼食
13:00〜17:00	大学院ゼミ(日本史演習・特別研究)
17:00〜19:00	研究
19:00〜20:00	夕食
20:00〜00:00	研究
00:00〜01:00	帰宅、入浴、就寝

修了生の声　OB's voice

VOICE.02

薬学研究科　薬学専攻
博士課程　2024年度　修了

谷口 知世 さん

Q. 福岡大学大学院に進学しようと思った理由は何ですか?

私は、大学時代を薬学部で過ごし、大学3年生後期から開始した研究活動では、仮説を立て検証する過程と自らの手で新たな知見を生み出すことにやりがいを感じていました。実験内容によっては研究資材を育てる期間が必要となりますが、6年制の薬学部では講義・定期試験に加えて薬学共用試験、長期実務実習が存在するため、短期間で研究成果を得ることは容易ではありませんでした。そこから、もっと研究に取り組みたいという思いが強くなり、大学院進学を考え始めました。学部時代の研究を継続できる環境があり、使い慣れた設備を利用できること、何より進学先の教員、先輩に相談しやすい研究室だったことから、大学院への進学と、専攻を決定しました。

Q. 大学院時代にはどのような研究に取り組みましたか?

博士課程在籍中には、薬剤師として働きながら、加齢に伴う諸疾患のなかでも特に高齢者に多く見られる虚弱病態である『フレイル』に焦点を当てた研究に取り組みました。フレイルは、要介護状態への移行の一因となる重要な課題とされ、私は日々の業務を通して、治療に加えて健康の維持・増進という観点から高齢者支援の必要性を強く感じていました。このような背景から、私の研究においては、フレイルの病態理解を深めるとともに、運動や薬物療法が疾患の予後にどのような影響を与えるかについて検討を行いました。さらに、これらの研究成果を学会で発表し、論文としてまとめるという経験を通じて、医療現場で働く多くの薬剤師・医師にとって、基礎研究が患者支援の手段となりうることを実感しました。研究と臨床の両面からのアプローチにより、患者と医療の橋渡しとしての薬剤師の可能性を確認した大学院時代でした。

Q. 大学院での研究と現在の仕事の関わりは、どのような点ですか?

現在、私は大学の教員として、学生への講義や、実習・卒業研究の指導に携わっています。あわせて、特定の遺伝子の発現が中枢神経系の発達にどのように関与しているかを明らかにすることを目的とした研究にも取り組んでいます。こうした分子レベルの機構を解明することで、将来的には早期からの患者の生活支援、社会的サポートへとつながる知見を得ることを目指しています。大学院での経験を踏まえ、学生が自発的に考え、学びを深めることができるような支援を心がけており、これまでの実践的な研究活動は、教育と研究の両立を目指す業務において確かな基盤となっています。

Q. 大学院への進学を考えている人に伝えたいことは?

大学院進学後は、自分の興味を追求するだけではなく、課題を設定し、その解決策を模索しながら、成果を社会にどう還元できるかを考える、主体的な学びの時間が増えます。私自身、大学院への進学は特別なことではなく、自分の関心や問いを深めるための自然な一歩だと考えています。

本学には薬学のみならず、医学・理学・農学など、多様な分野で学位を取得した教員が在籍しており、多角的な視点で学びを深めることができる環境が整っています。また、研究交流会も開催されており、文系・理系を問わず他分野との交流が活発に行われていることも総合大学ならではの強みです。こうした大学院での経験は、自分の視野や可能性を大きく広げてくれるはずです。

ある1日のスケジュール(在学時)

06:00	起床
07:00	登校・実験開始
11:00	学生実習対応
12:10	昼休み
13:00	学生実習対応
14:30	実験
20:00	データ整理
22:00	帰宅
01:00	就寝

外国人留学生

❶ 外国人留学生入学試験

■ 出願対象者

外国籍を有する方（定住者・永住者・特別永住者を除く）は外国人留学生入学試験を受験してください。
A：既に日本に在留している志願者は、**「国内志願者」**になります。
B：受験のために外国から日本に来る志願者は、**「国外志願者」**になります。
それぞれ出願時期や出願書類が異なりますので、各研究科の『入学試験要項』で詳細を確認してください。
なお、一般入学試験、社会人入学試験に、出願することはできません。

■ 出願可能な研究科・専攻

下記以外の研究科・専攻に出願することができます。
（出願できない研究科・専攻）
・人文科学研究科　教育・臨床心理専攻 博士課程前期／博士課程後期
・医 学 研 究 科　看護学専攻 修士課程

■ 日本語能力

原則として、（財）日本国際教育支援協会又は国際交流基金が実施する「日本語能力試験」N1又はN2の合格認定書などの証明書が必要です。詳しくは、各研究科の『入学試験要項』にて確認してください。

■ 授業言語

日本語で授業が行われます。ただし、下記の研究科・専攻では英語での授業も可能です。
・経 済 学 研 究 科　経済学専攻 博士課程前期／博士課程後期
・工 学 研 究 科　化学システム工学専攻 博士課程前期
・工 学 研 究 科　エネルギー・環境システム工学専攻 博士課程後期
・工 学 研 究 科　情報・制御システム工学専攻 博士課程後期
・薬 学 研 究 科　薬学専攻 博士課程

❷ 授業料減免制度

学業を継続する意思及び能力を有しながら経済的負担力に乏しい者に対し、授業料を減免し、その負担を軽減することを目的とした制度です。

対 象 者	減 免 率	申 請 時 期
正規課程に在籍し、かつ5月1日現在で在留資格「留学」を有する者 ※ただし、下記の者は対象になりません。 ・学業成績、出席状況が好ましくない者 ・経済的に困難な状況と認められない者	**年間の授業料の30%** ※減免が認められたら、第2期分納入時に実施されます。	**5月**

留学生からのメッセージ

ライハン サルサビッラ ダルウィシさん（インドネシア出身）　商学研究科 商学専攻　博士課程前期2年次生

私はインドネシア出身の留学生です。2024年に福岡大学商学部経営学科を卒業し、福岡大学商学研究科商学専攻の博士課程前期に入学しました。学部4年生の時に、ブランド戦略をテーマに卒業論文を書きました。その過程で、企業がどのようにブランドを構築し、消費者と関係を築いていくかという戦略的な取り組みに強く興味を持つようになりました。特に、ブランドの持つ社会的意義や、デジタル時代における消費者との新たな関係性の在り方に関心を抱き、より専門的に学びたいと思い、大学院に進学しました。福岡大学大学院は、学習環境が整っており、学部と大学院が一つのキャンパスに集まっている「ワンキャンパス体制」で学びや研究、学内外の人との交流がしやすく、充実した学生生活を送ることができます。留学生に対する支援制度も充実しており、授業料減免制度や奨学金制度など、安心して学業に集中できる環境が整っています。ぜひ福岡大学での学びを通して、新たな可能性を広げてほしいと思います。

❸ 奨学金制度

本学独自の奨学金やその他地方公共団体や民間団体からの奨学金があります。応募者の中から、各奨学金の選考基準に基づき、学業成績、経済状況、出席状況など総合的に、公平かつ慎重に審査を行います。

（令和6年度 応募実績）

名　称	支 給 金 額	支 給 期 間
福岡大学私費外国人留学生奨学金	【修士課程・博士課程前期】 月額　40,000円 【博士課程・博士課程後期】 月額　65,000円	1年
文部科学省外国人留学生学習奨励費 （就職支援特別枠：12か月採用）	月額　48,000円	1年
文部科学省外国人留学生学習奨励費 （就職支援特別枠：6か月採用）	月額　48,000円	半年
（公財）日本国際教育支援協会 JEES留学生奨学金（修学）	月額　40,000円	最長 2年
（公財）渕上育英会奨学金	月額　50,000円	1年
（公財）吉川育英会奨学金	月額　50,000円	最長 2年

❹ 就職支援

キャリアセンターでは、留学生を対象に窓口での個別相談や就職セミナーの開催、求人情報の提供等を行っていますので、積極的に利用してください。

❺ 住　居

アパート・マンション等をご希望の方向けに大学周辺の不動産業者の一覧を掲載していますのでご参考ください。

❻ 研究生

出願資格によって、窓口が異なります。詳細は、福岡大学公式ホームページでご確認ください。

種　類	出 願 資 格	窓　口
学部の研究生	国籍を問わず、日本において大学を卒業した者または卒業見込みの者	教務課一課
外国人研究生	外国籍を有し、外国において4年制大学を卒業した者	国際センター事務室
大学院の研究生	国籍を問わず、大学院を修了または満期退学した者	大学院事務課

留学生からのメッセージ

シュウ トウチクさん（中国出身）　スポーツ健康科学研究科 スポーツ健康科学専攻　博士課程後期2年次生

私は中国の東北出身です。栄養素と糖尿病の予防・治療について研究したいと考えるようになり、博士課程前期の福岡大学スポーツ健康科学研究科分子スポーツ栄養学研究室に入室し、現在は同研究室の博士課程後期に在籍しています。周りの研究室に留学生がいなかったため、入学前は不安でしたが、先生や研究室の学生たちが丁寧に話しかけてくれて、生活中にも色々助けてもらいました。研究的な面では、先生達から専門知識や実験理論などの指導を受けるだけでなく、定期的に学術セミナーを開催し、国内外から研究者を招いて発表も行っています。経済的な面では、福岡大学は奨学金制度のほか、授業料減免制度や国際学会研究発表支援制度など留学生活への補助支援が実施されており、学業に専念することができます。このような学習・生活両方の支援制度が備わっている福岡大学に進学し、私と一緒に将来のため頑張りましょう。

進路状況 令和7年度

■ 就職先

人文科学研究科

株式会社オンデーズ
三浦工業株式会社
株式会社ワールドインテック
有限会社ビジュアルオフィス・善
株式会社ニトリ
株式会社島津理化
株式会社福岡銀行
福岡市社会福祉事業団心身障がい福祉センター
福岡市役所
粕屋町役場
国立大学法人九州大学　九州大学病院
学校法人福岡医療学院
学校法人福岡大学　福岡大学附属大濠中学校・高等学校
千葉県教員（高校）

法学研究科

杉野泰雄公認会計士事務所
EY税理士法人
株式会社共立メンテナンス
公益財団法人ふくおか公衆衛生推進機構

商学研究科

笹田税理士事務所

理学研究科

公益財団法人北九州生活科学センター
株式会社福岡銀行
日産自動車株式会社
株式会社マイナビ
九州電力株式会社
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
トヨタ自動車九州株式会社
パーソルクロステクノロジー株式会社
日星電気株式会社
株式会社アルプス技研
株式会社インフォセンス
ニチコン株式会社
株式会社桃谷順天館
株式会社トクヤマ
株式会社大塚製薬工場
アドバンテック株式会社
日本発条株式会社
朝日インテック株式会社
品川リフラクトリーズ株式会社
メディフォード株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
興国インテック株式会社
学校法人福岡大学
学校法人福岡大学　福岡大学附属大濠高等学校
学校法人中村学園　中村学園女子中学校・高等学校
麹町学園女子中学校高等学校
福岡県教員（高校）

工学研究科

YKK　AP株式会社
協立エアテック株式会社
マツダ株式会社
MHIパワーエンジニアリング株式会社
トヨタ自動車株式会社
西部電機株式会社
パナソニックホールディングス株式会社
株式会社名村造船所
Japan Advanced Semiconductor Manufacturing株式会社
京セラ株式会社
SMC株式会社
大同特殊鋼株式会社
ローム株式会社
九州電力株式会社
株式会社日立製作所
西日本電信電話株式会社（NTT西日本）
TOPPANホールディングス株式会社
日産自動車株式会社
株式会社DNPデジタルソリューションズ
シャープセミコンダクターイノベーション株式会社
キオクシアシステムズ株式会社
マイクロンメモリジャパン株式会社
シャープ株式会社
株式会社アイシン
サイオステクノロジー株式会社
ローム・アポロ株式会社
東洋紡株式会社
東洋製罐グループホールディングス株式会社
デンカ株式会社
三菱ケミカルエンジニアリング株式会社
相互薬工株式会社
日鉄ケミカル＆マテリアル株式会社
カゴメ株式会社
西部ガス株式会社
株式会社リボルブ・シス
株式会社IHIプラント
株式会社クリタス
三井化学株式会社
ダイキョーニシカワ株式会社
日油株式会社
株式会社堀場エステック
日揮グローバル株式会社
東芝プラントシステム株式会社
三建設備工業株式会社
九州電力株式会社
株式会社ツムラ
東ソー株式会社
株式会社エリア
戸田工業株式会社
横河ソリューションサービス株式会社
京セラ株式会社
株式会社ダイセル
黒崎播磨株式会社
鹿島建設株式会社
清水建設株式会社
日本工営株式会社
株式会社ガイアート
戸田建設株式会社
有限会社スキーマ建築計画
株式会社日建設計
株式会社横河ブリッジ
株式会社盛本構造設計事務所
株式会社ブレック研究所
中央コンサルタンツ株式会社
株式会社織本構造設計
太平洋セメント株式会社
株式会社メイ建築研究所
株式会社エスパス建築事務所
株式会社アビリカ
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構
株式会社谷田建設
福岡県庁
北九州市役所
北九州市教員（中学校）

医学研究科

学校法人福岡大学
学校法人福岡大学　福岡大学病院
学校法人福岡大学　福岡大学筑紫病院
医療法人社団高邦会　福岡山王病院
医療法人徳洲会　福岡徳洲会病院
学校法人日本赤十字学園　日本赤十字九州国際看護大学
医療法人社団我汝会　えにわ病院
医療法人社団聖櫻会　津田整形外科
福岡市立若久特別支援学校

薬学研究科

学校法人福岡大学
学校法人福岡大学　福岡大学病院
学校法人福岡学園　福岡歯科大学医科歯科総合病院

スポーツ健康科学研究科

SocioFuture株式会社
株式会社ライフネス
富士通Japanソリューションズ九州株式会社
有限会社サワラスイミングスクール

■ 進学先

人文科学研究科

福岡大学大学院 人文科学研究科英語学英米文学専攻
　博士課程後期
福岡大学大学院 人文科学研究科史学専攻
　博士課程後期
九州大学大学院 地球社会統合科学府
　博士後期課程

商学研究科

福岡大学大学院 商学研究科商学専攻
　博士課程後期
TAC（予備校）

理学研究科

一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科
　博士後期課程
福岡大学大学院 理学研究科地球圏科学専攻
　博士課程後期

薬学研究科

岐阜女子大学大学院 文化創造学研究科
　デジタルアーカイブ専攻

スポーツ健康科学研究科

福岡大学大学院 スポーツ健康科学研究科
　スポーツ健康科学専攻 博士課程後期

Q & A

Q 過去の入試問題集はどのようにして入手できますか？

A 下記事務課（室）内の窓口で閲覧可能です。窓口での閲覧のみとなっており、郵送はいたしません。前年度実施分から過去3か年分の入試問題を公開しています（※一部研究科除く）。ただし、「受験生がいなかった場合」「面接（口頭試問）のみで筆記試験が実施されなかった場合」にはその問題は掲載されておりません。なお、秋季・春季入学試験実施前後には、一時公開を停止しますのでご注意ください。

研究科	公開窓口
医学研究科	医学部事務課
上記以外の研究科	大学院事務課

●公開期間	令和7年4月11日（金）～令和7年8月28日（木）
	令和7年9月15日（月）～令和8年2月5日（木）

※飛び級受験者は令和8年2月10日（火）まで

Q 窓口は何時から何時まで開いていますか？

A ●窓口事務時間

平日：午前8時50分～午後5時50分 ※医学部事務課は午後4時50分まで

※大学院事務課では、授業期間中に限り、平日午後8時まで窓口対応しています。 授業期間：4月11日（金）～7月29日（火）、9月15日（月）～12月26日（金）、1月5日（月）～1月19日（月）

●事務休業日

・土曜日、日曜日
・国民の祝日に関する法律に規定する日
・盆 休 期 間　令和7年8月11日（月）～8月20日（水）
・年末年始休業　令和7年12月27日（土）～令和8年1月4日（日）

Q 志望する指導教員のプロフィールや専門分野、研究活動等はどこに公開されていますか？

A 『福岡大学研究者情報』サイトをご覧ください。
https://kenkyusha-db.fukuoka-u.ac.jp/search/

Q 出願にあたり、志望する指導教員に連絡をする必要がありますか？

A 研究科・専修によって異なりますので、入学試験要項をご確認ください。研究科・専攻によっては、連絡不要という場合もあります。また、『福岡大学研究者情報サイト』でメールアドレスが公開されている場合がございます。公開されていない場合は、各研究科担当窓口までお問い合わせください。

Q 秋入学はできますか？

A 工学研究科博士課程後期のみ9月入学ができます。博士課程前期、修士課程は秋からの入学はできません。秋季入試合格者も翌年4月入学になります。

Q 秋季（9月）と春季（2月）に入学試験がありますが、受験チャンスが2回あるということですか？

A 修士課程・博士課程前期は2回受験可能です。博士課程・博士課程後期は、工学研究科・薬学研究科・スポーツ健康科学研究科のみ2回受験可能で、それ以外の研究科は春季のみとなります。ただし工学研究科9月入学試験は1回のみです。2回受験が可能な場合で、秋季入試で不合格の方は、春季入試にも出願できます。ただし、出願書類は転用できませんので、証明書等の原本も含めた全ての書類を再度提出してください。なお、2回受験が可能な場合でも、外国人で国外からの志願者は、春季のみの受験となります。

Q 大学院に入学する前に他の大学院において履修した授業科目の単位を認定してもらうことはできますか？

A 本学大学院入学する前に本学大学院及び他の大学院（外国を含む。）において履修した授業科目について修得した単位は、当該研究科通常委員会の議を経て、15単位を限度として課程修了の要件となる単位として認めることがあります。希望者は、申請条件や申請時期等について、出願前に各研究科担当窓口へご確認ください。

Q 授業は何時から行われますか？

A 授業時間割は下記のとおりです。

	昼間	夜間大学院
1時限	9:00～10:30	
2時限	10:40～12:10	
3時限	13:00～14:30	
4時限	14:40～16:10	
5時限	16:20～17:50	
6時限	18:00～19:30	6時限　18:00～19:30
7時限	19:40～21:10	7時限　19:40～21:10

Q 昼夜開講の教育研究体制を採っている研究科・専攻はありますか？

A 昼夜開講制度を採っている研究科・専攻はありません。10研究科32専攻は、昼間の体制を採っています。2専攻（人文科学研究科教育・臨床心理専攻博士課程前期・後期、薬学研究科健康薬科学専攻修士課程）は、専ら夜間のみの開講体制を採っています。
法学研究科と商学研究科、医学研究科看護学専攻（修士課程）では、社会人学生の受け入れを計るため夜間対応の授業を実施しています。

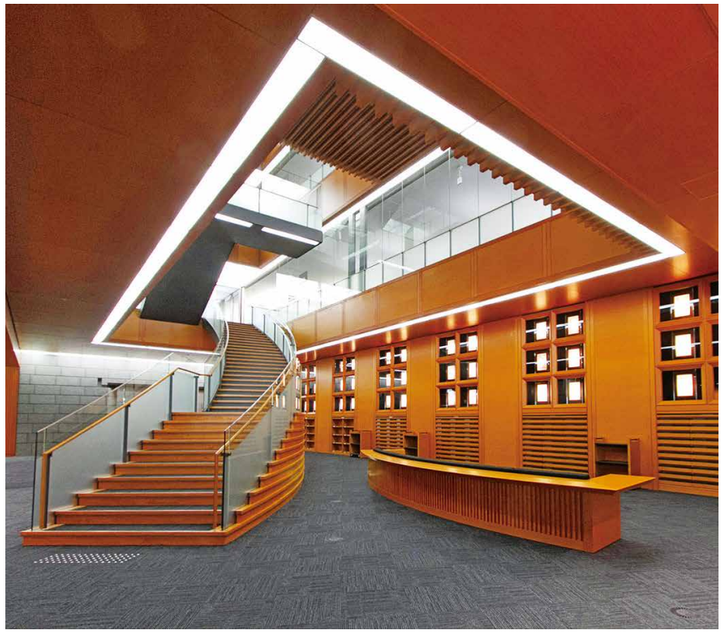
Q 大学院学生に対する就職支援体制はありますか？

A キャリアセンターにて、大学院生を対象に入学時の就職ガイダンスを始め、さまざまな疑問や悩みに対応した就職支援行事の開催や個別相談を実施していますので、ぜひ活用してください。課程に関わらず民間企業への就職に加え、大学の教育職、付属研究機関の研究職、企業や官公庁の研究職・専門技術職、国家公務員、地方公務員、高校・中学校の教員、団体職員など、進路の幅は広がっています。

Q 社会人ですが、仕事の兼ね合いにより2年間で修了できない可能性があります。そうした場合、期間を延長することができますか？

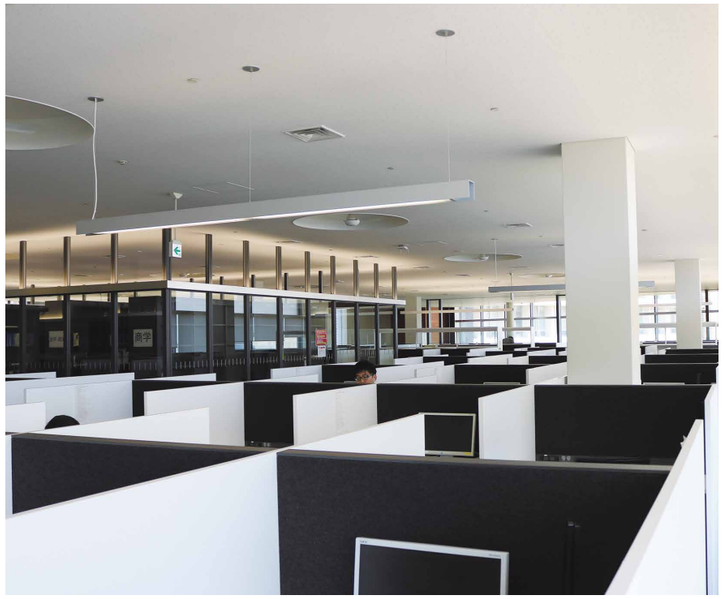
A 「職業等の兼ね合いにより時間的に履修に制限がある」などの理由から、大学院進学を断念してしまう方がおられます。そういった方に門戸を開くことを目的とした制度があります。この制度を「長期履修制度」といいます。
長期履修制度とは、仕事をしていたり、育児・出産等の事情により、本来の標準修業年限（修士課程・博士課程前期＝2年、博士課程後期＝3年、博士課程＝4年）では履修が困難と認められる者について、長期履修学生として標準修業年限を超えて履修を可能とする制度のことです。

施　設



図書館
中央図書館

「知」の拠点として多様な学習スタイルに応える中央図書館。加えて、医学部分館や理学部・工学部・薬学部・スポーツ科学部の各分室では、それぞれの分野に特化した資料を所蔵しています。教職員、学生は所属に関係なく、どの図書館も利用することができます。現在の蔵書数は約209万冊・雑誌約2万2,000タイトル。これらの検索はもちろん、国内外の主要な電子ジャーナルや各種データベース・電子ブックに、学内のパソコンからいつでも気軽にアクセスできます。また、学外からアクセスできる電子資料もあります。



院生室

中央図書館7階に大学院生専用フロアがあります。院生室内には、自習スペースにPCやプリンタが設置されているほか、ディスカッションルームやライブラリースペースがあります。また、専用フロアには、コモンスペースや貸与の個人ロッカーも整備されています。

組織・入学定員

※入学定員は令和7年度

研究科	専攻	課程	入学定員 前期・修士	入学定員 後期・博士
人文科学研究科 LD	史学専攻	博士課程前期・後期	8	4
	日本語日本文学専攻	博士課程前期・後期	6	4
	英語学英米文学専攻	博士課程前期・後期	6	3
	独語学独文学専攻	博士課程前期・後期	6	2
	仏語学仏文学専攻	博士課程前期・後期	6	2
	社会・文化論専攻	修士課程	4	
	教育・臨床心理専攻	博士課程前期・後期	15	6
法学研究科 JD	公法専攻	博士課程前期・後期	6	2
	民刑事法専攻	博士課程前期・後期	6	1
経済学研究科 ED	経済学専攻	博士課程前期・後期	10	3
商学研究科 CD	商学専攻	博士課程前期・後期	15	5
理学研究科 SD	応用数学専攻	博士課程前期・後期	8	2
	応用物理学専攻	博士課程前期・後期	15	2
	化学専攻	博士課程前期・後期	20	2
	地球圏科学専攻	博士課程前期・後期	10	2
工学研究科 TD	機械工学専攻	博士課程前期	10	
	電気工学専攻	博士課程前期	10	
	電子情報工学専攻	博士課程前期	10	
	化学システム工学専攻	博士課程前期	10	
	建設工学専攻	博士課程前期	10	
	エネルギー・環境システム工学専攻	博士課程後期		4
	情報・制御システム工学専攻	博士課程後期		4
	資源循環・環境工学専攻	修士課程	10	
医学研究科 MD	人体生物系専攻	博士課程（4年制）		3
	生体制御系専攻	博士課程（4年制）		2
	病態構造系専攻	博士課程（4年制）		8
	病態機能系専攻	博士課程（4年制）		8
	社会医学系専攻	博士課程（4年制）		3
	先端医療科学系専攻	博士課程（4年制）		6
	看護学専攻	修士課程	6	
薬学研究科 PD	健康薬科学専攻	修士課程	2	
	薬学専攻	博士課程（4年制）		6
スポーツ健康科学研究科 GD	スポーツ健康科学専攻	博士課程前期・後期	12	4
法曹実務研究科（法科大学院） XL	法務専攻	専門職学位課程	20	

注：人文科学研究科 教育・臨床心理専攻（博士課程前期・後期）は、専ら夜間において教育が行われます。
　　薬学研究科 健康薬科学専攻（修士課程）は、専ら夜間において教育が行われます。
　　法学研究科、商学研究科、医学研究科 看護学専攻（修士課程）は社会人に対する夜間対応の授業が行われます。

在籍者数　令和7年5月1日現在

研究科	専攻	博士課程前期・修士課程	博士課程後期・博士課程	合計
人文科学	史学	13	6	19
	日本語日本文学	4	0	4
	英語学英米文学	10	4	14
	独語学独文学	3	1	4
	仏語学仏文学	3	0	3
	社会・文化論	1	0	1
	教育・臨床心理	16	2	18
法学	公法	4	1	5
	民刑事法	3	3	6
経済学	経済学	4	3	7
商学	商学	25	6	31
理学	応用数学	9	2	11
	応用物理学	19	1	20
	化学	46	3	49
	地球圏科学	14	1	15
工学	機械工学	35	—	35
	電気工学	7	—	7
	電子情報工学	32	—	32
	化学システム工学	55	—	55
	建設工学	47	—	47
	資源循環・環境工学	6	—	6
	エネルギー・環境システム工学	—	10	10
	情報・制御システム工学	—	0	0
医学	人体生物系	—	5	5
	生体制御系	—	6	6
	病態構造系	—	11	11
	病態機能系	—	31	31
	社会医学系	—	18	18
	先端医療科学系	—	40	40
	看護学	7	—	7
薬学	健康薬科学	1	—	1
	薬学	—	24	24
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	27	16	43
合計		391	194	585

社会人・留学生の在籍者数　上記の合計数に含む。

全研究科	博士課程前期・修士課程	博士課程後期・博士課程	合計
社会人	23	27	50
留学生	32	11	43

注：留学生（非正規生を除く）
　　社会人（社会人入試による受入数）

取得できる学位

研究科名	修士の学位 修士課程または博士課程前期2年の課程	博士の学位 博士課程後期3年の課程または医学研究科及び薬学研究科の博士課程
人文科学	修士（文学）	博士（文学）
法学	修士（法学）	博士（法学）
経済学	修士（経済学）	博士（経済学）
商学	修士(商学)・修士(経営学)	博士（商学）
理学	修士（理学）	博士（理学）
工学	修士(工学)・修士(学術)	博士(工学)・博士(学術)
医学	修士（看護学）	博士（医学）
薬学	修士（健康薬科学）	博士（薬学）
スポーツ健康科学	修士(スポーツ健康科学)	博士(スポーツ健康科学)

注：人文科学研究科教育・臨床心理専攻は、次の学位が取得できます。
　　・博士課程前期は、教育分野は修士(教育学)、臨床心理分野は修士(臨床心理学)の学位
　　・博士課程後期は、教育分野は博士(教育学)、臨床心理分野は博士(臨床心理学)の学位
注：工学研究科電子情報工学専攻で取得できる学位は、修士(工学)に限ります。
注：工学研究科情報・制御システム工学専攻で取得できる学位は、博士(工学)に限ります。

修了者数

人文科学	1,248	工学	2,345
法学	523	医学	1,011
経済学	824	薬学	1,084
商学	822	スポーツ健康科学	507
理学	1,560	〈合計〉	9,924

注：令和7年3月31日現在（満期退学者を含む）

博士の学位授与数

課程博士	1,331人
論文博士	773人
合計	2,104人

注：令和7年3月31日現在

令和7（2025）年度　キャンパスカレンダー

令和7年		
4月 1日	火	学年開始・前期開始
		入学式・新入生ガイダンス
11日	金	前期授業（開始）
29日	火	「昭和の日」【授業日】
5月 21日	水	「創立記念日」
7月 4日	金	火曜日の振替授業日
5日	土	大学院推薦入学試験（該当研究科のみ）
21日	月	「海の日」【授業日】
22日	火	全体補講日（学部・大学院）
29日	火	前期授業（終了）
30日	水	前期補講日（開始）
8月 2日	土	オープンキャンパス
3日	日	
4日	月	夏季休業開始
5日	火	前期補講日（終了）
9月 1日	月	9月入学者新入生ガイダンス
6日	土	大学院秋季入学試験(9月12日まで ※9月7・11日を除く)
12日	金	修士・博士学位前期合格者発表
		Web成績発表開始（前期完結科目のみ）
13日	土	夏季休業終了
14日	日	後期開始 9月入学者入学
15日	月	「敬老の日」【授業日】
		後期授業（開始）
27日	土	前期卒業式・学位記授与式（修士）
10月 9日	木	秋季大学院学位記授与式（博士）
11月 4日	火	学園祭に伴う休講日
12月 24日	水	全体補講日（学部・大学院）
25日	木	月曜日の振替授業日
26日	金	全体補講日（学部・大学院）
27日	土	冬季休業開始
令和8年		
1月 4日	日	冬季休業終了
5日	月	後期授業（再開）
14日	水	後期補講日（開始）
16日	金	大学入学共通テスト実施に伴う休講日
19日	月	後期授業（終了）
27日	火	後期補講日（終了）
2月 13日	金	大学院春季入学試験(2月18日まで ※2月14日を除く)
3月 9日	月	修士・博士学位合格者発表
		Web成績発表開始
19日	木	卒業式・学位記授与式（修士）
23日	月	春季大学院学位記授与式（博士）
31日	火	学年終了

※　休日授業日

取得できる教育職員免許状

研究科	専攻	免許状の種類及び免許教科 中学校教諭専修免許状	高等学校教諭専修免許状	その他の専修免許状
人文科学	史学専攻	社会	地理歴史	—
	日本語日本文学	国語	国語	
	英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)	
	独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
	仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
	社会・文化論	社会	公民	
	教育・臨床心理			
法学	公法	社会	公民	—
	民刑事法			
経済学	経済学	社会	公民	—
商学	商学	—	商業	—
理学	応用数学	数学	数学	—
	応用物理学	理科	理科	—
	化学			
	地球圏科学			
工学	機械工学	—	工業	—
	電気工学	—		
	電子情報工学	—		
	化学システム工学	—		
	建設工学	—		
医学	看護学	—	—	養護教諭
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	保健体育	保健体育	—

注：教育職員免許法に定める所定の条件を満たした場合は、上記の専修免許状を取得することができます。

奨学金・支援制度

※下記は本学独自の奨学金・支援制度であり、返還義務のない給付型の奨学金・支援制度です。
※内容は昨年度の概要であり、今年度内容が変更となる場合もありますので、詳細については、本学のホームページ等を参照してください。

対象：博士課程後期・博士課程（医学研究科、薬学研究科）

名称	趣旨	金額
博士課程後期・博士課程給費奨学金	優秀※1で経済的に修学困難な学生に給付	在籍する研究科における年間の授業料相当額（30%・50%・100%のうちいずれか）

※1　日本学術振興会の特別研究員（DC1、又はDC2）に採用されているか又は出願の前年度に審査をうけた者

対象：全課程

名称	趣旨	金額
海外留学給費奨学金	交換留学協定を締結していない海外の大学院または研究所等へ半期又は1年以上留学する学生に給付	A：1年以上留学　30万円 B：半期（前期又は後期）　15万円
国際学会研究発表支援制度	国内外の学術機関が主催する国際学会での研究発表を目的に渡航する学生に渡航費・宿泊費の支援	1人1回10万円※を上限として実費支給 ※（国内開催及びオンライン５万円）

対象：外国人留学生 全課程（修士課程・博士課程前期は第2年次生のみ対象）

名称	趣旨	金額
福岡大学私費外国人留学生奨学金	学業成績優秀で経済的負担力に乏しい学生に給付	修士課程・博士課程前期　1か月　4万円 博士課程・博士課程後期　1か月　6万5千円

対象：修士課程、博士課程前期又は博士課程（外国人留学生は対象外）

名称	趣旨	減免率
予約型授業料減免	推薦入試等による優秀な進学者（申請時において一定の基準を満たす本学学部在籍者）の修学機会の確保	各研究科授業料の30%（入学年度に限る）

TA（ティーチング・アシスタント）　全課程

名称	趣旨	金額
TA（ティーチング・アシスタント）	教育的配慮の下に教育補助業務を行い、本学の教育の充実及び学生が研究者教員等になるための機会の提供	時給 1,350円

長期履修制度　全課程

職業を有している等の事情により、標準修業を超えて本学大学院が認める一定の期間にわたり、計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを希望する学生に対し、長期による履修を認める制度です。

学費等納入金 ※金額は令和7年度分を示しております。

（単位：円）※委託徴収金は、年度により変更となる場合があります。

修士課程・博士課程前期

人文科学研究科・法学研究科・経済学研究科・商学研究科　修士課程・博士課程前期

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	100,000	0	100,000	入学年度のみ納入
授業料	470,000	470,000	470,000	毎年度納入
教育充実費	120,000	120,000	120,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	593,000	593,000	608,100	
合　計	693,000	593,000	708,100	

理学研究科・工学研究科・薬学研究科　修士課程・博士課程前期

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	630,000	630,000	630,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	773,000	773,000	788,100	
合　計	893,000	773,000	908,100	

医学研究科　修士課程

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	470,000	470,000	470,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	613,000	613,000	628,100	
合　計	733,000	613,000	748,100	

スポーツ健康科学研究科　博士課程前期

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	570,000	570,000	570,000	毎年度納入
教育充実費	130,000	130,000	130,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	703,000	703,000	718,100	
合　計	823,000	703,000	838,100	

博士課程後期・博士課程

人文科学研究科・法学研究科・経済学研究科・商学研究科　博士課程後期

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	100,000	0	100,000	入学年度のみ納入
授業料	400,000	400,000	400,000	毎年度納入
教育充実費	120,000	120,000	120,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	523,000	523,000	538,100	
合　計	623,000	523,000	638,100	

理学研究科・工学研究科・薬学研究科　博士課程後期・博士課程

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	560,000	560,000	560,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	703,000	703,000	718,100	
合　計	823,000	703,000	838,100	

医学研究科　博士課程

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	560,000	560,000	560,000	毎年度納入
教育充実費	140,000	140,000	140,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	703,000	703,000	718,100	
合　計	823,000	703,000	838,100	

スポーツ健康科学研究科　博士課程後期

区分／項目	本学学部卒業	本学大学院修了	他大学卒業・他大学院修了	備考
入学金	120,000	0	120,000	入学年度のみ納入
授業料	510,000	510,000	510,000	毎年度納入
教育充実費	130,000	130,000	130,000	
委託徴収金	3,000	3,000	18,100	
（小　計）	643,000	643,000	658,100	
合　計	763,000	643,000	778,100	

令和8年度(2026年)入学試験日程及び入学試験要項 （詳細は各研究科の入学試験要項を参照してください。）

秋季入学試験

修士課程、博士課程前期
博士課程後期、博士課程（工学・薬学・スポーツ健康科学のみ）

［一般入学試験・社会人入学試験］

研究科	出願期間	試験日	合格発表日
人文科学（教育・臨床心理専攻を除く）	令和7年 8月21日(木) 8月22日(金) 8月25日(月)	令和7年 9月9日(火)	令和7年 9月29日（月）
人文科学（教育・臨床心理専攻）		9月8日(月)	
法学		9月9日(火)	
経済学		9月9日(火)	
商学		9月10日(水)	
理学		9月12日(金)	
工学		9月8日(月)	
医学（看護学専攻）		9月10日(水)	
薬学		9月8日(月)	
スポーツ健康科学		9月6日(土)	

［外国人留学生入学試験］

研究科	出願期間	試験日	合格発表日
全研究科（国内志願者）	令和7年 7月14日(月) ～7月16日(水)	上記当該研究科の日程に同じ	

春季入学試験

修士課程、博士課程前期、博士課程後期、博士課程

［一般入学試験・社会人入学試験］

研究科	出願期間	試験日	合格発表日
人文科学（教育・臨床心理専攻を除く）	令和8年 1月26日(月) ～1月29日(木)	令和8年 2月16日(月)	令和8年 3月9日（月）
人文科学（教育・臨床心理専攻）		2月15日(日)	
法学	令和8年 1月19日(月) ～1月22日(木)	2月17日(火)	
経済学		2月17日(火)	
商学		2月18日(水)	
理学		2月18日(水)	
工学		2月16日(月)	
医学（看護学専攻）		2月17日(火)	
医学（博士課程全専攻）	令和8年1月21日(水) ～1月29日(木)	2月18日(水)	
薬学	令和8年 1月19日(月) ～1月22日(木)	2月17日(火)	
スポーツ健康科学		2月13日(金)	

［外国人留学生入学試験］

研究科		出願期間	試験日	合格発表日
全研究科	国外志願者	随時受付：募集開始～令和7年10月31日(金)迄	上記当該研究科の日程に同じ	
	国内志願者	令和7年 12月8日(月) ～12月10日(水)		

［飛び級入学試験］（対象者：本学の理学部・工学部・スポーツ科学部の3年次生）

研究科	出願期間	試験日	合格発表日
理学	令和8年 2月9日(月) ・2月10日(火)	上記当該研究科の日程に同じ	
工学			
スポーツ健康科学	令和8年2月5日(木) ～2月6日(金)		

９月入学試験

博士課程後期（工学研究科のみ）

［一般入学試験・社会人入学試験］

入学年度	出願期間	試験日	合格発表日
令和7年度	令和7年 6月16日(月)～6月18日(水)	令和7年 7月5日（土）	令和7年 7月22日（火）

■ 入学試験要項について

福岡大学大学院個別サイトから「入学試験ページ」にアクセスし、入学試験要項をダウンロードしてください。
入学試験要項には出願・受験の際に必要な情報のほか、合格発表や入学手続に関する情報を掲載しています。
※入学試験要項（冊子版）の販売・配布は行いません。

■ 出願書類（本学所定用紙）について

福岡大学大学院個別サイトから「入学試験ページ」にアクセスし、出願書類（本学所定用紙）をダウンロードしてください。
出願書類を印刷するためにプリンターが必要になります。
出願書類は A4 判で印刷を行ってください。印刷時に拡大・縮小を行わないでください。
※出願書類（冊子版）の販売・配布は行いません。

大学院個別サイト
https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp

❶ 学位を有しない志願者へ

（大学の卒業見込者及び大学院修士の修了見込者を除く）
本学が行う事前の受験資格審査により、受験資格を認められた方のみ受験することができます。詳細は入学試験要項を参照してください。

出願期間　秋季　令和7年 7月14日（月）～ 7月16日（水）
　　春季　令和7年12月 8日（月）～12月10日（水）

❷ 入学試験検定料について

全ての研究科（外国人留学生を除く）……32,000円
外国人留学生の第2次選考検定料(医学研究科博士課程を除く)……30,000円
外国人留学生の第2次選考検定料（医学研究科博士課程）……32,000円

納入方法は、入学試験要項を参照してください。

❸ 研究科の授業科目、担当者及び研究指導の内容について

各研究科別の入学試験要項の中で、詳細にわたり記載していますので、参照してください。

令和7年度入学生　入学試験結果

博士課程前期・修士課程

秋季入学試験結果（7月実施の推薦入試の結果を含む）

一般入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	日本語日本文学	1	0
	教育・臨床心理	11	4
商学	商学	2	0
理学	応用数学	1	1
	応用物理	2	1
	化学	7	5
	地球圏科学	2	0
工学	機械工学	9	7
	電気工学	1	0
	電子情報工学	9	9
	化学システム工学	8	7
	建設工学	13	11
	資源循環・環境工学	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	2	2
合計		69	48

社会人入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	教育・臨床心理	2	1
経済学	経済学	1	1
商学	商学	2	2
合計		5	4

外国人留学生入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
法学	民刑事法専攻	2	0
商学	商学	1	1
工学	機械工学	1	0
	建設工学	1	1
合計		5	2

推薦入学試験（文系推薦入学）

研究科	専攻	志願者数	合格者数
商学	商学	4	4
合計		4	4

推薦入学試験（7月実施）

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	英語学英米文学	1	1
	独語学独文学	2	2
	教育・臨床心理	2	2
理学	応用数学	2	2
	応用物理学	4	4
	化学	14	14
	地球圏科学	5	5
工学	機械工学	8	8
	電気工学	1	1
	電子情報工学	9	9
	化学システム工学	12	12
	建設工学	8	8
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	6	6
合計		74	74

春季入学試験結果

一般入学試験（飛び級入試を含む）

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	史学	8	8
	日本語日本文学	2	1
	仏語学仏文学	1	1
	社会・文化論	2	1
	教育・臨床心理	6	2
商学	商学	2	2
理学	応用数学	3	2
	応用物理学	3	2
	化学	10	10
	地球圏科学	2	1
工学	機械工学	2	2
	電気工学	1	1
	電子情報工学	5	3
	化学システム工学	2	2
	建設工学	1	1
医学	看護学	1	1
薬学	健康薬科学	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	4	4
合計		56	45

社会人入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	教育・臨床心理	2	1
商学	商学	2	1
医学	看護学	2	2
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	4	3
合計		10	7

外国人留学生入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	史学	2	0
	日本語日本文学	1	1
	英語学英米文学	2	2
法学	民刑事法専攻	3	2
経済学	経済学	1	1
商学	商学	4	3
工学	機械工学	2	2
	電子情報工学	2	1
	資源循環・環境工学	3	2
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	2	1
合計		22	15

資格特別配慮試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
法学	公法	1	1
合計		1	1

推薦入学試験（文系推薦入学）

研究科	専攻	志願者数	合格者数
商学	商学	1	1
合計		1	1

アスリート推薦入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		1	1

令和7年度入学生　入学試験結果

博士課程後期・博士課程

秋季入学試験結果（7月実施の推薦入試の結果を含む）

一般入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
薬学	薬学	1	1
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		2	2

推薦入学試験（7月実施）

研究科	専攻	志願者数	合格者数
薬学	薬学	2	2
合計		2	2

春季入学試験結果

一般入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	史学	2	2
法学	民刑事法	1	1
経済学	経済学	1	1
商学	商学	2	2
理学	地球圏科学	1	1
医学	人体生物系	1	1
	生体制御系	1	1
	病態構造系	4	4
	病態機能系	10	9
	社会医学系	2	2
	先端医療科学系	6	6
薬学	薬学	2	2
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	2	2
合計		35	34

社会人入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	教育・臨床心理	1	1
商学	商学	1	1
工学	エネルギー・環境システム工学	1	1
薬学	薬学	2	2
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	1	1
合計		6	6

外国人留学生入学試験

研究科	専攻	志願者数	合格者数
人文科学	英語学英米文学	1	1
理学	化学	2	2
合計		3	3

進学説明会／OPEN CAMPUS 2025

留学生向け 学部・大学院進学説明会 2025

参加無料

要予約

令和8年度
入学試験要項配付

対 象　本学留学生、他大学留学生、日本語学校生、専門学校生等

場 所　中央図書館6階会議室

プログラム

- **全体説明会**
  - ・福岡大学大学院の特色
  - ・経済的支援
  - ・修了後の進路
  - ・入学試験出願手続き等について説明します
- **在学生による福大トーク**
  現役留学生が福岡大学での学びや研究テーマ等を語ります
- **研究科別相談会**
  志願する研究科について相談や質問を受付けます

開催日時等詳細が決まりましたら、福岡大学公式ウェブサイト内の「大学院個別サイト」（https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp）へ掲載します。

オープンキャンパス 2025

参加無料

予約不要

入退場自由

対 象　大学院に興味のお持ちの方（高校生、大学生、社会人、外国人留学生等）

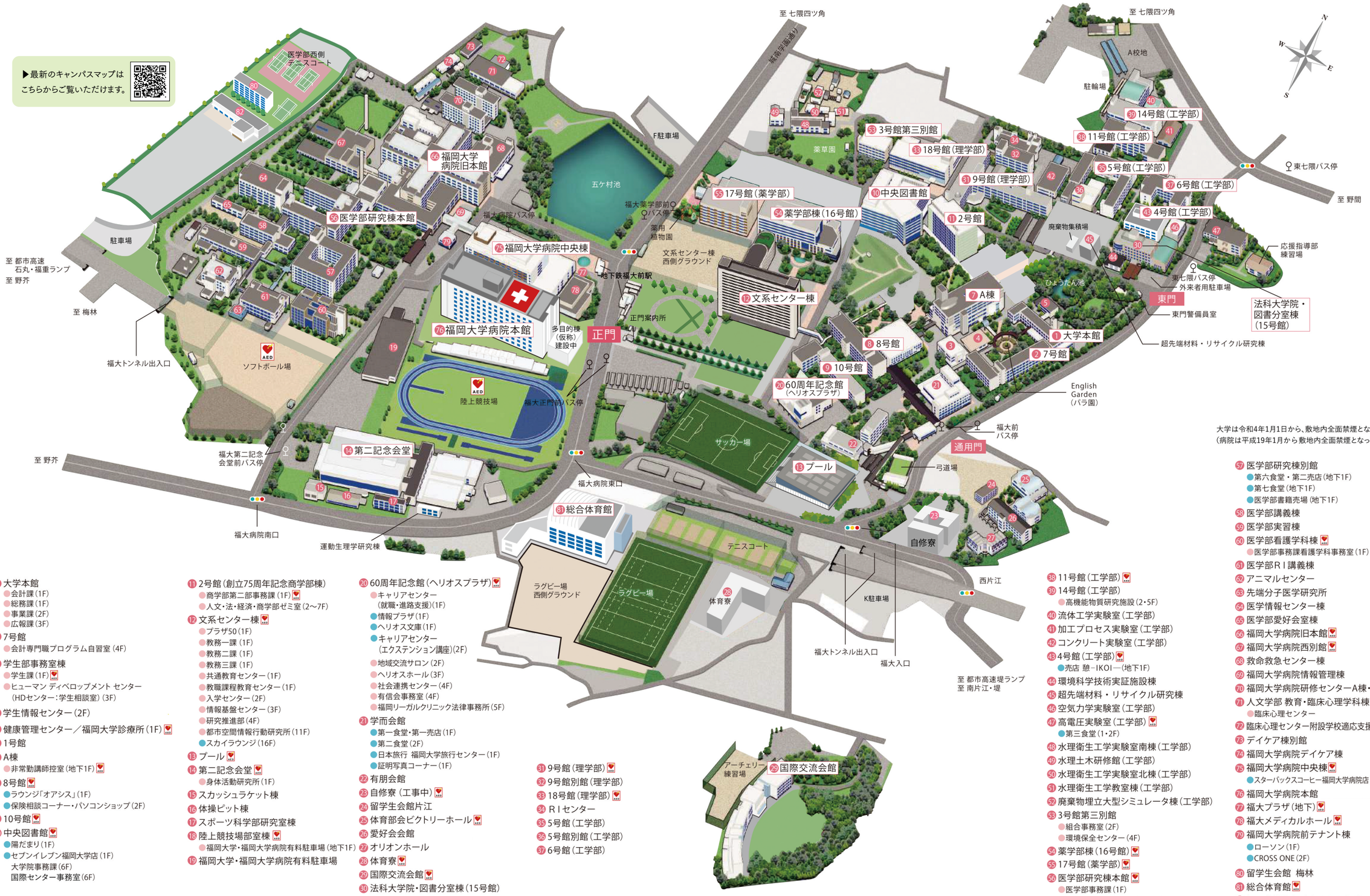
場 所　中央図書館6階 他

プログラム

- **入学試験過去問題閲覧**
  中央図書館6階のみ
- **大学院施設案内**
- **個別相談コーナー**
  - ・修学支援
    研究科の概要、カリキュラム
    大学院研究生／科目等履修生制度
  - ・生活支援
    各種奨学金制度、TA制度

開催日時等詳細が決まりましたら、福岡大学公式ウェブサイト内の「大学院個別サイト」（https://www.grad.fukuoka-u.ac.jp）へ掲載します。

CAMPUS MAP （2025年4月30日現在）



大学は令和4年1月1日から、敷地内全面禁煙となっています。
（病院は平成19年1月から敷地内全面禁煙となっています）

1 大学本館
- 会計課（1F）
- 総務課（1F）
- 事業課（2F）
- 広報課（3F）

2 7号館
- 会計専門職プログラム自習室（4F）

3 学生部事務室棟
- 学生課（1F）
- ヒューマン ディベロップメント センター（HDセンター：学生相談室）（3F）

4 学生情報センター（2F）

5 健康管理センター／福岡大学診療所（1F）

6 1号館

7 A棟
- 非常勤講師控室（地下1F）

8 8号館
- ラウンジ「オアシス」（1F）
- 保険相談コーナー・パソコンショップ（2F）

9 10号館

10 中央図書館
- 陽だまり（1F）
- セブンイレブン福岡大学店（1F）

大学院事務課（6F）
国際センター事務室（6F）

11 2号館（創立75周年記念商学部棟）
- 商学部第二部事務課（1F）
- 人文・法・経済・商学部ゼミ室（2〜7F）

12 文系センター棟
- プラザ50（1F）
- 教務一課（1F）
- 教務二課（1F）
- 教務三課（1F）
- 共通教育センター（1F）
- 教職課程教育センター（1F）
- 入学センター（2F）
- 情報基盤センター（3F）
- 研究推進部（4F）
- 都市空間情報行動研究所（11F）
- スカイラウンジ（16F）

13 プール

14 第二記念会堂
- 身体活動研究所（1F）

15 スカッシュラケット棟

16 体操ピット棟

17 スポーツ科学部研究室棟

18 陸上競技場部室棟
- 福岡大学・福岡大学病院有料駐車場（地下1F）

19 福岡大学・福岡大学病院有料駐車場

20 60周年記念館（ヘリオスプラザ）
- キャリアセンター（就職・進路支援）（1F）
- 情報プラザ（1F）
- ヘリオス文庫（1F）
- キャリアセンター（エクステンション講座）（2F）
- 地域交流サロン（2F）
- ヘリオスホール（3F）
- 社会連携センター（4F）
- 有信会事務室（4F）
- 福岡リーガルクリニック法律事務所（5F）

21 学而会館
- 第一食堂・第一売店（1F）
- 第二食堂（2F）
- 日本旅行 福岡大学旅行センター（1F）
- 証明写真コーナー（1F）

22 有朋会館

23 自修寮（工事中）

24 留学生会館片江

25 体育部会ビクトリーホール

26 愛好会会館

27 オリオンホール

28 体育寮

29 国際交流会館

30 法科大学院・図書分室棟（15号館）

31 9号館（理学部）

32 9号館別館（理学部）

33 18号館（理学部）

34 RIセンター

35 5号館（工学部）

36 5号館別館（工学部）

37 6号館（工学部）

38 11号館（工学部）

39 14号館（工学部）
- 高機能物質研究施設（2・5F）

40 流体工学実験室（工学部）

41 加工プロセス実験室（工学部）

42 コンクリート実験室（工学部）

43 4号館（工学部）
- 売店 憩−IKOI−（地下1F）

44 環境科学技術実証施設棟

45 超先端材料・リサイクル研究棟

46 空気力学実験室（工学部）

47 高電圧実験室（工学部）
- 第三食堂（1・2F）

48 水理衛生工学実験室南棟（工学部）

49 水理土木研修館（工学部）

50 水理衛生工学実験室北棟（工学部）

51 水理衛生工学教室棟（工学部）

52 廃棄物理立大型シミュレータ棟（工学部）

53 3号館第三別館
- 組合事務室（2F）
- 環境保全センター（4F）

54 薬学部棟（16号館）

55 17号館（薬学部）

56 医学部研究棟本館
- 医学部事務課（1F）
- てんかん分子病態研究所（5F）

57 医学部研究棟別館
- 第六食堂・第二売店（地下1F）
- 第七食堂（地下1F）
- 医学部書籍売場（地下1F）

58 医学部講義棟

59 医学部実習棟

60 医学部看護学科棟
- 医学部事務課看護学科事務室（1F）

61 医学部RI講義棟

62 アニマルセンター

63 先端分子医学研究所

64 医学情報センター棟

65 医学部愛好会室棟

66 福岡大学病院旧本館

67 福岡大学病院西別館

68 救命救急センター棟

69 福岡大学病院情報管理棟

70 福岡大学病院研修センターA棟・B棟

71 人文学部 教育・臨床心理学科棟
- 臨床心理センター

72 臨床心理センター附設学校適応支援教室棟

73 デイケア棟別館

74 福岡大学病院デイケア棟

75 福岡大学病院中央棟
- スターバックスコーヒー福岡大学病院店（地下1F）

76 福岡大学病院本館

77 福大プラザ（地下）

78 福大メディカルホール

79 福岡大学病院前テナント棟
- ローソン（1F）
- CROSS ONE（2F）

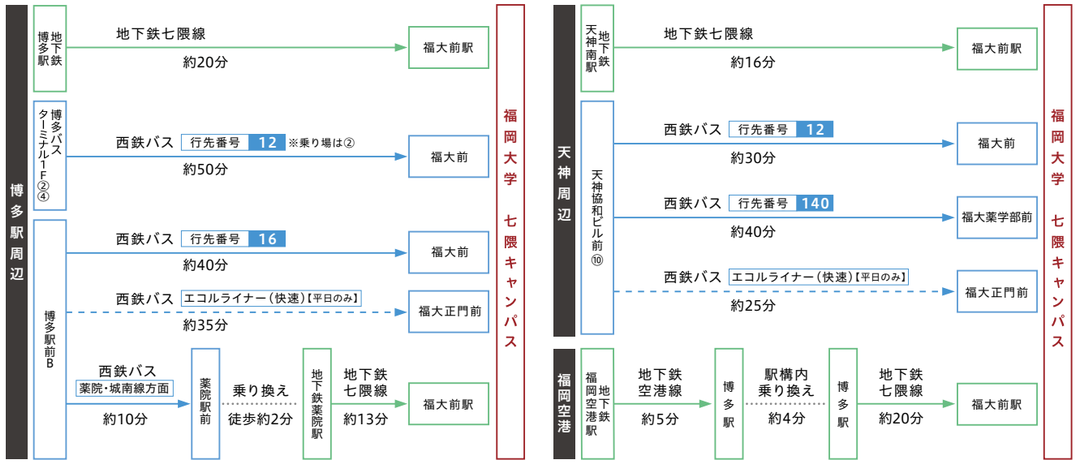
80 留学生会館 梅林

81 総合体育館

82 福岡大学ななくまのもり保育園

福岡大学
アクセスマップ

交通案内



※時間帯によって交通混雑が予想されますので、所要時間は目安としてください。

※バスの行先番号が同じでも行先が異なることがありますので、バス正面の行先(経由地)をご確認ください。

※公共交通機関の運行状況に変更が生じる場合があります。最新の情報については、以下ウェブサイト等からご確認ください。

- 地下鉄に関する情報…… 福岡市交通局 https://subway.city.fukuoka.lg.jp/
- バスに関する情報…… 西鉄バス http://www.nishitetsu.jp/bus/

[高速道路]

唐津方面からの場合

西九州自動車道(福岡前原道路)から都市高速道路環状線に入ります。野芥ランプで降りた後、福大トンネル出入口の手前を右折し、梅林中学校入口を左折します。500mほど直進した後、福岡大学病院東口交差点を直進します。

北九州および福岡県外(大分・熊本方面など)からの場合

九州自動車道の太宰府IC(インターチェンジ)から都市高速道路に乗り、月隈JCT(ジャンクション)を左折します。堤ランプで降り、国道202号線(福岡外環状道路)を2kmほど直進して福大トンネル出入口手前から右折し、福岡大学病院東口交差点を右に入ります。

人をつくり、時代を拓く。

福岡大學

https://www.fukuoka-u.ac.jp

所在地

福岡大学
人文・法・経済・商・商二部・理・工・薬・スポーツ科学部
人文科学・法学・経済学・商学・理学・工学・薬学・スポーツ健康科学研究科・法科大学院
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号 TEL 092-871-6631(代)

医学部・医学研究科
〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号 TEL 092-801-1011(代)

福岡大学病院
〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号 TEL 092-801-1011(代)

福岡大学筑紫病院
〒818-8502 筑紫野市俗明院一丁目1番1号
TEL 092-921-1011(代)

福岡大学西新病院
〒814-8522 福岡市早良区祖原15番7号
TEL 092-831-1211(代)

福岡大学附属大濠中学校
〒810-0044 福岡市中央区六本松一丁目12番1号
TEL 092-712-5828(代)

福岡大学附属大濠高等学校
〒810-0044 福岡市中央区六本松一丁目12番1号
TEL 092-771-0731(代)

福岡大学附属若葉高等学校
〒810-0062 福岡市中央区荒戸三丁目4番62号
TEL 092-771-1981(代)

福岡大学 東京事務所
〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目14番1号
郵政福祉琴平ビル6階 TEL 03-3501-6629